

*eduro*s
ECDIS
Type Specific ECDIS Training - JRC

Ver. 2.1 User Manual

日本語 (オフライン用)

KJ
ENGINEERING

TABLE OF CONTENT

Section I

1 紹介	04
2 インストール	06
3 実行	10
4 機能の説明	12
5 学習	31
6 実習	37
7 テスト	42
8 試験合格後、試験結果を保存する	54

Section II

1 学習者検証	57
2 証明書の発行	58

Section III

1 用語の説明	59
2 提出文書及びチェックリスト	62

eduro ECDIS

Type Specific ECDIS Training - JRC

Ver. 2.1 User Manual

日本語 (オフライン用)



このユーザーマニュアルは、3つのPartに構成されております。

Part1 : CBTの内容で、PC上のプログラムのインストールや学習、
そしてテスト及びテストの結果保存の説明。

Part2 : 試験に合格した後、学習者の検証と証明書を入手する手順を説明。

Part3 : 学習に必要な用語の説明と提出すべき文書のリスト。

4. edurosECDISの教育対象であるJRC ECDIS装備



JAN-901B

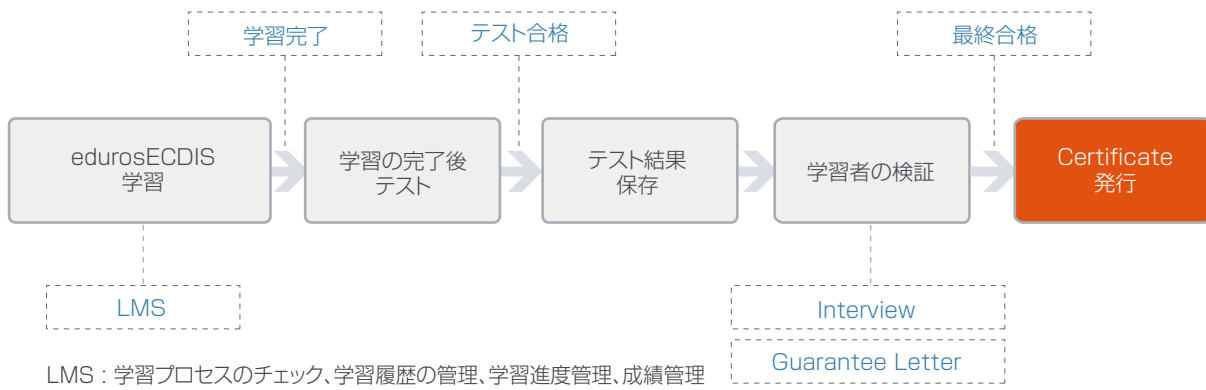


JAN-701B

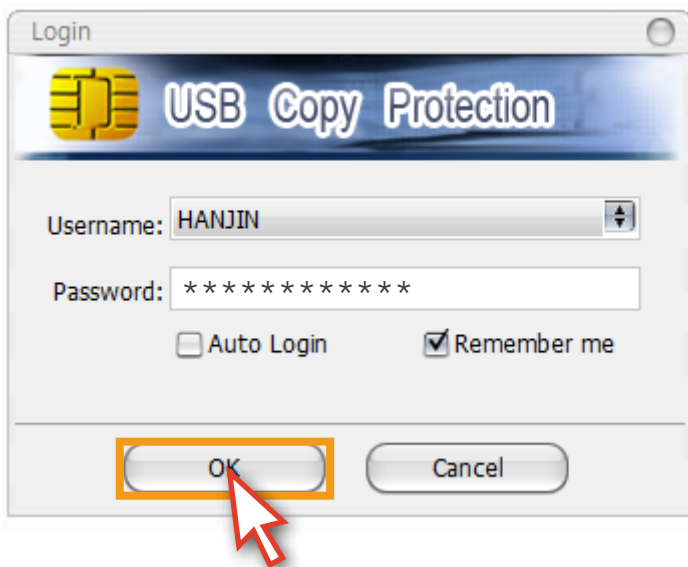
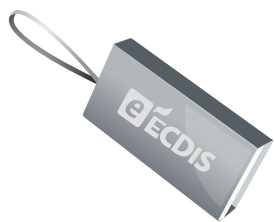


JAN-2000

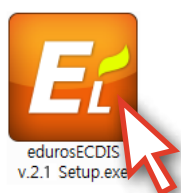
5. Certificate 発行プロセス



2. インストール



< ユーザーの例 : HANJIN >



1. eduroesECDISプログラムが
含まれている[USB]をPCに
挿入します。

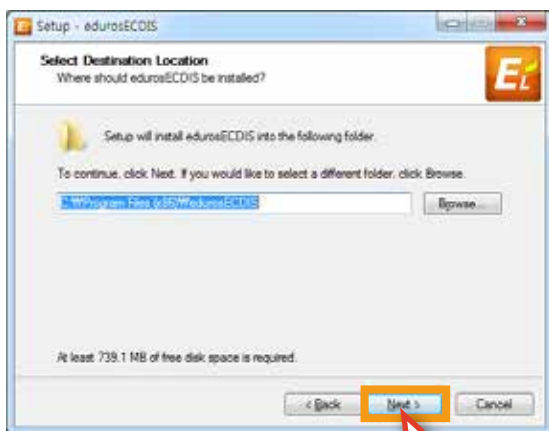
2. USB内に入っていた[Clientファイル]を
クリックしてプログラムを実行します。

3. 次のLoginウィンドウが表示されたら、
Usernameで[ユーザー]を選択し、
[Password]を入力します。
そして、[OK]ボタンをクリックします。

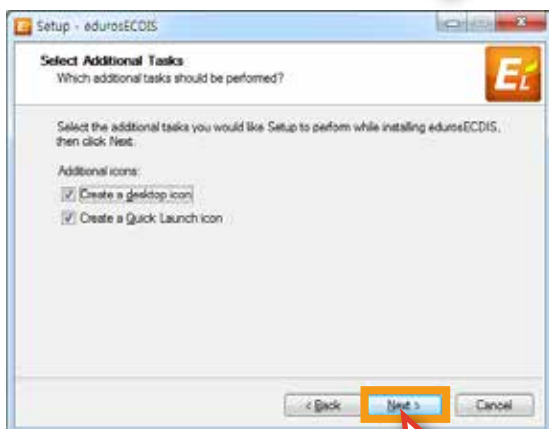
4. [eduroesECDIS v2.1 Setup.exe]
ファイルが作成されると[OK]ボタンを
クリックしてプログラムのインストールを
開始します。



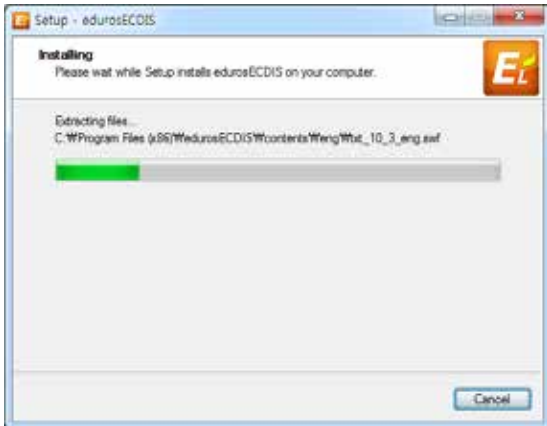
5. インストールファイルを実行すると、次のような画面が表示されます。
[Next >]ボタンをクリックします。



6. インストールするパスを選択し、
[Next >]ボタンをクリックします。



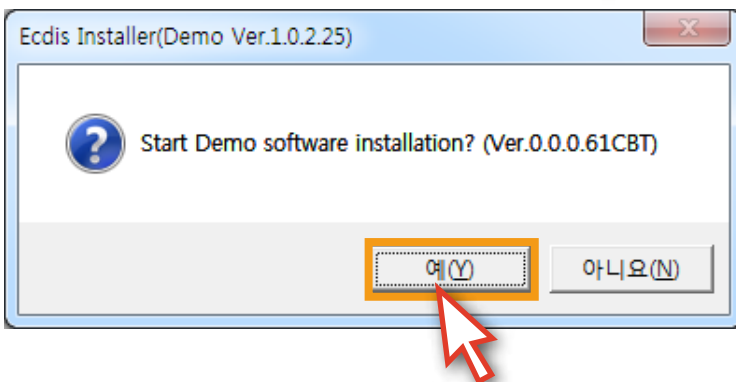
7. [Create a desktop icon]と
[Create a Quick Launch icon]を
作成するかどうかをチェックした後、
[Next >]ボタンをクリックします。



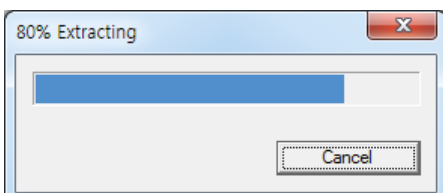
8. インストールが行われます。

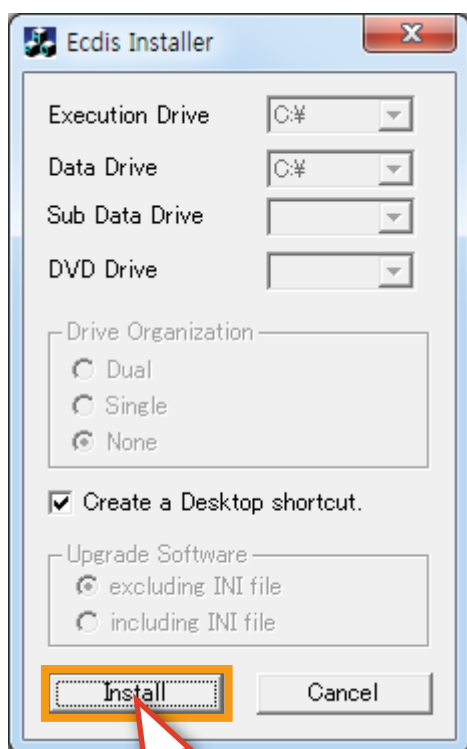


9. [edurosECDIS v.2.1]のインストールが完了されました。[Finish]ボタンをクリックします。

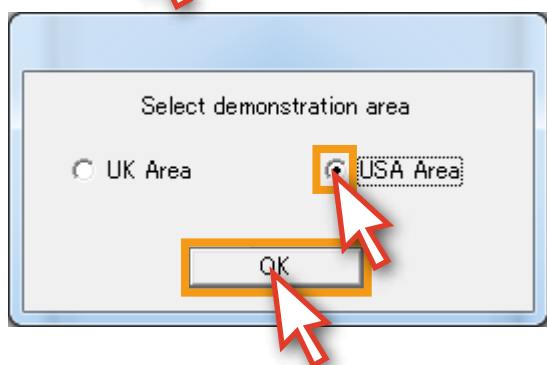


10. ECDIS Demo Softwareダイアログが表示されます。[はい(Y)]ボタンをクリックします。

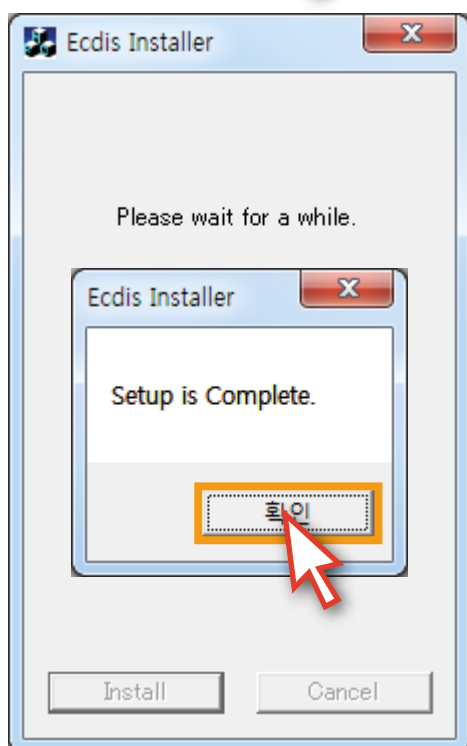




11. [Install]ボタンをクリックします。



12. Select demonstration areaダイアログで必ず[USA Area]を選択して[OK]ボタンをクリックします。



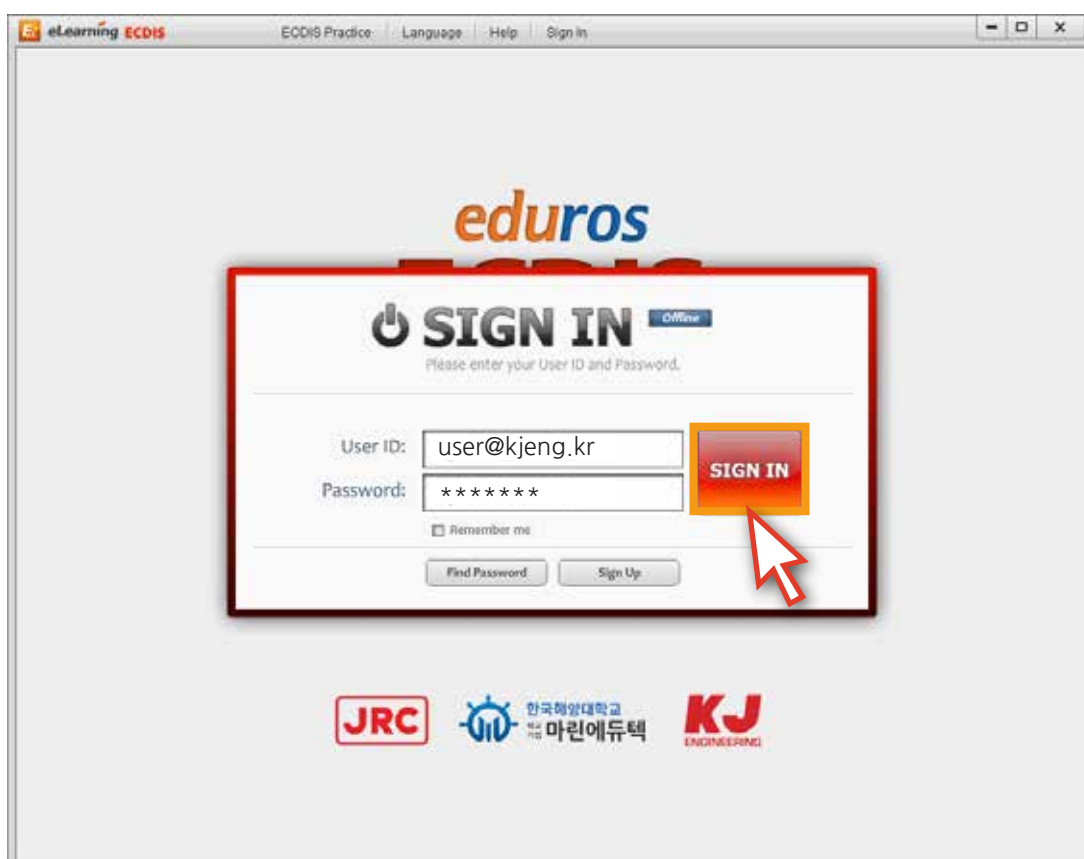
13. インストールが完了されました。確認ボタンをクリックします。

3. 実行

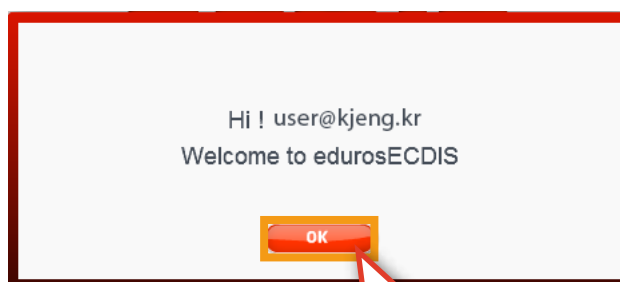
1. デスクトップにある[eduroc ECDISショートカットアイコン]をクリックしてプログラムを実行します。



2. [SIGN INポップアップウィンドウ]<図01>が表示されたら、発行されたユーザ名とパスワードを入力した後、[SIGN IN]ボタンをクリックします。下記のような[ウェルカムメッセージウィンドウ]<図02>が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。
(Remember meにチェックをしておくと、SIGN INがさらに楽になります。)



<図01>



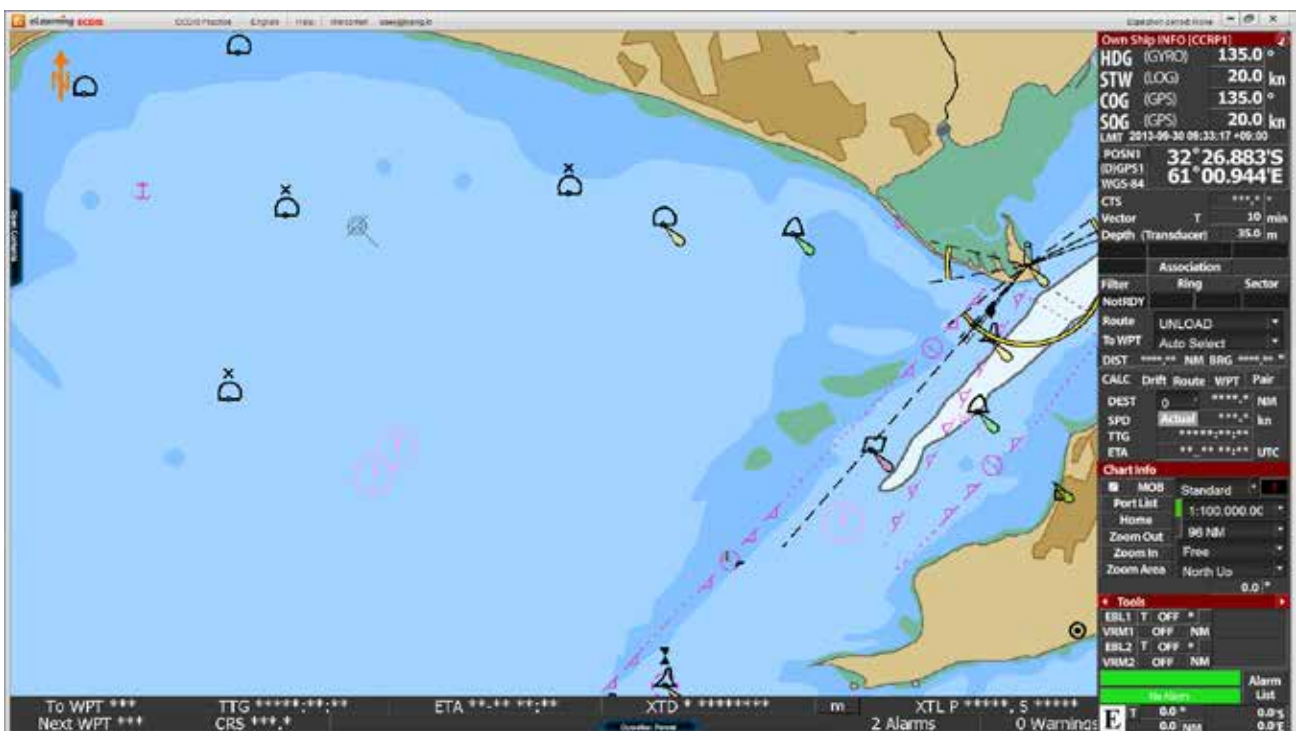
<図02>

3. [言語の選択ウィンドウ]<図03>の教育を受けようとする[言語]を選択します。



<図03>

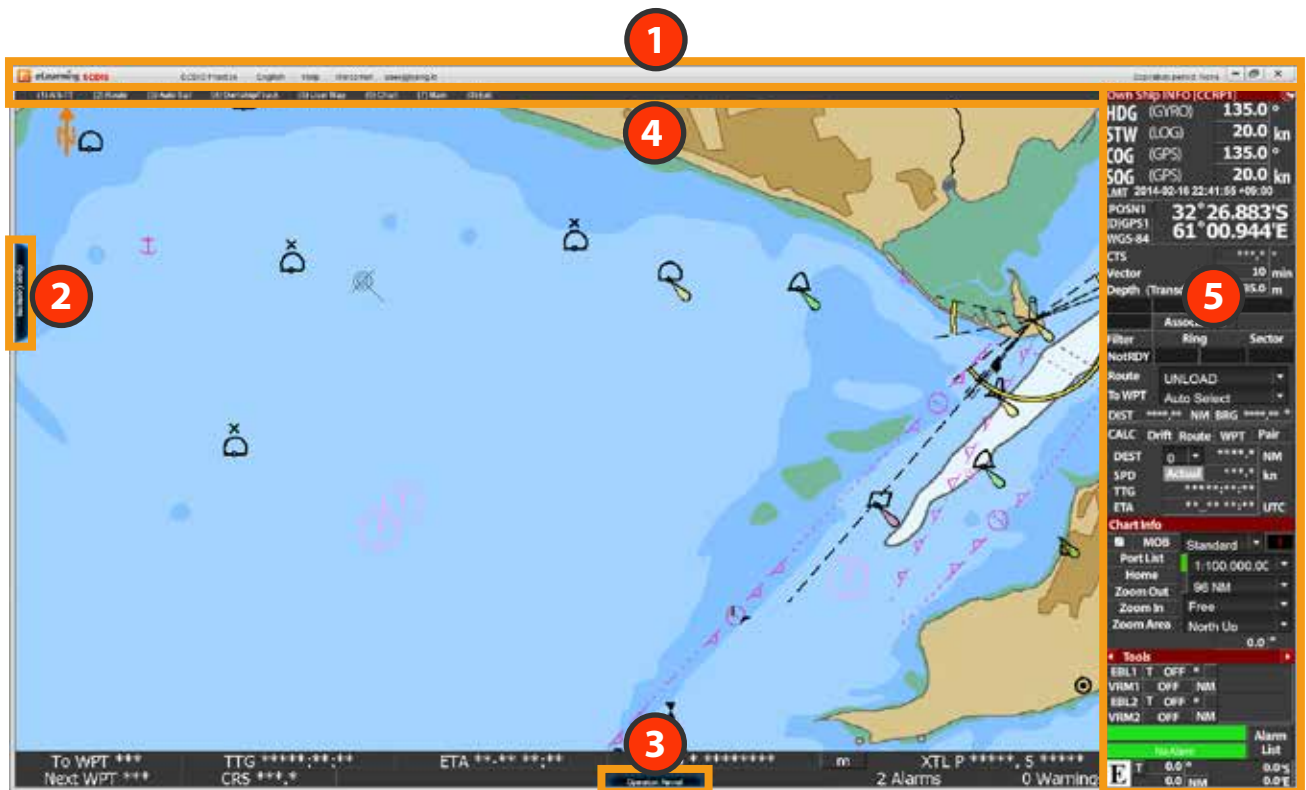
4. 次のように[eduroECDIS初期画面]<図04>が表示されます。



<図04>

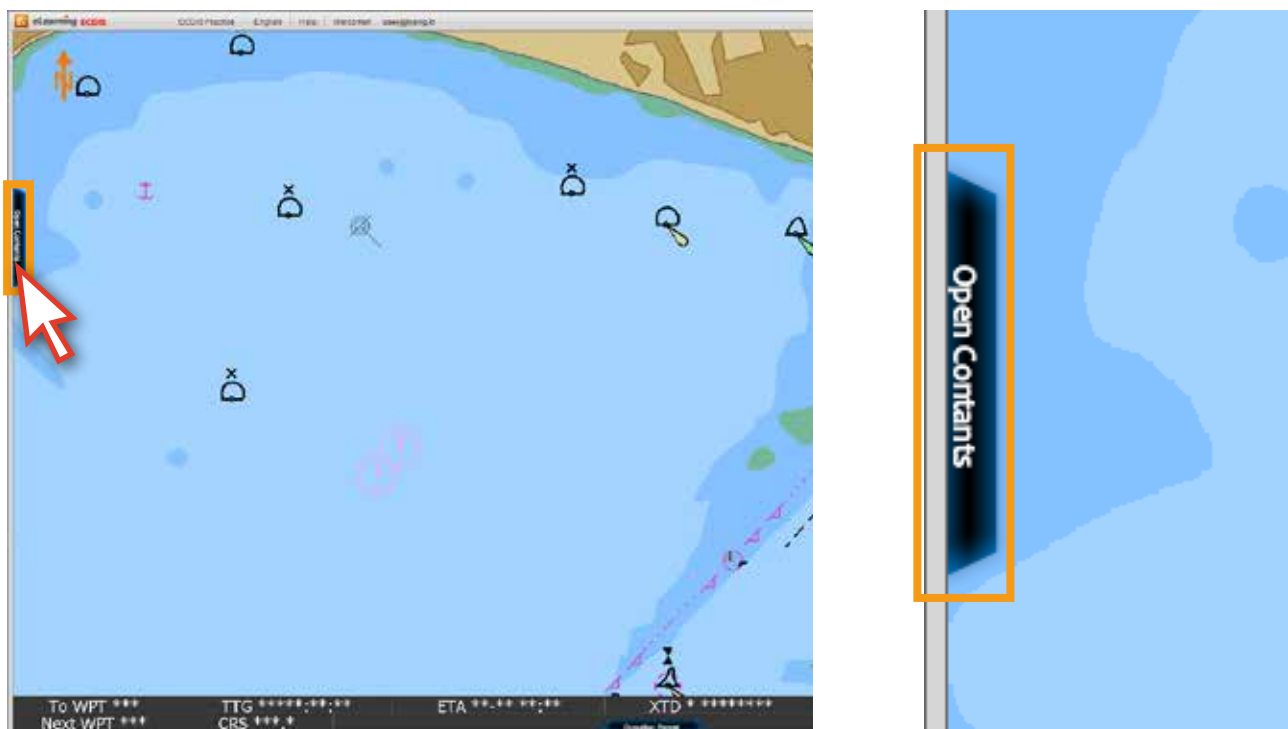
4. 機能の説明

edurosECDISの構成の説明



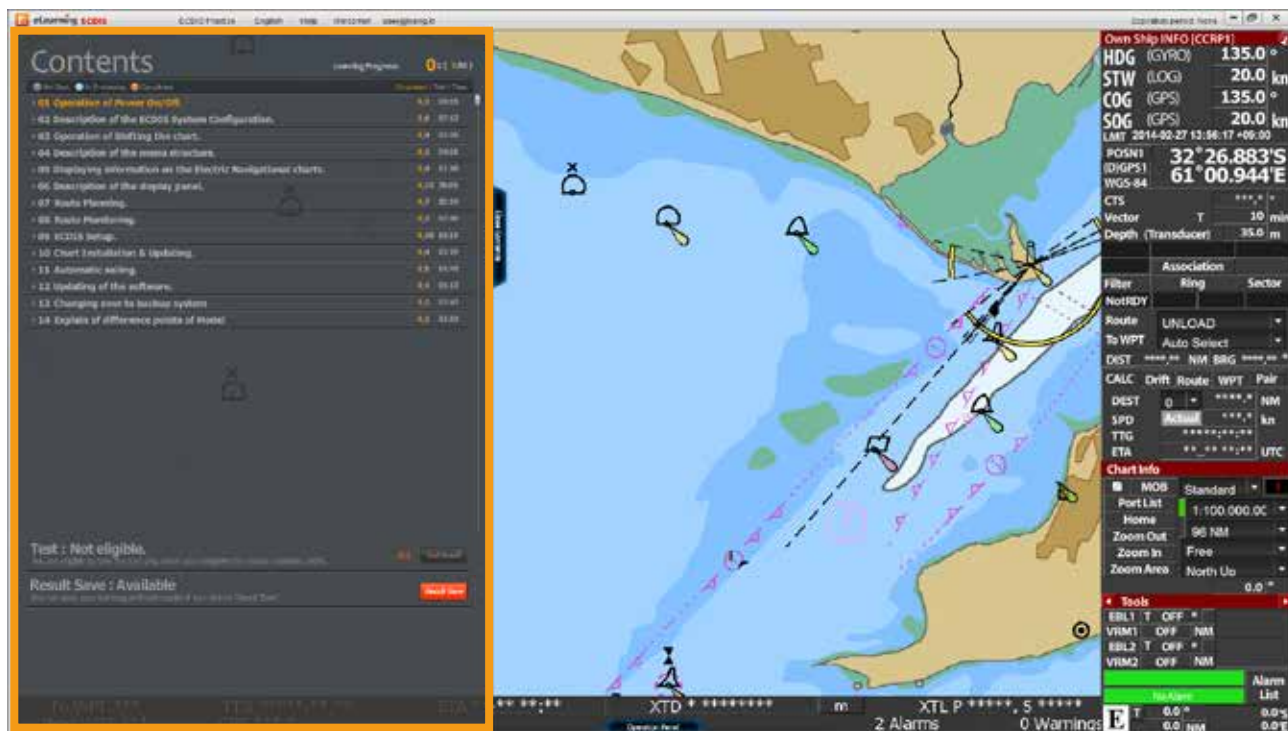
- 1** [edurosECDIS]のメインメニューです。
ユーザーの確認、言葉の変更、 実習モード変更、 ヘルプ等の機能を実行します。
- 2** [edurosECDIS]のコンテンツパネルです。
Open Contents ボタンをクリックするとコンテンツリストパネルが表示されます。
教育を受けようとするコンテンツのリスト及びテストと関連する機能を実行します。
全ての教育コースはここを介して行われます。
- 3** [ECDIS Operation panel]の機能を説明します。
Operation Panel ボタンを押すと、Operation panelが現れ、マウスをボタンの上に置くと各機能について説明します。学習の際に参考用として活用できます。
- 4** [ECDIS Top menu]の機能を説明します。
マウスを画面の上段に移動させるとTop menuが現れ、各メニューマウスを置くと説明を見ることが出来ます。学習の際に参考用として活用出来ます。
- 5** [ECDIS Display panel]の機能を説明します。
マウスをDisplay panelの上に移動させると、各機能について説明します。
学習の際に参考用として活用出来ます。

1. プログラムの初期画面<図01>です。まず、最も重要なコンテンツパネルから説明します。
[Open Contents]ボタンをクリックします。



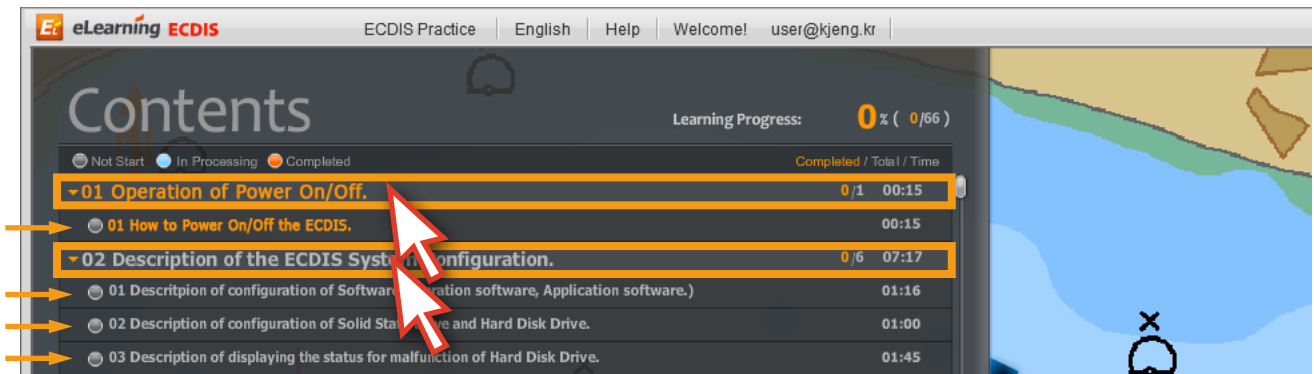
<図01>

2. [コンテンツリスト]<図02>が表示されます。



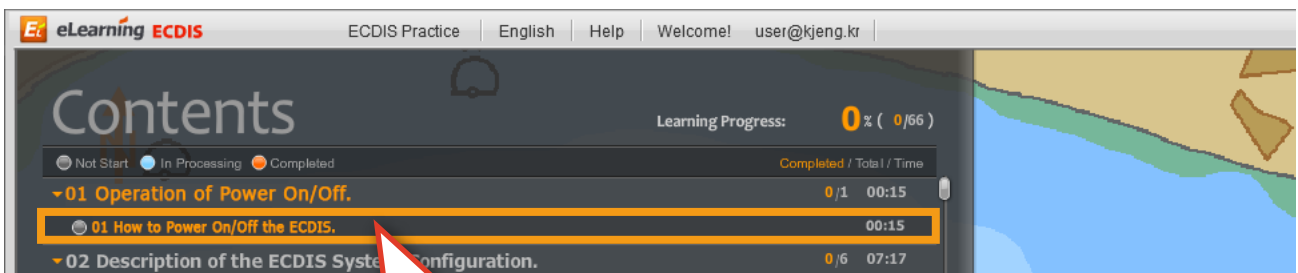
<図02>

3. それぞれの[学習のタイトル]をクリックすると、そのコンテンツの[サブリスト]が表示されます。
 <図03> (学習のタイトルを最初にクリックすると、サブリストが展開され、もう一度クリックすると、サブリストが閉じます。)



<図03>

4. Chart01の[01番の講座]をクリックします。(ユーザーが受けるべき講座の場合、タイトルがオレンジ色で表示されます。) タイトルをクリックすると同時に[Contents List]は自動的に閉じられます。<図04>



<図04>

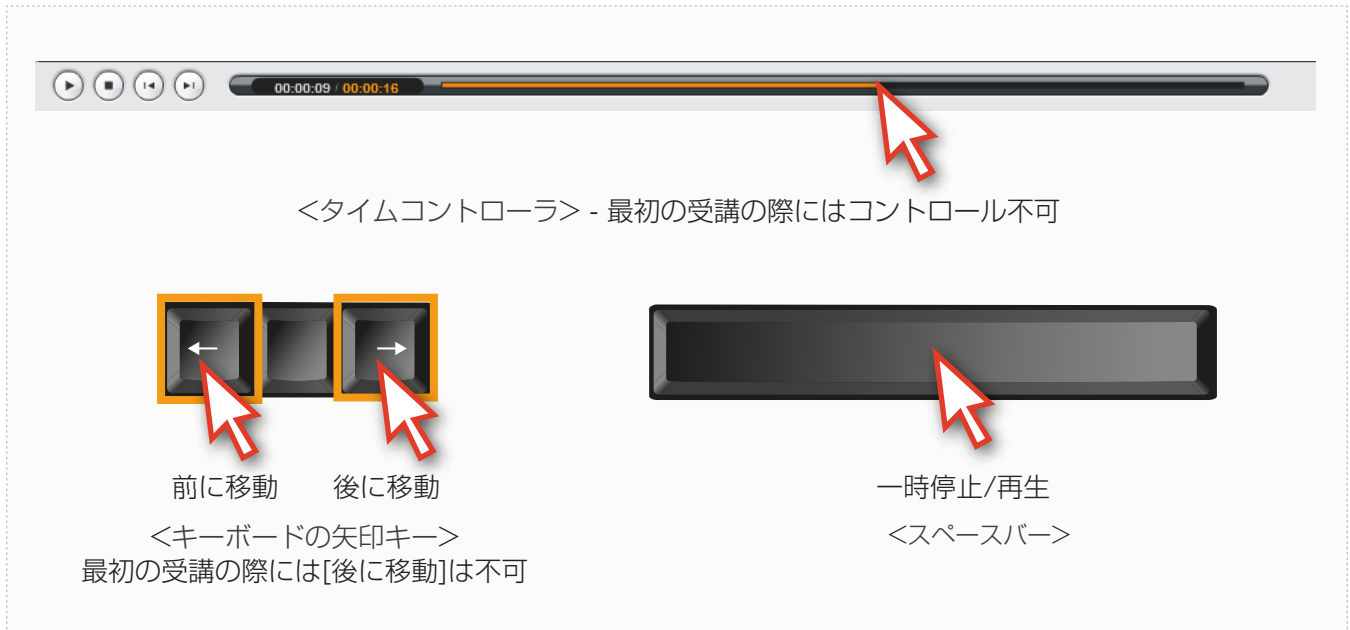
5. 学習は次のような[アニメーション講座]<図05>となります。



<図05>

6. アニメーション講座は、[タイムコントローラ]を利用して動画を見るように、コントロールすることが出来ます。また、[キーボードの矢印キー]を利用して、講座の時間を前後に移動するコントロールが可能で、[スペースバー]を使用すると、アニメーションのコースを一時停止させたり、進行させることも出来ます。 <図06>

(ただし、当該講座を初めて受講する場合には、早送りのコントロールは不可能で、一時停止やキーボードを利用して時間を前に戻す機能だけですが、コースの表示が完了した以降は、その講座のコントロールが可能になります。)



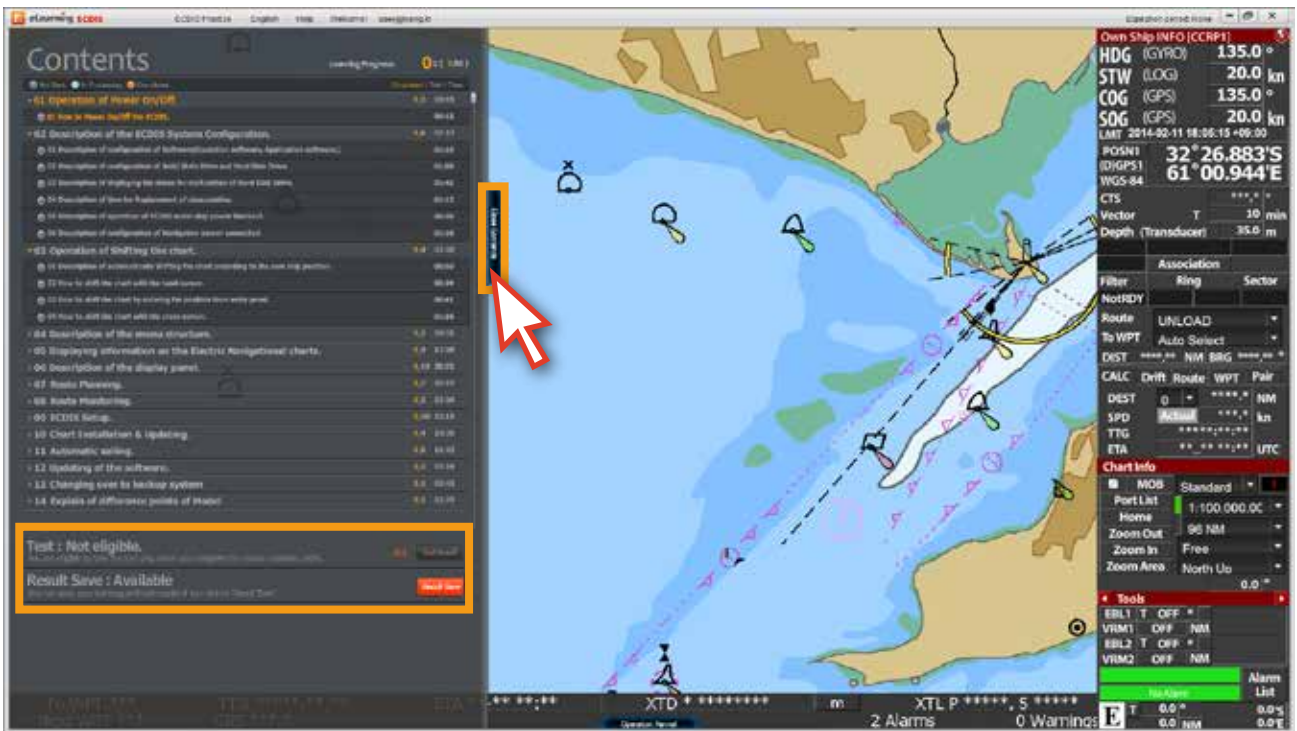
<図06>

7. アニメーション講座が終了したら、[閉じる]ボタンをクリックして講座を終了します。 <図07>



<図07>

8. 再び[Open Contents]ボタンをクリックして、[学習コンテンツリスト]を開きます。
 リストの下段にあるTestやResult Saveの詳細については、[7.edurosECDIS試験]で説明します。
 [Close Contents]ボタンをクリックすると、リストが閉じます。<図08>



<図08>

9. 下段にある[Operation Panel]ボタンをクリックします。<図09>



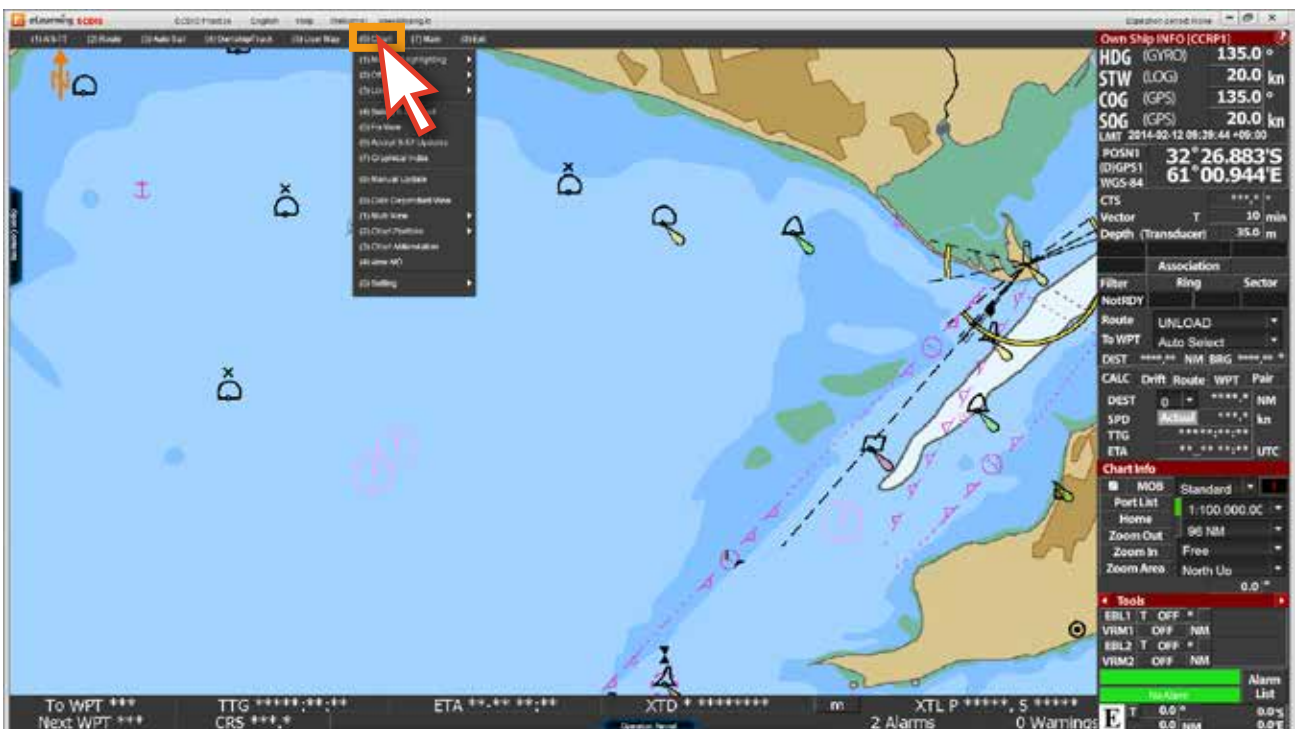
<図09>

10. 次のように[Operation Panel]<図10>が現れ、[各ボタン]の上にマウスを置くとそのボタンの説明を見ることが出来て、学習の際に参考用として活用出来ます。
 [閉じる]ボタン、または[Close Operation Panel]ボタンをクリックすると、[Operation Panel]が閉じられます。



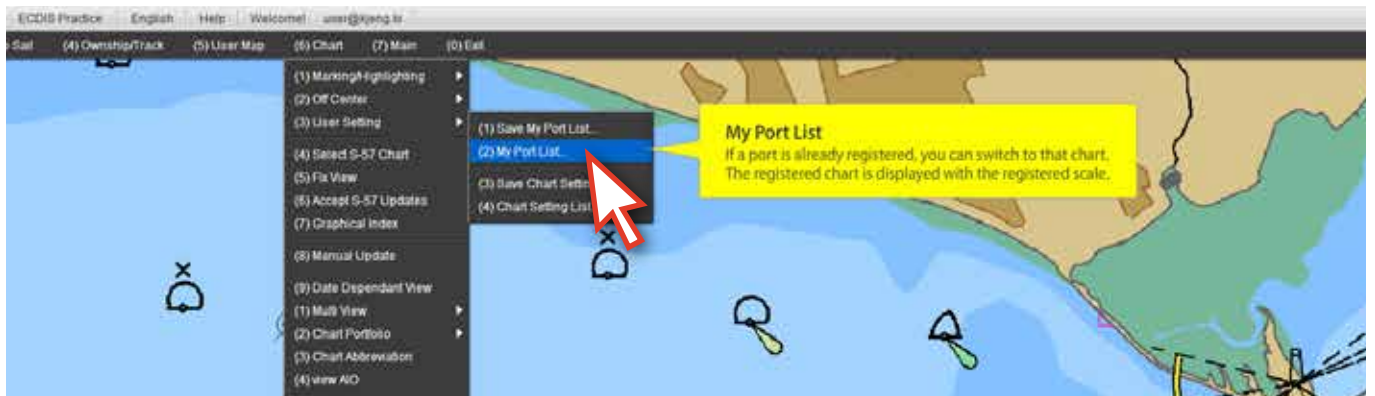
<図10>

11. 画面の上部にマウスを移動させると、[メニューバー]が表示され、[メニュー]をクリックすると、[サブメニュー]が表示されます。 <図11>

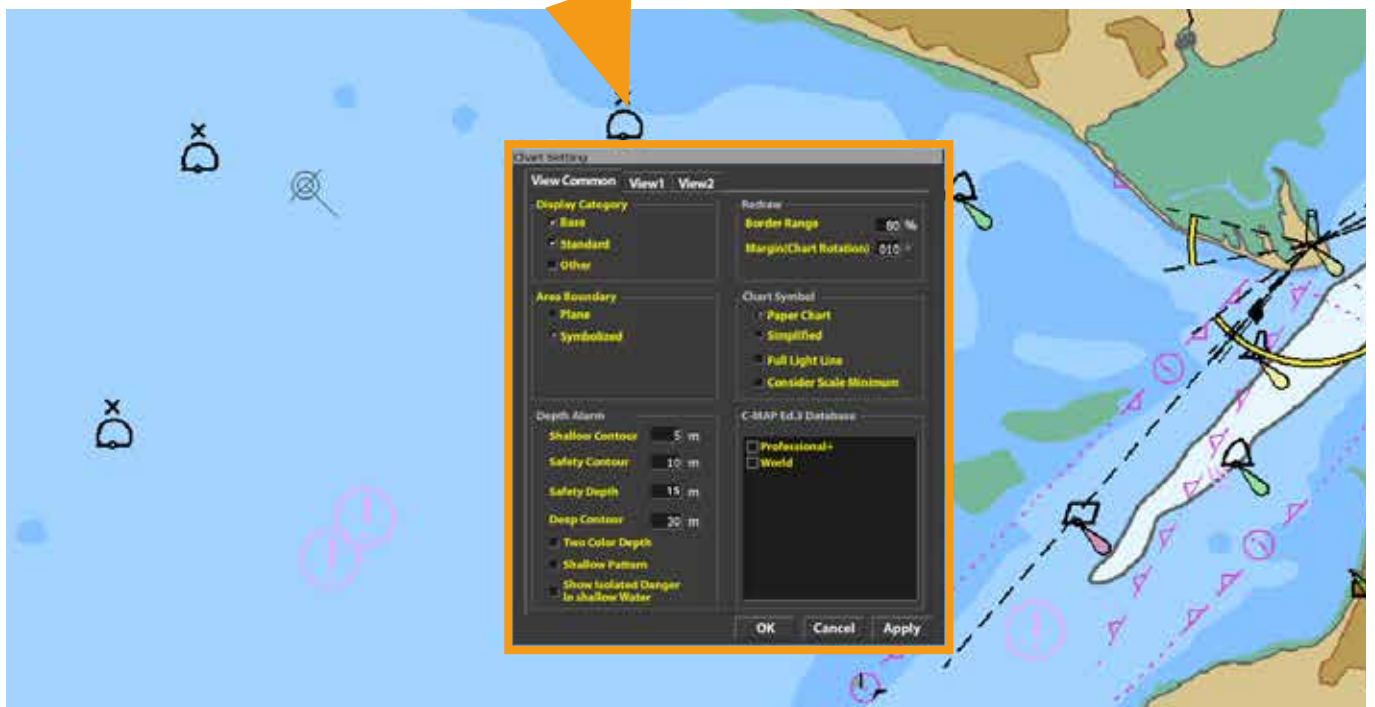


<図11>

12. 各[サブメニュー]の上にマウスを置くと、説明が表示され、説明が出てこないメニューは、クリックをすると、[ポップアップウィンドウ]が表示されます。 <図12, 13>

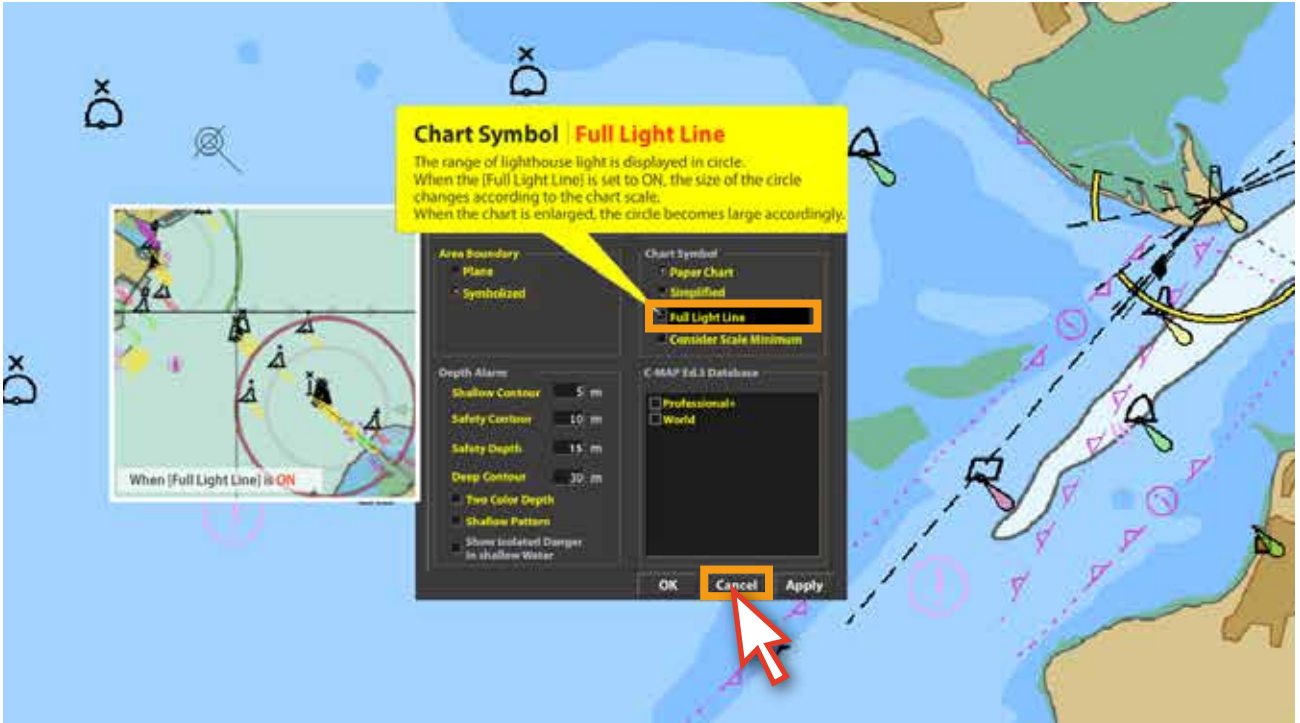


<図12>



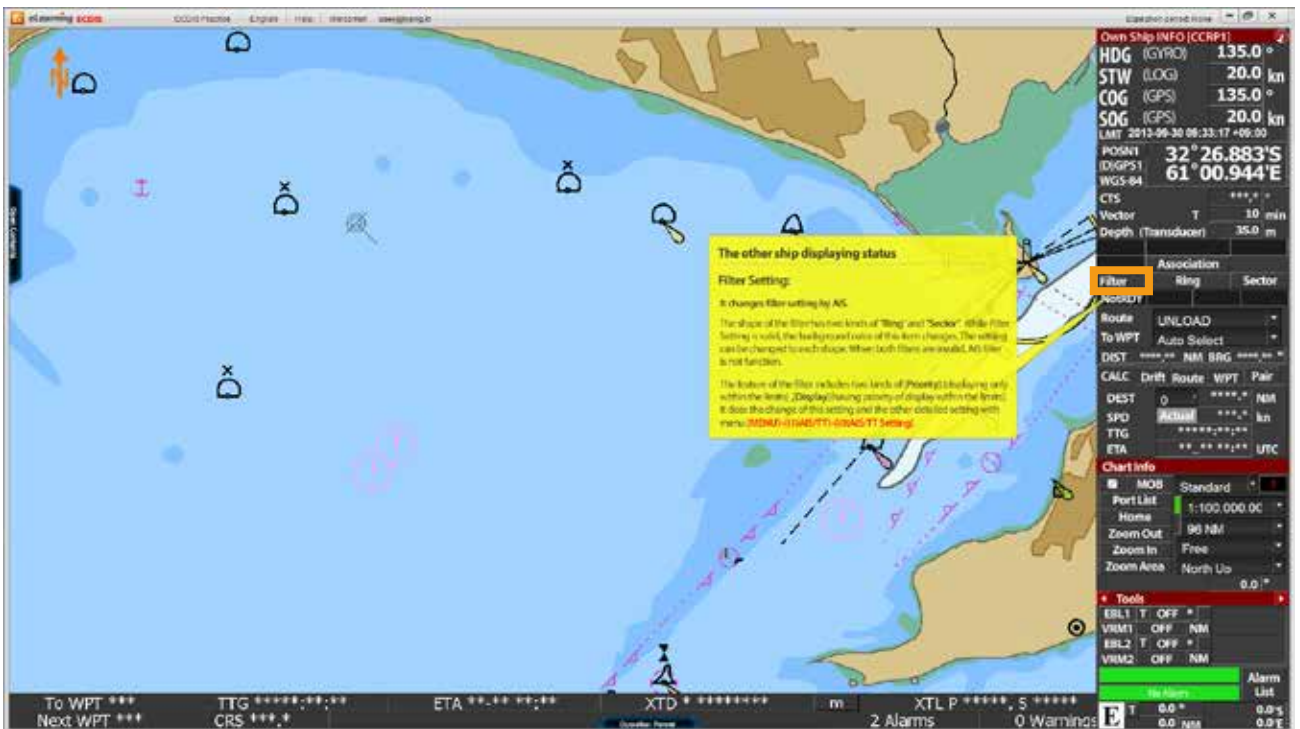
<図13>

13. <図14>のように表示されたポップアップウィンドウの各メニューの上にマウスを置くと、そのメニューの説明を見ることができて、学習の際に参考用として活用出来ます。ポップアップウィンドウの[Cancel]または[Close]ボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウが閉じられます。



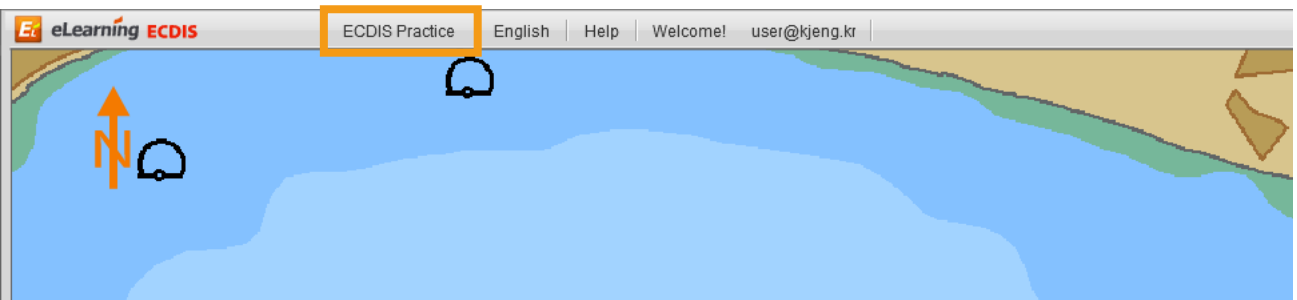
<図14>

14. [Display Panel]のメニューの上にマウスを置くと、そのメニューの説明を見ることができて、学習時の参考用に活用可能です。<図15>



<図15>

15. 画面上部の[ECDIS Practice]メニューをクリックすると、[ECDIS実習デモモード]に切り替わります。<図16>



<図16>

16. <図17>は、[ECDIS実習デモモード]に切り替えした画面です。実習デモモード機能は、実際のECDISの機能と同じで、edurosECDISで学習した内容を実習してみることができます。(一部機能制限)



<図17>

17. デモモードが実行中の際にも左側の[Contents List]を開いて講座を見たり下段の[Operation Panel]の活用が出来ます。機能は前の説明と同じです。<図18>
 (ただし、上段のメニューバーと右側の[Display Panel]は ECDIS実習デモモードに含まれている実際の ECDIS機能です。)



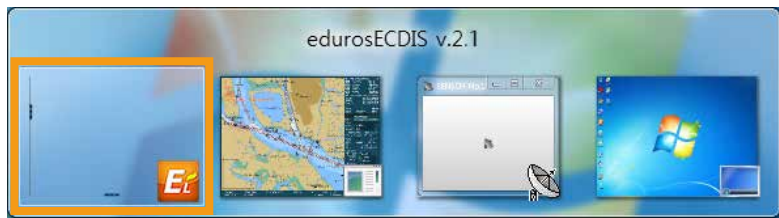
<図18>



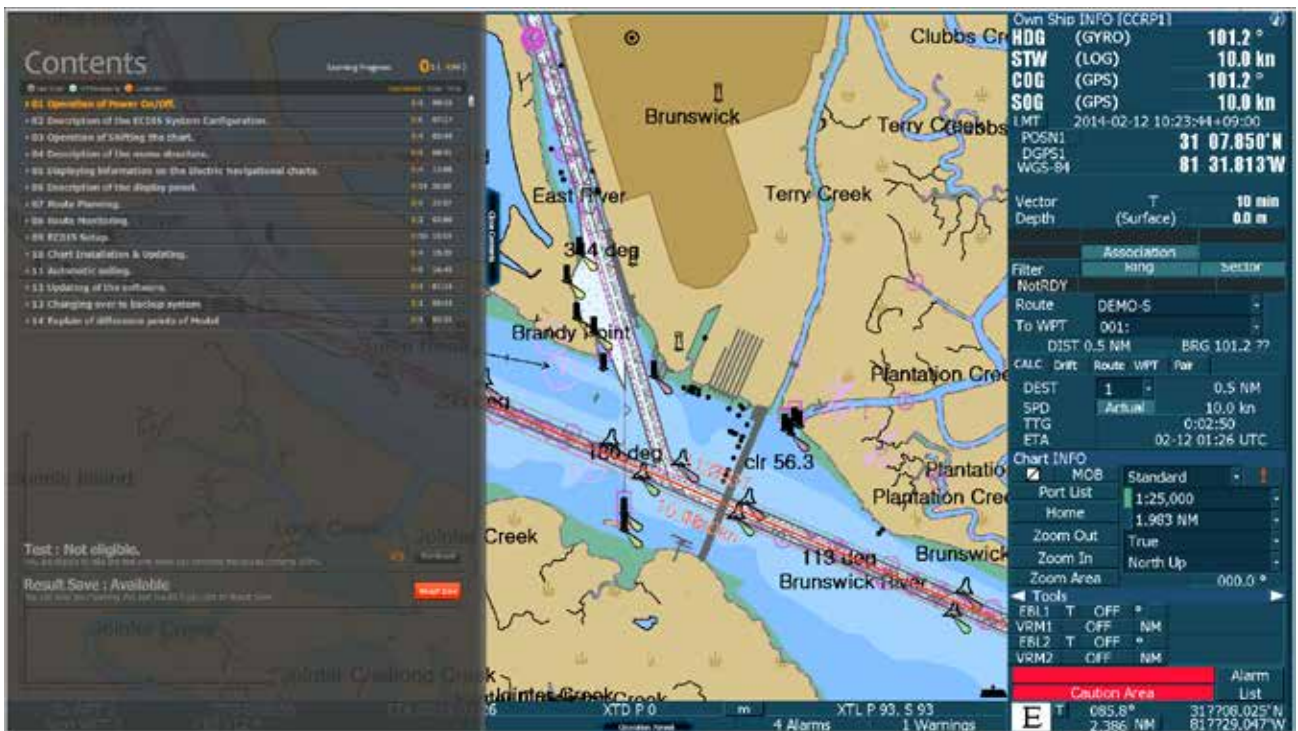
Open ContentsメニューとOperation Pannelメニューが表示されない場合



[Altキーを押したまま]Tabキーを押している状態で右側の下の図のようなeduros ECDIS v2.1をクリックするとメニューが再び表示されます。



18. 実習デモモードで[Contents List]が開かれている画面です。<図19>



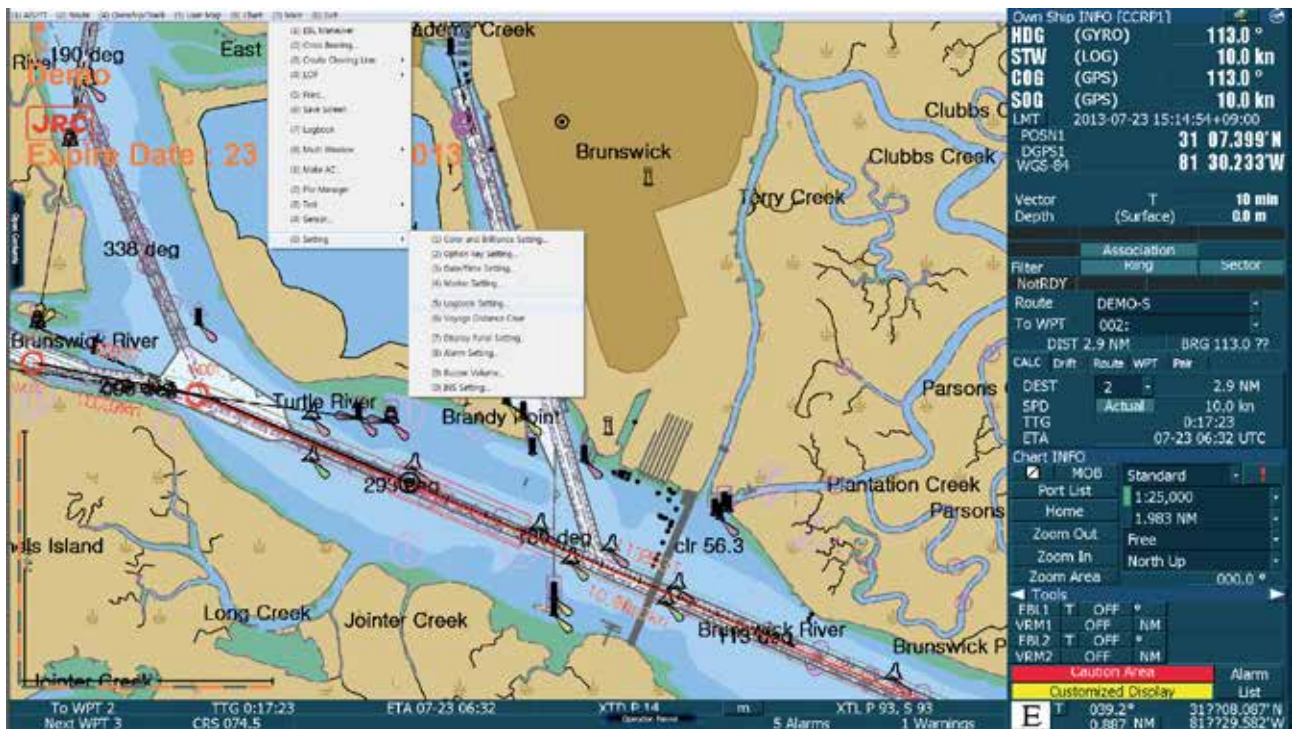
<図19>

19. [アニメーション講座]が表示されている画面です。<図20>



<図20>

20. 次の図は[実習デモモード]機能を活用している画面です。<図21, 22>



<図21>



<図22>

21. ECDIS実習デモモードでedurosECDISに切り替えるときは、画面上部の[O_EXIT]をクリックして、表示されるダイアログウィンドウで、[OK]をクリックします。<図23>



<図23>

22. ECDIS実習デモモード画面から、[edurosECDIS初期画面]<図24>に切り替えることが確認できます。



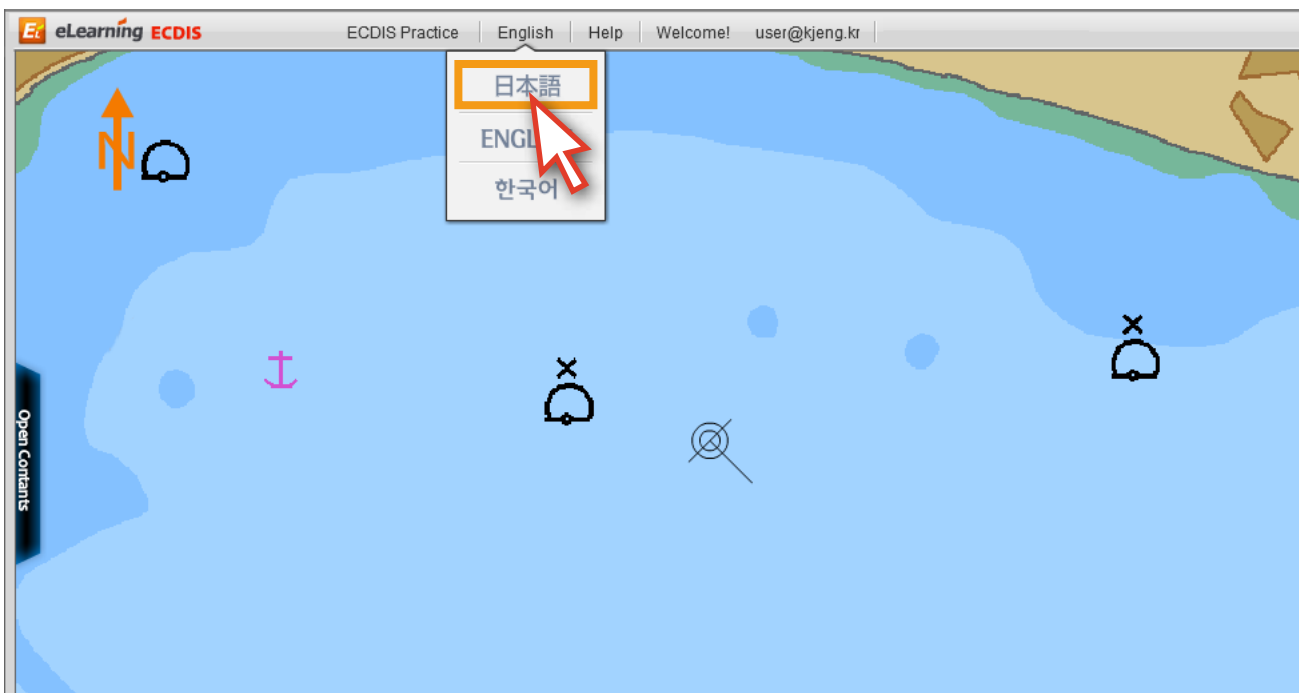
<図24>

23. 画面上部の[Language]メニューをクリックすると、[他の言語]に切り替えることができます。<図25> 言語は[英語、日本語、韓国語]が可能です。



<図25>

24. [日本語]をクリックします。<図26>



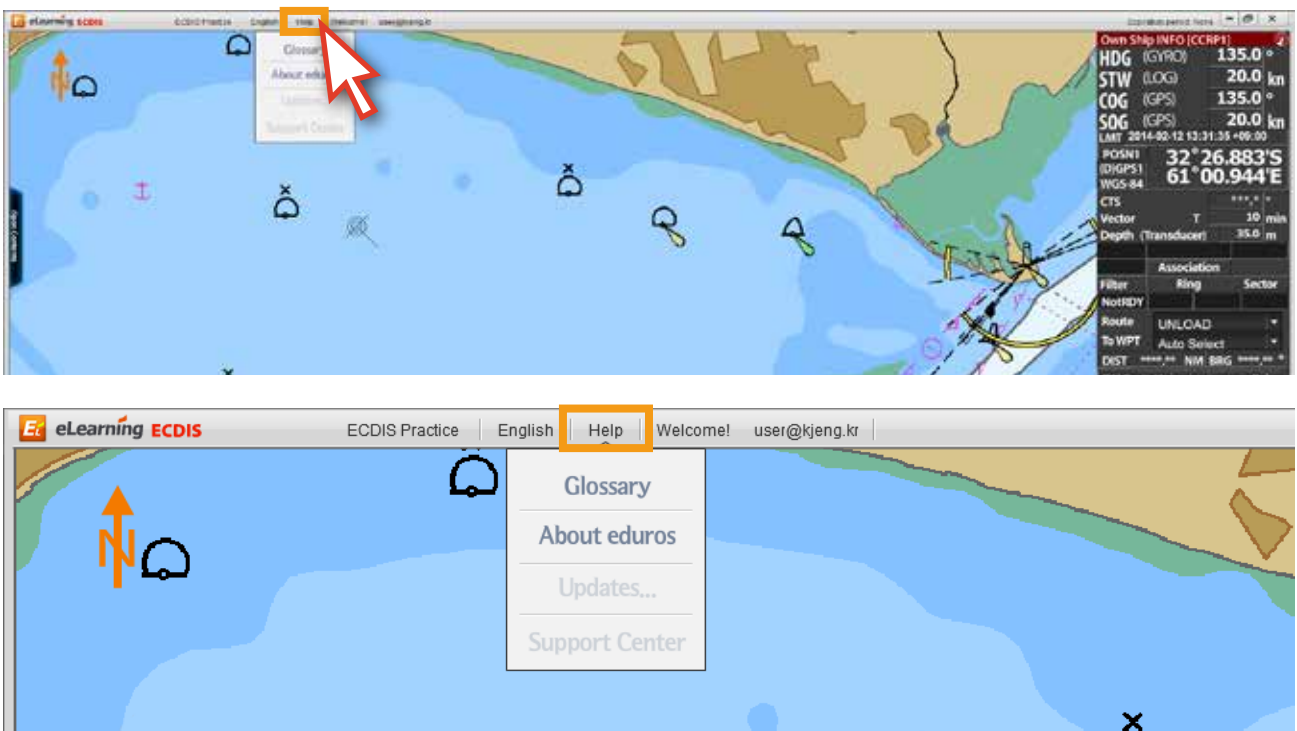
<図26>

25. コンタクトの説明が[日本語]に変わったことが確認できます。<図27>



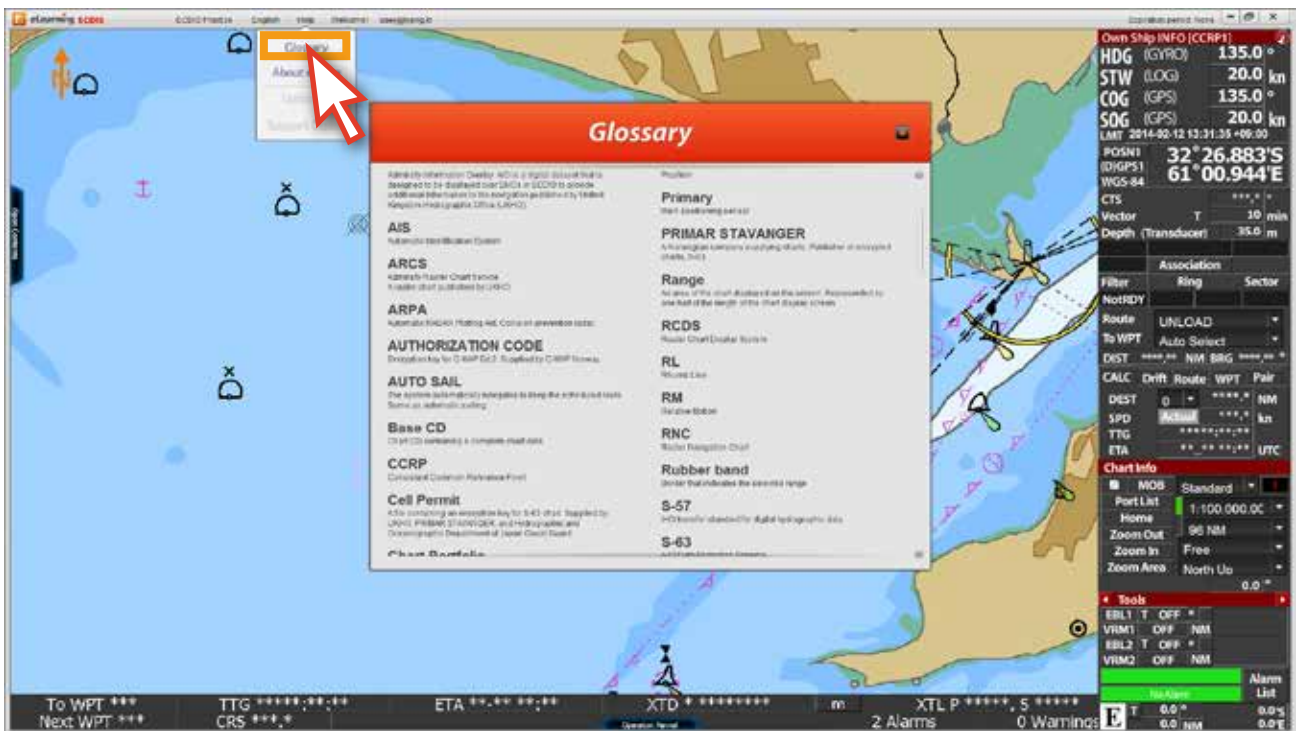
<図27>

26. 画面の上段の[Help]メニューをクリックすると次の図のようはポップアップメニューが表示されます。<図28>



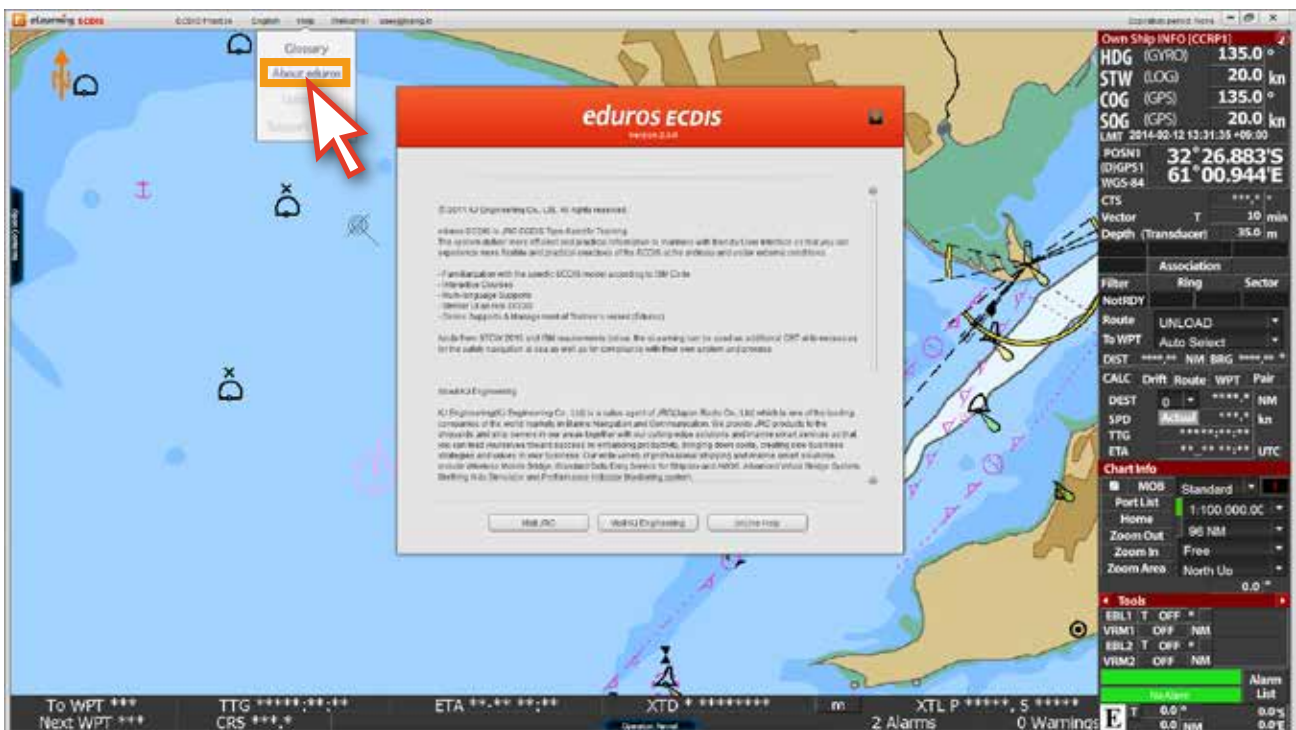
<図28>

27. [Glossary]メニューをクリックすると用語の説明が表示されます。 <図29>



<図29>

28. [About eduroc]メニューはedurocECDISに関連する情報を表示します。 <図30>



<図30>

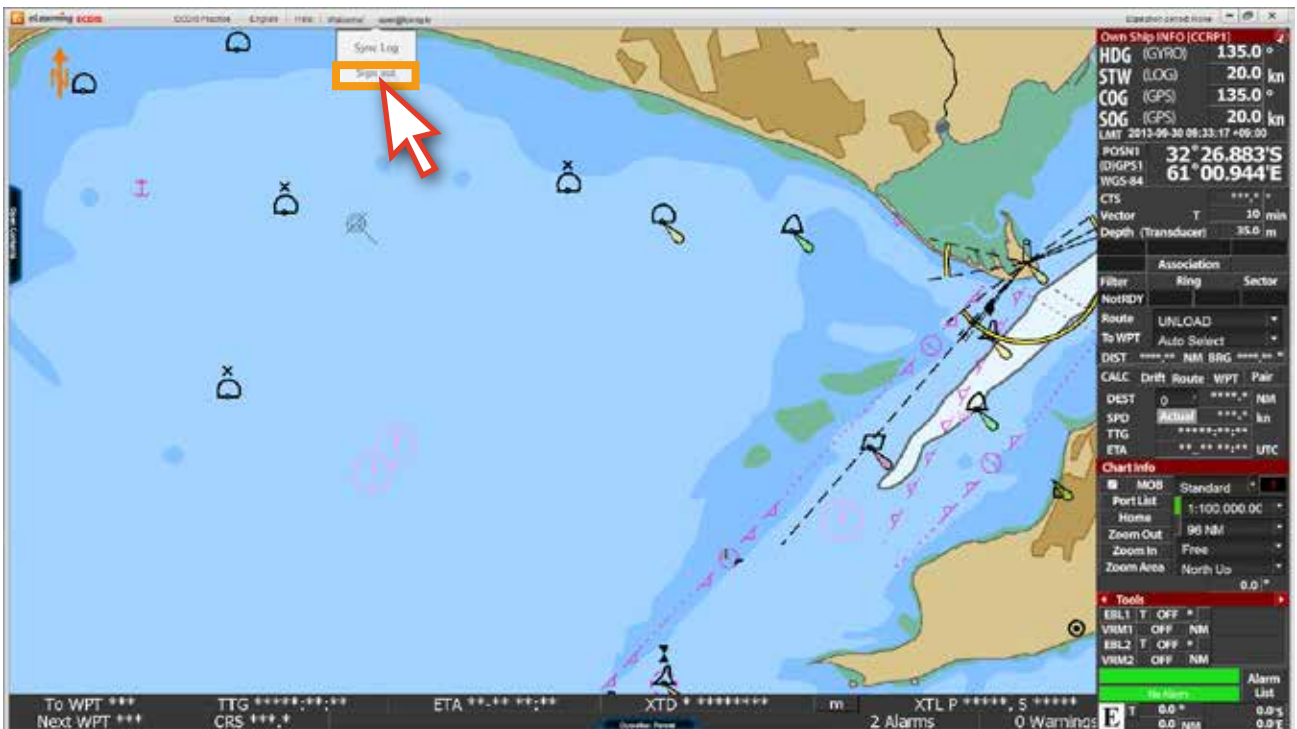
29. 活性されていないUpdates...とSupport Centerメニューはオンライン用の機能です。 Updates...メニューはコンテンツの修正や追加があった場合、オンラインで更新をすることができる機能であり、Support Centerのメニューは、オンライン上でのQ&A機能です。

30. 画面上段の 'Welcome! id'をクリックすると、下の図のようなポップアップが表示されます。<図31>



<図31>

31. [Sync Log] メニューはユーザの学習記録をアップデートする際に使用されます。
[Sign out] メニューをクリックするとSign outされます。<図32>



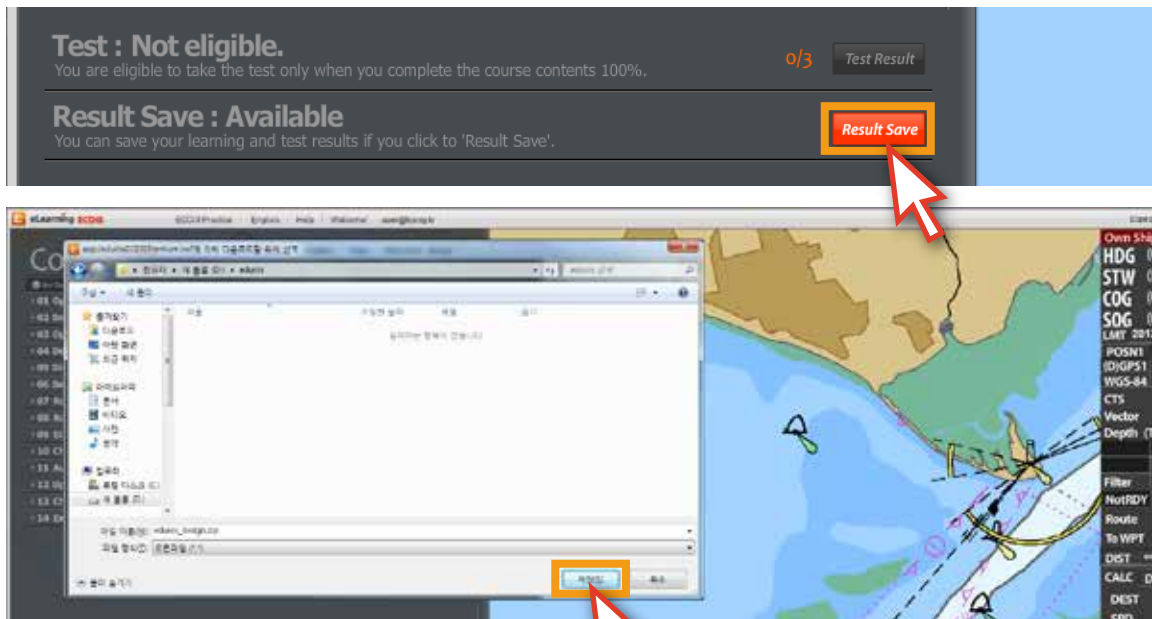
<図32>



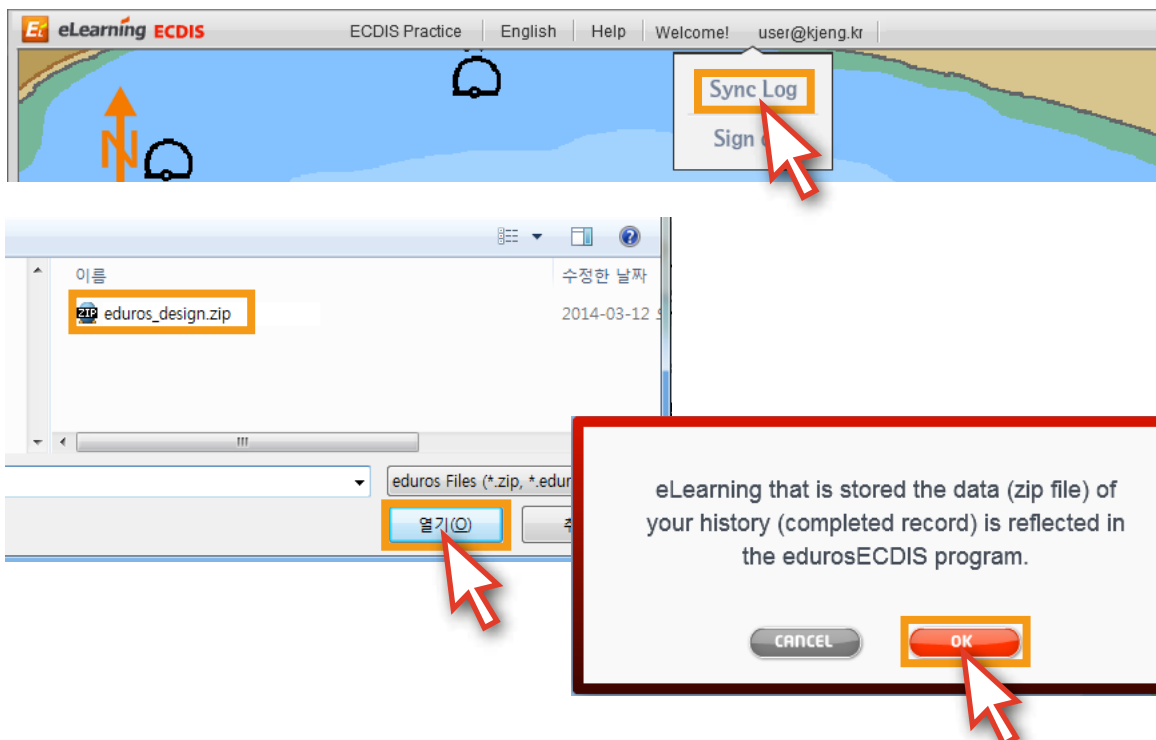
Sync Logの使用説明

Sync Logの機能は、オフラインでPCに保存されたユーザの学習記録を他のPCにもそのまま反映させることができる機能です。

1. コンテンツリストの下部にある[Result Save]ボタンをクリックして、ユーザの学習記録をファイルとして保存します。(USBまたは外付けハードディスクなどに保存)



2. 他のPCにedurosECDISプログラムをインストールして、Sign Inをします。そして、[Sync Log]メニューをクリックして保存したファイル(1番で保存したzipファイル)をロードします。以下のようなポップアップウィンドウが表示されたら[OK]をクリックして学習履歴をアップデートします。





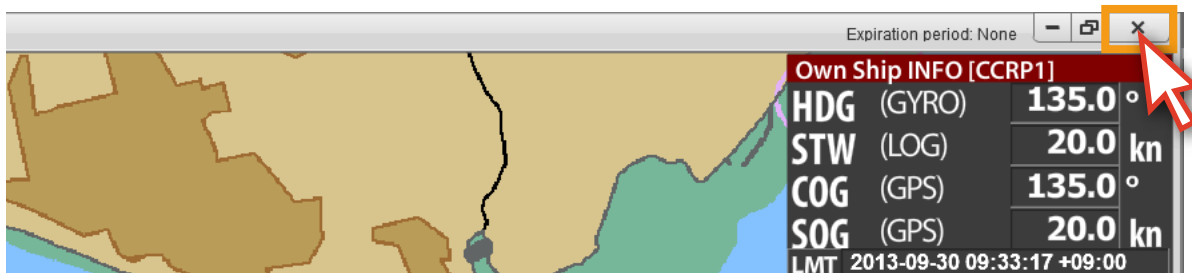
一般的なプログラム終了とSign outの違い。



<図33>

上の<図33>のように [Remember me]にチェックをしてからSIGN INをした状態で

1. 下の<図34>のように一般的にプログラムを終了して, edurosECDISを再起動させると上の<図33>のようにIDやパスワードが入力されているSIGN INポップアップが表示されます。



<図34>

2. しかし、[Sign out]メニューを使用して終了する場合、edurosECDISを再起動すると、下の<図35>のようにSIGN INポップアップの初期画面が表示され、再びIDとパスワードを入力する必要があります。便利よりもセキュリティを優先する場合は[Sign out]で終了するか、[Remember me]にチェックをしないでSIGN INをしてください。

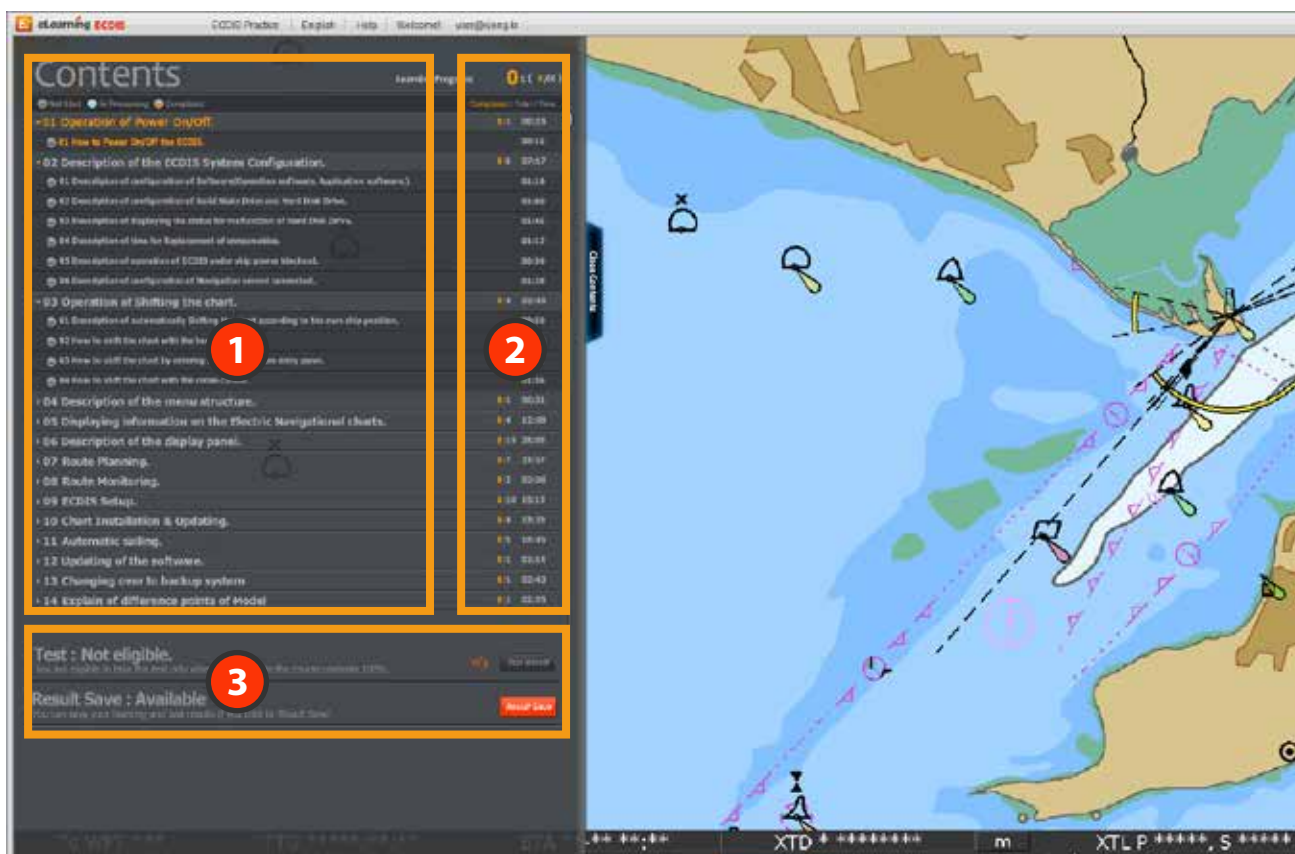


<図35>

5. 学習

edurosECDISの学習について

- edurosECDISの学習は14個のチャートで構成されており、講座の数は合計66個となります。
- 講座はアニメーション動画となっていて、言葉及び音声は英語、日本語、韓国語がサポートされます。
- コンテンツのパネルに全ての講座が入っており、学習の進行状態も表示されます。
- 講座の学習完了はその講座動画進行が終了すると完了となります。
- 講座はコンテンツパネルのリストの順番に受けることになります。
- 全ての講座は複数回受けることができます。
- 1日に受けられる講座の数は限られておりません。
- 実習モードと並行しながら学習することができます。
- 一部の講座はポップアップの説明の内容となっていて、マウスを置くと説明を見ることが出来ます。
- 全ての講座が完了すると、テストを受けることができます。



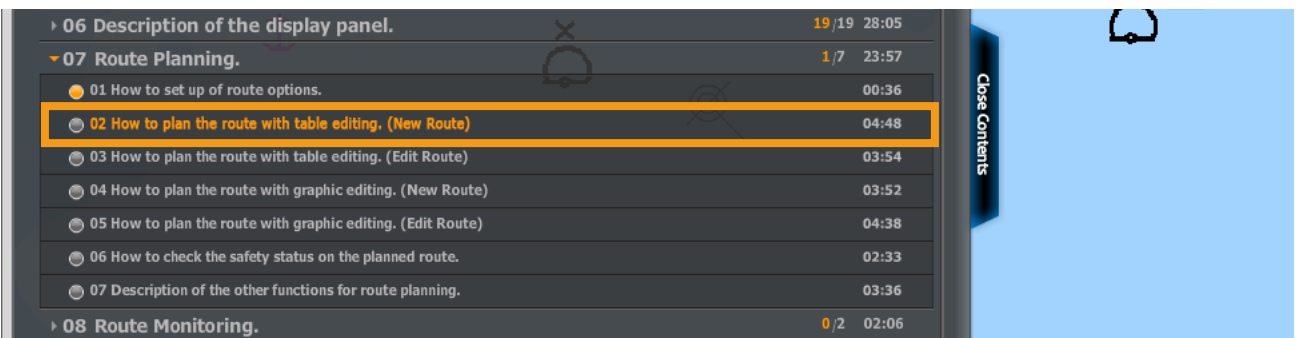
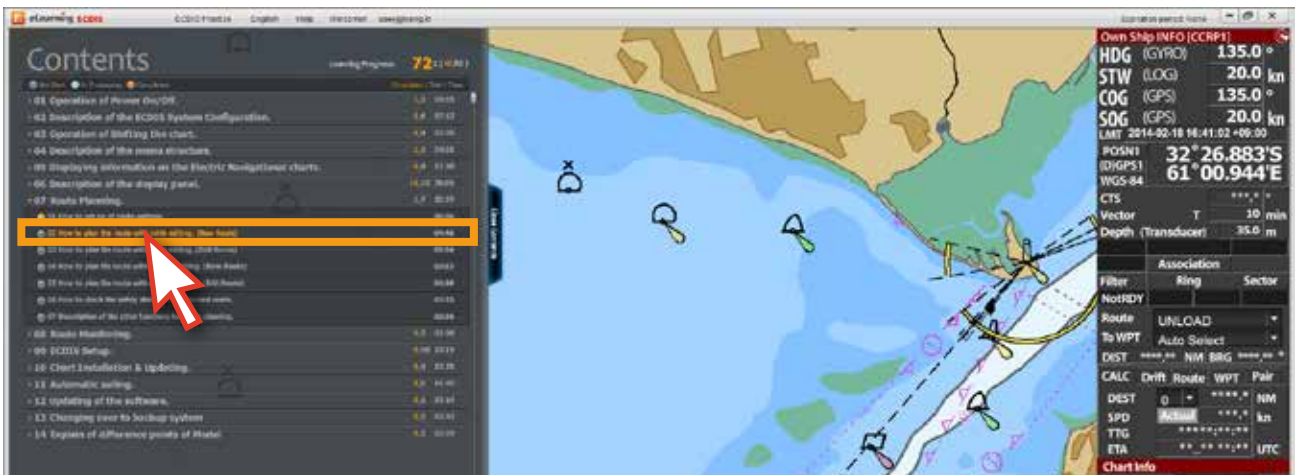
- 1** [Contents List]が表示され、14のチャートの中には66個の講座が入っています。各タイトルをクリックすると、そのサブリストが表示されます。
- 2** 各チャートのコンテンツの本数と時間が記載されており、学習の進捗状況などを確認することができます。
- 3** 試験に関連する部分であり、すべての講座が終了すると、この部分がアクティブになり、試験を受ける資格ができます。

1. edurosECDISプログラムを実行した後、[Open Contents]をクリックします。<図01>



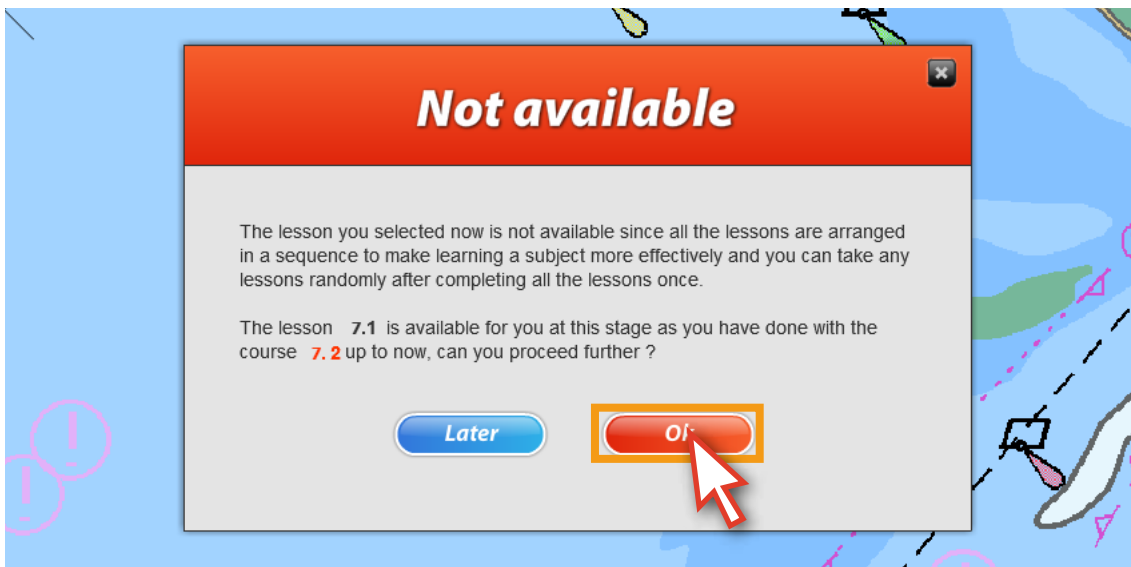
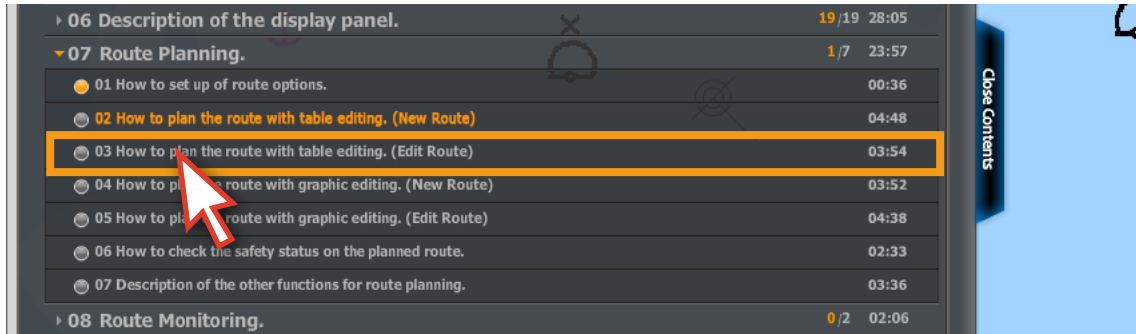
<図01>

2. コンテンツパネルで、オレンジ色で表記された今回順番の講座をクリックします。<図02>
(ここではChart1からChart7の01番まですべて完了した後、Chart7の02番を受講する順番の例を挙げます。)



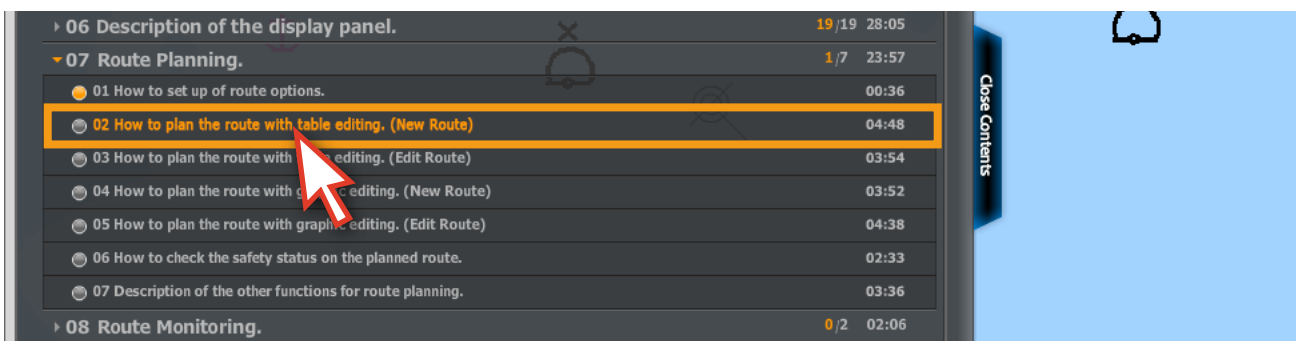
<図02>

まず、オレンジ色のタイトルの2番講座をクリックせず、順番を無視してその次の3番講座をクリックすると下のようなポップアップが表示され、講座を進めません。
[OK]ボタンをクリックすると、元の順番の2回アニメーション講座が開かれます。



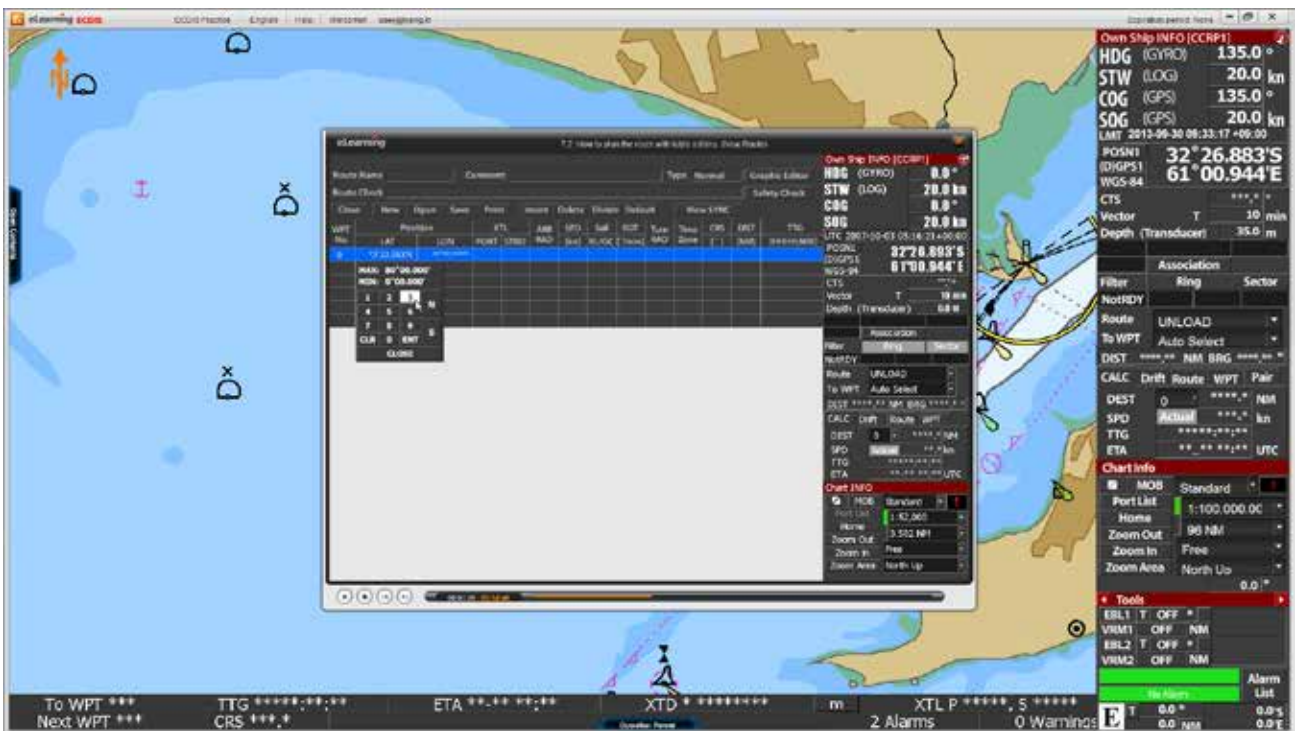
<図03>

3. オレンジ色のタイトルの2番講座をクリックします。



<図04>

4. そのタイトルのアニメーション講座が進行され、繰り返してみることも出来ます。<図05>
 (ただし、前の説明のように最初の講座受講の場合、その講座の早送りコントロールは出来ませんが講座を最後まで進行した後はその講座のコントロールが自由となります。)



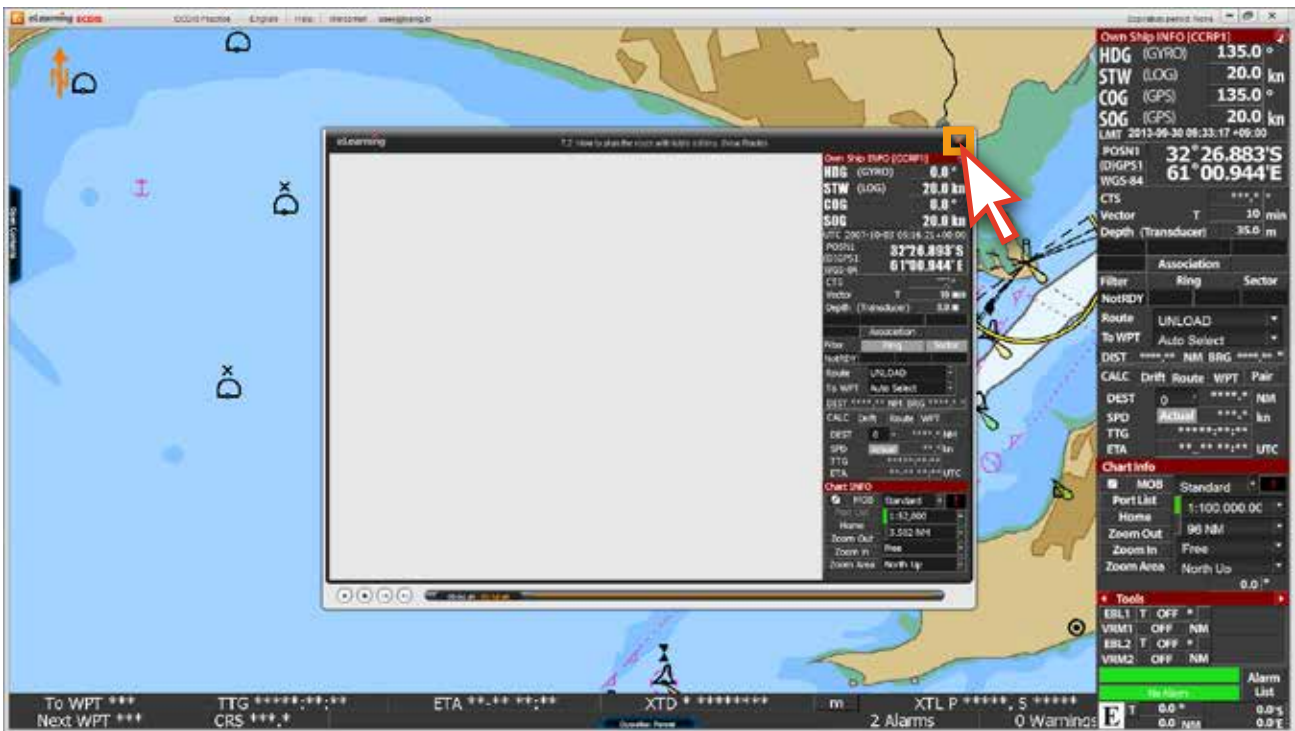
<図05>

5. 一部の講座によっては、下の図のようにが[ポップアップメニュー]の上にマウスを置くと、説明が表示されます。



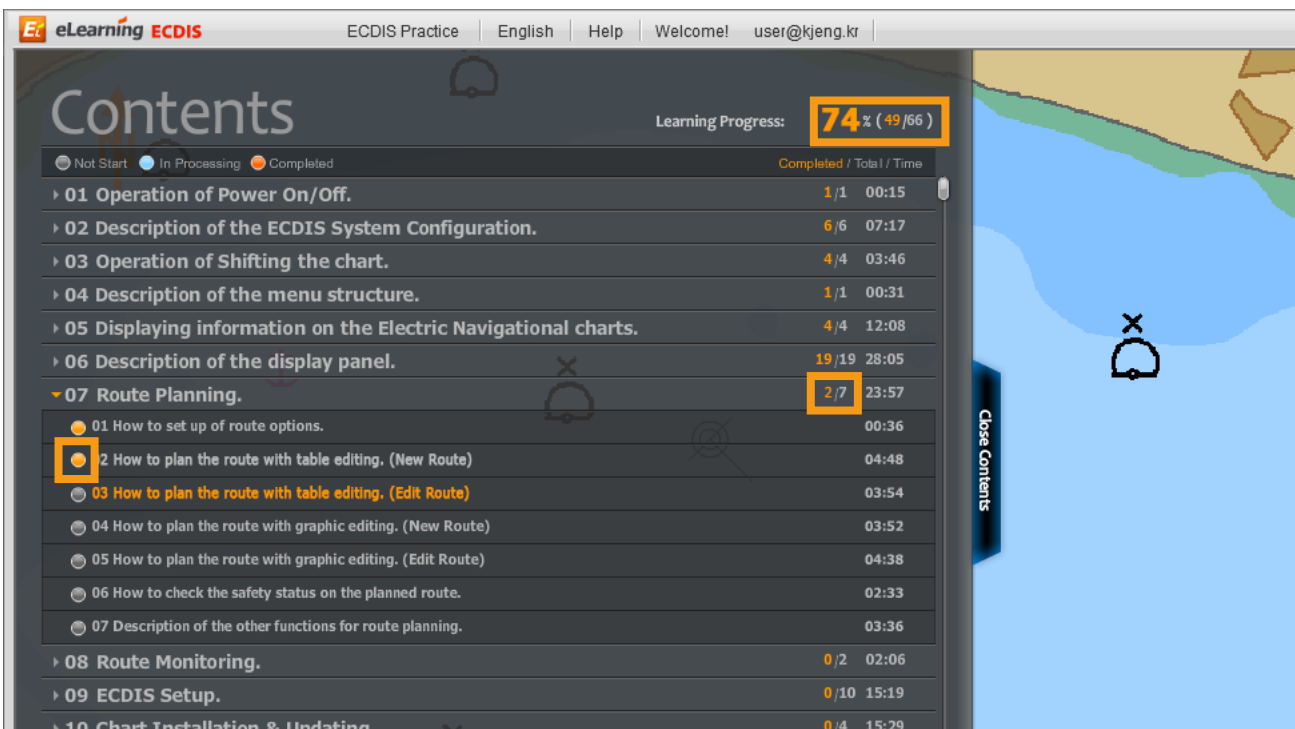
<図06>

6. アニメーション講座が終了したら、[閉じる]ボタンをクリックして講座を終了します。<図07>



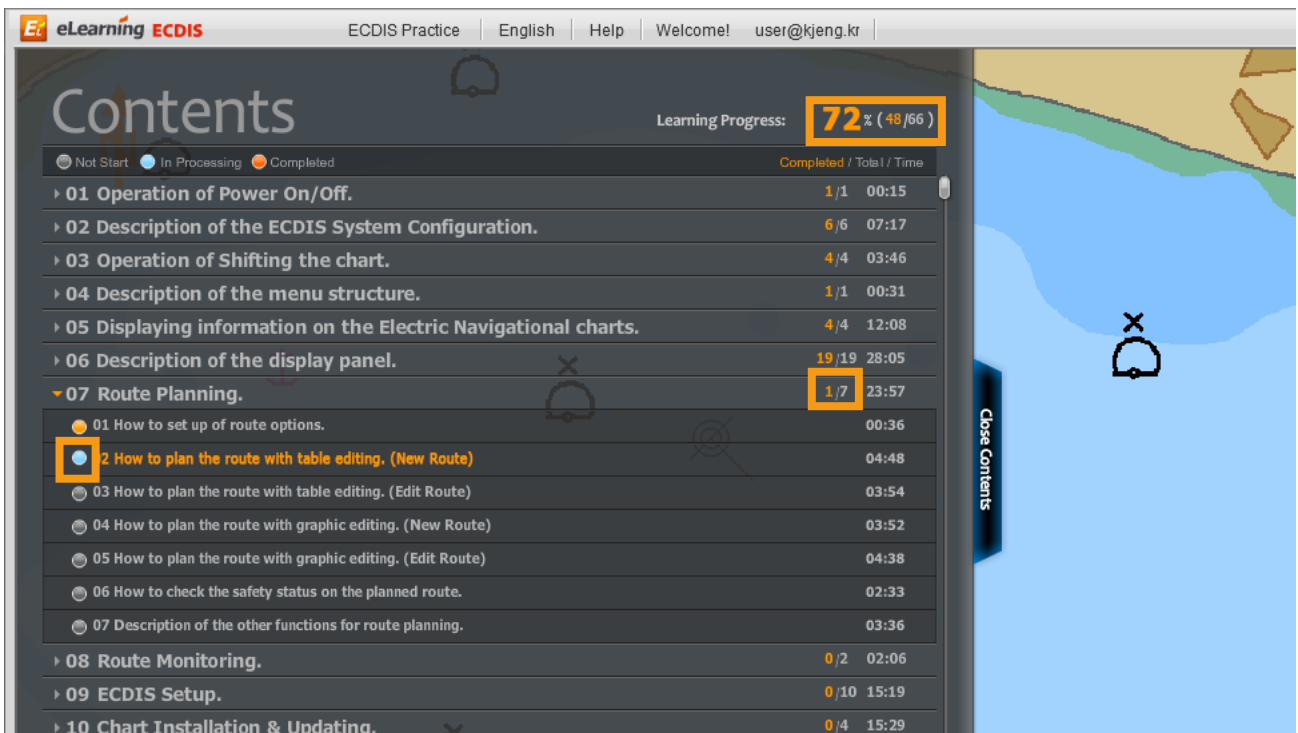
<図07>

7. コンテンツのリストを開き、その講座の学習状態を確認することができます。正常に学習が完了した場合は、講座の状態が ○ から ● に変更され、全講座の終了%の数値が上がります。<図08>



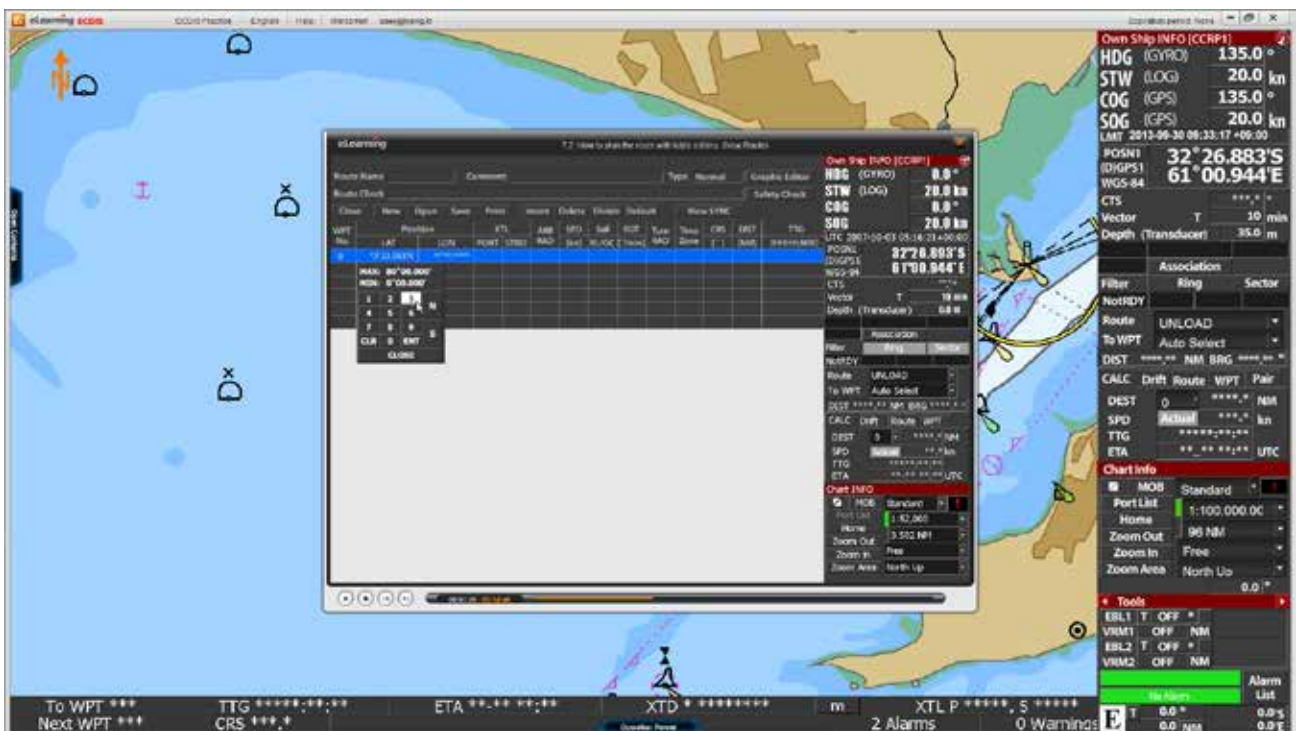
<図08>

8. ○の状態が●になっている場合は学習が完了した状態ではないので、その講座を再び学習しなければなりません。通常、コースを最後まで見ていなかった場合は●の状態が表示され、この場合には、全講座の終了%に含まれていません。<図09>



<図09>

9. 講座の学習状態が完了していない場合、再び講座を学習して完了します。<図10>

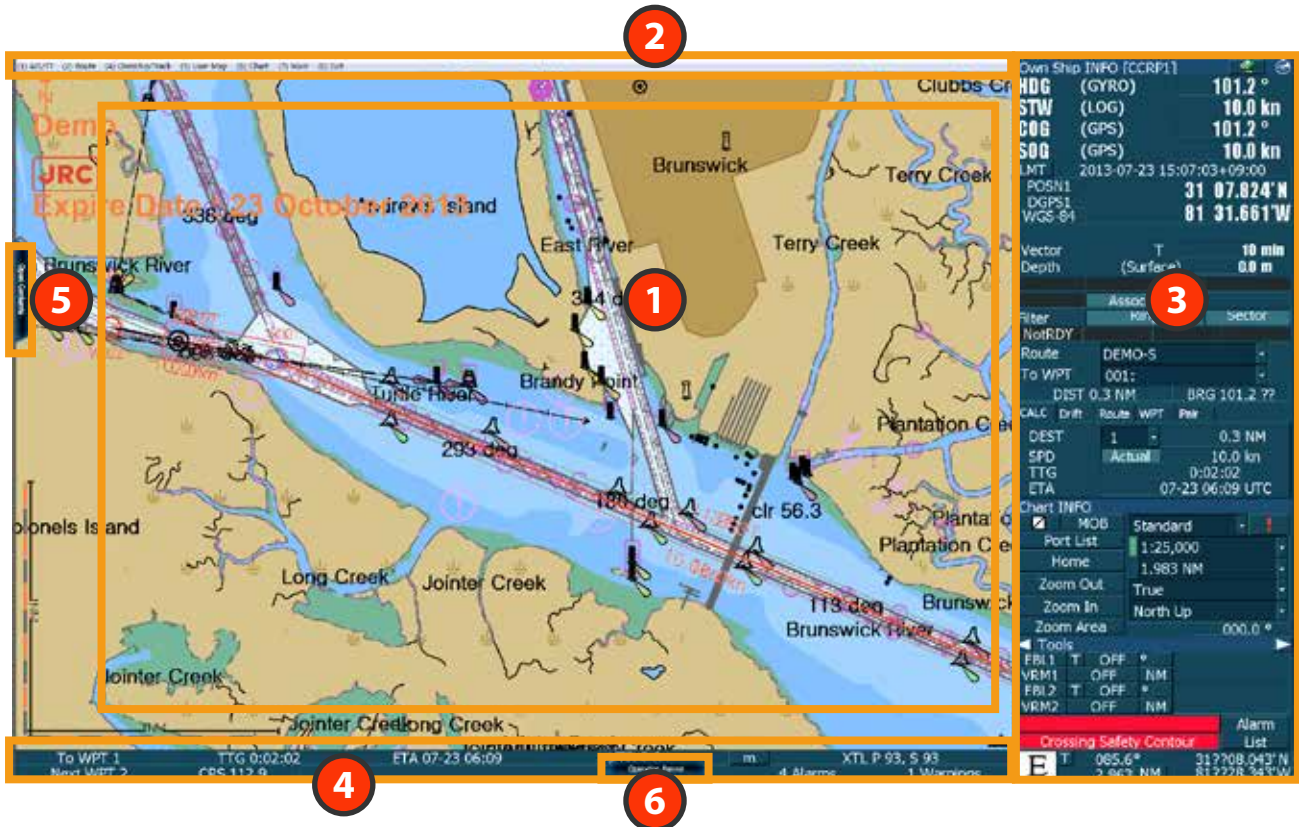


<図10>

6. 実習

実習モードの構成の説明

- 実際のECDISプログラムと同一な実習用デモプログラムです。ただし、使用可能期間は90日間と限られており、一部の機能は制限されます。



- 1 [Chart Display area]です。
電子海図上の状況をグラフィカルで確認できます。
- 2 [Menu title bar]です。
ECDISプログラムの機能を活用できるメニューが表示されます。
- 3 [Display panel]です。
現在の電子海図上のデータが表示されます。
- 4 [TCS bar]です。
TCSに関連する内容が表示されます。
- 5 [edurosECDISのコンテンツパネル]です。
Open Contentnets ボタンをクリックするとコンテンツリストパネルが表示されます。
実習モードと並行して学習出来ます。
- 6 [ECDIS Operation panel]の機能を説明します。
Operation Panelボタンを押すと、Operation panelが表示されます。詳しくは前に説明した内容と同一です。学習の際に参考用として活用できます。

1. 画面の上段の[ECDIS Practice]をクリックします。<図01>



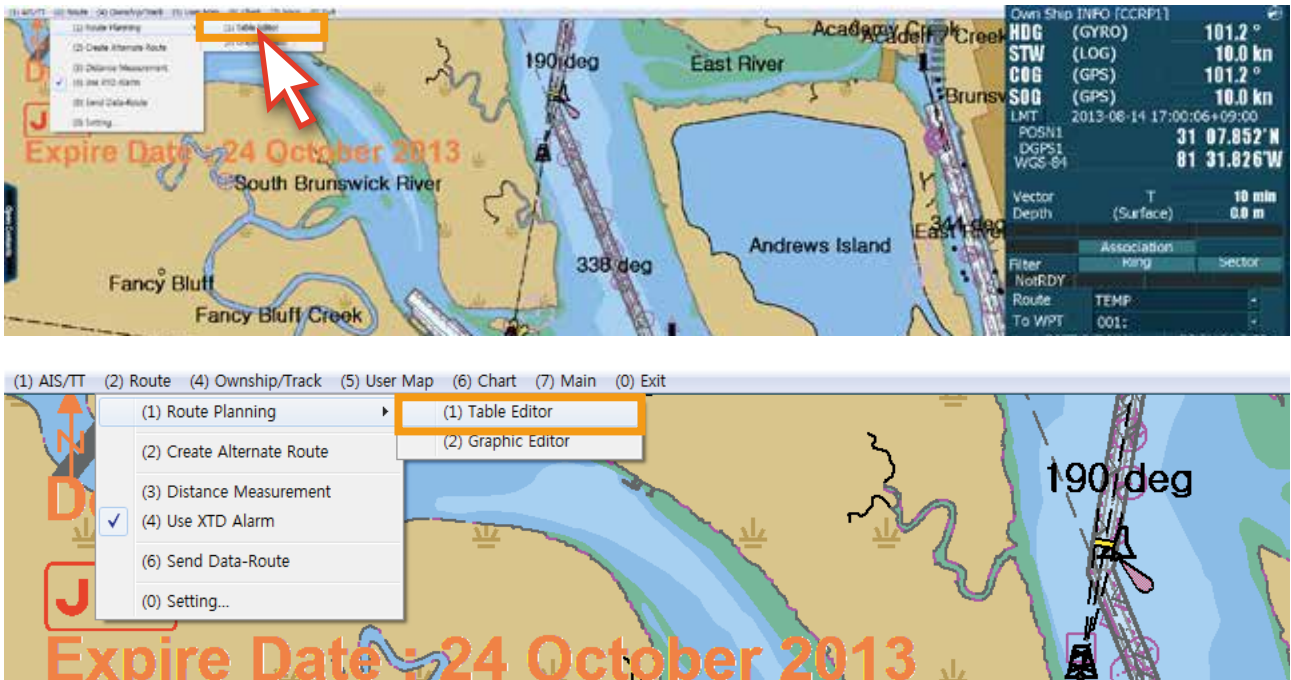
<図01>

2. [ECDIS 実習デモモード]に切り替わります。<図02>

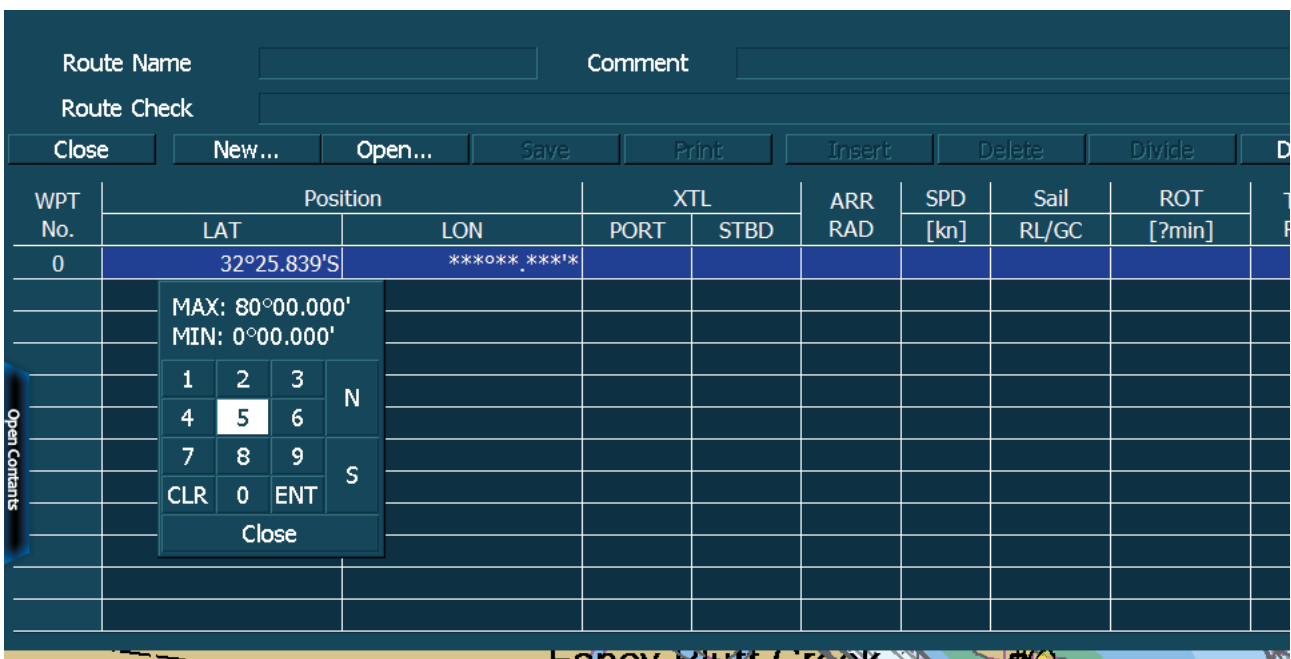


<図02>

3. 前に学習した内容と連関づいて実習することが出来ます。<図03,04>

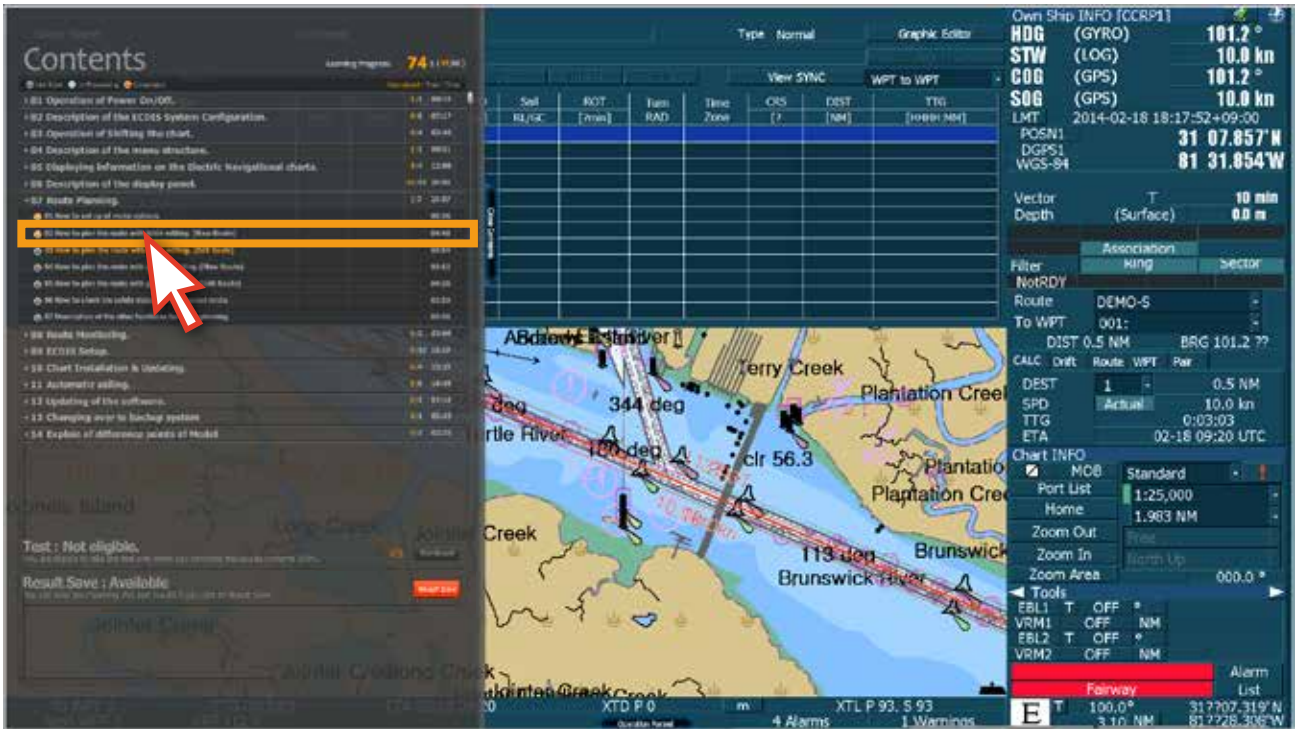


<図03>



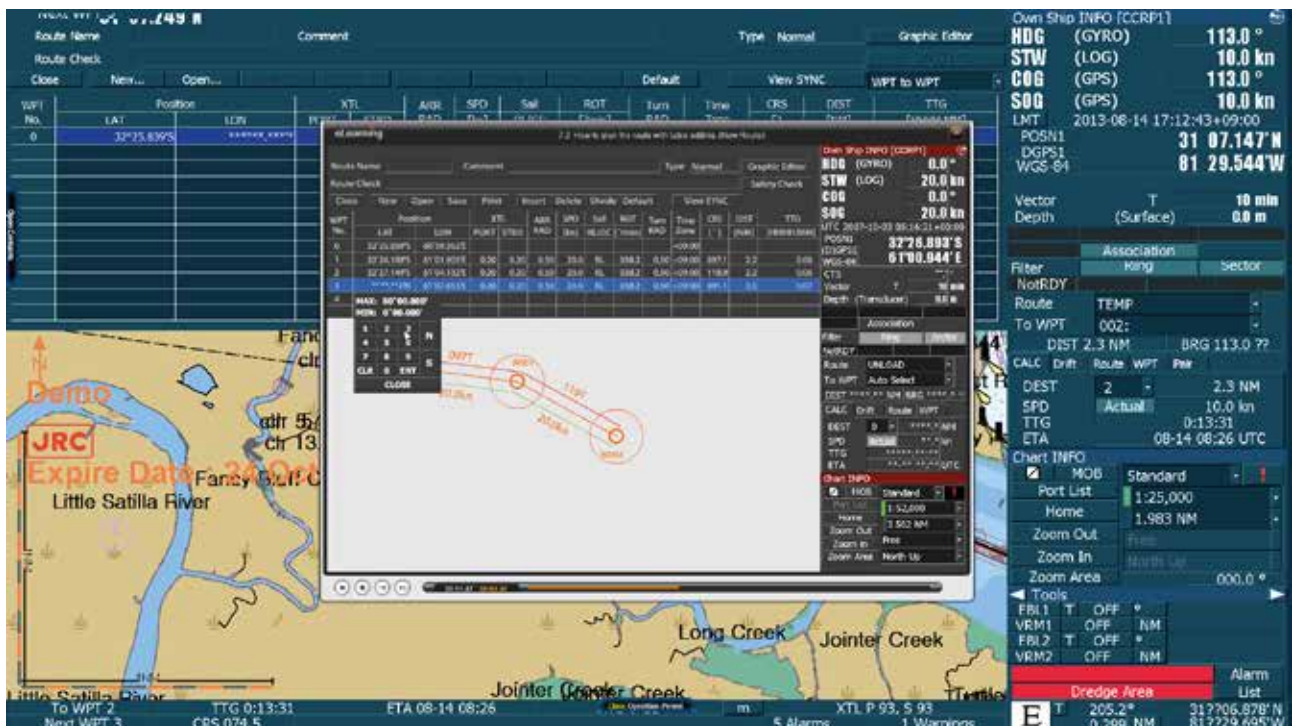
<図04>

4. 学習の内容が思い出せなくて再び確認しようとする場合、すぐに[Open Contents]ボタンをクリックして、もう一度講座の学習することができます。<図05>



<図05>

5. edurosECDISプログラムと実習デモモードを並行しながら学習できます。<図06>



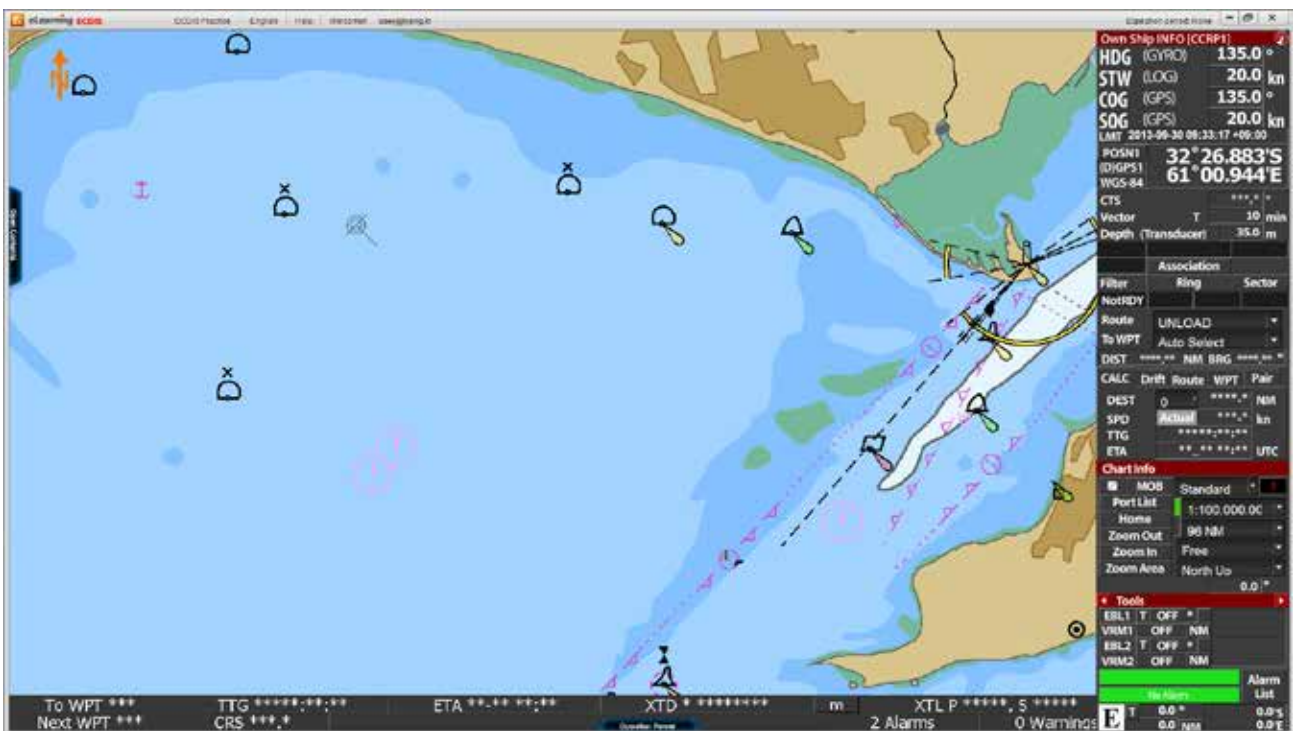
<図06>

6. 実習が終わったら画面上段の[(O)EXIT]をクリックし、ダイアログが表示されたら[OK]ボタンをクリックして[edurosECDIS初期画面]に戻ります。<図07>



<図07>

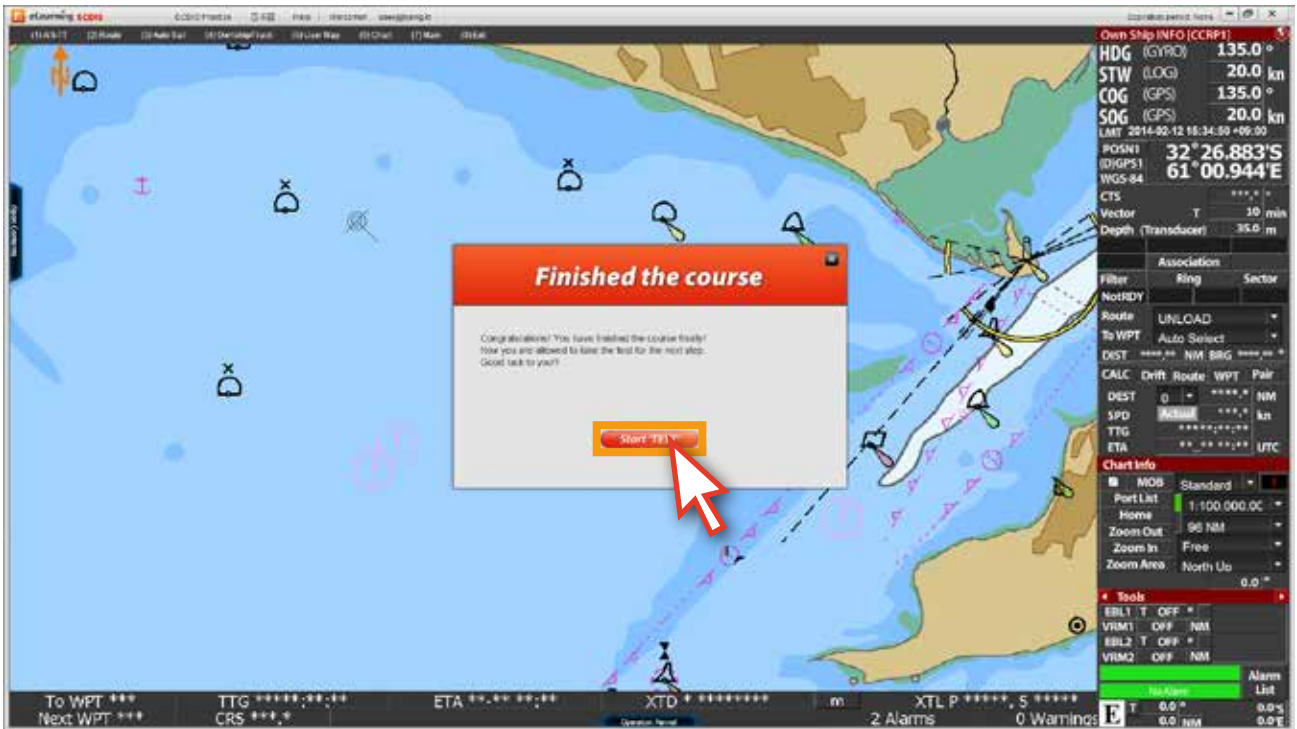
7. [edurosECDIS初期画面]<図08>に戻りました。<図08>



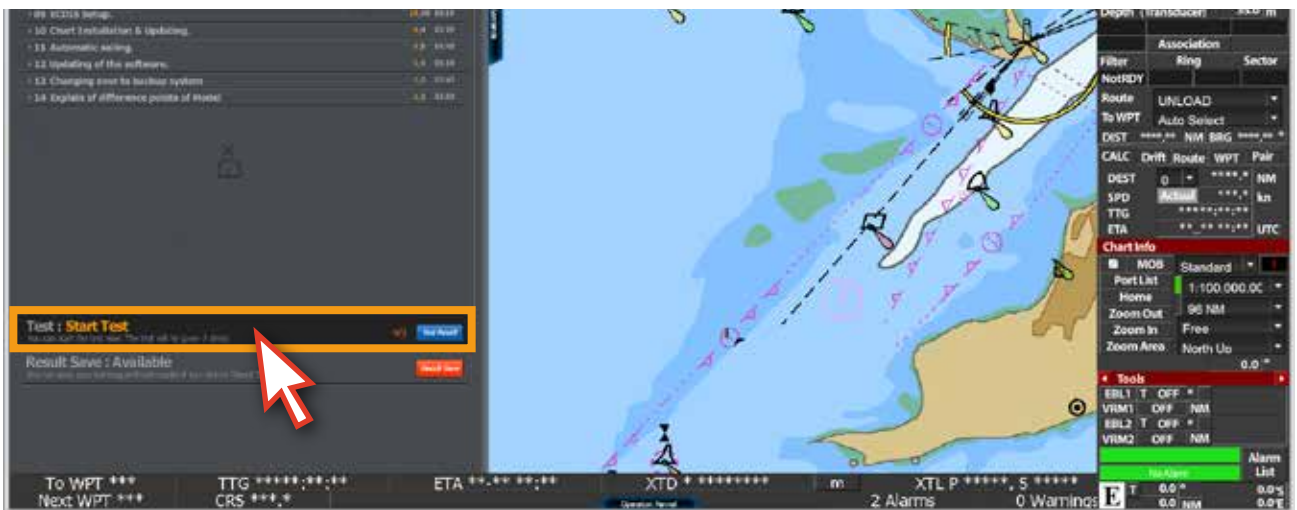
<図08>

7. テスト

1. Course Progressの全ての過程が完了されると[Test資格]が与えられます。<図01>試験を受けるためにポップアップの[Start TEST]ボタンをクリックするか、左側の[Open Contents]をクリックして、下の<図02>のように活性されている[Start Test bar]をクリックします。

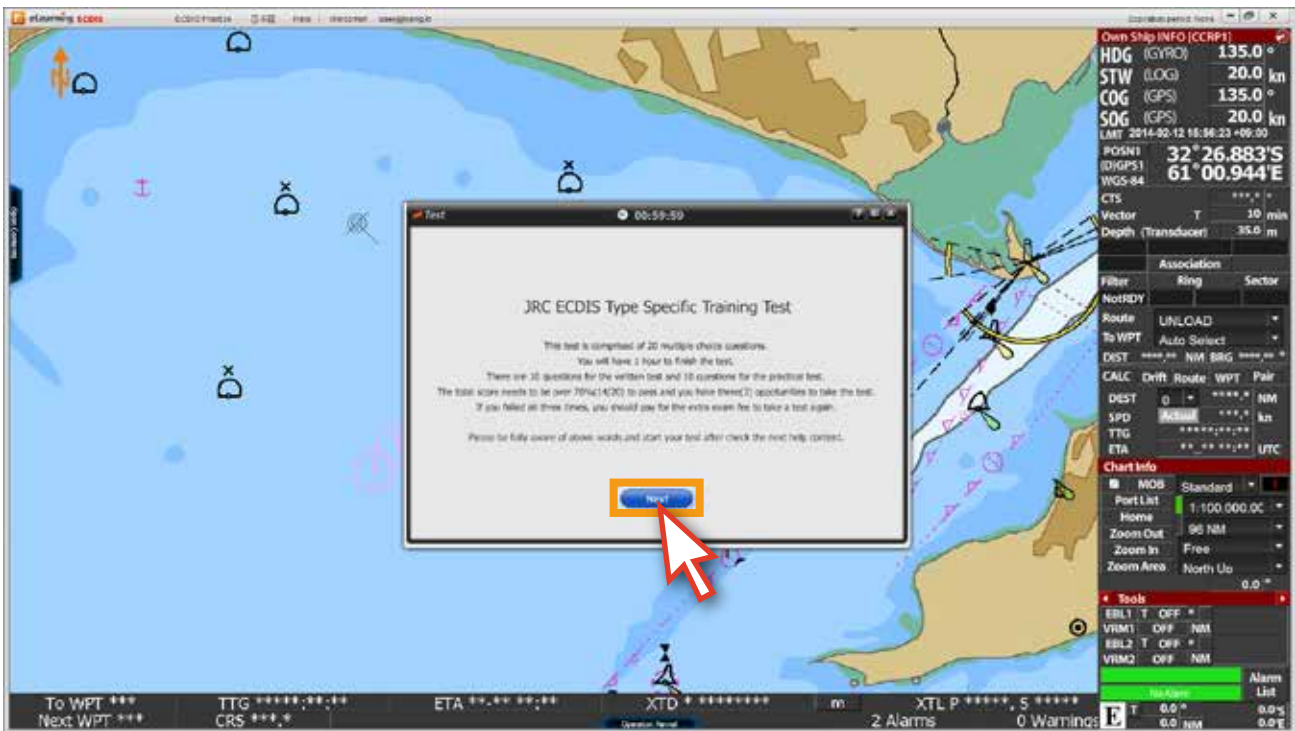


<図01>



<図02>

2. [テストモード]のポップアップが下の<図03>のように表示されます。ポップアップにはテストの進行方法に関する内容が表示されます。内容をよく理解してから[Next]ボタンをクリックします。<図03>



<図03>

3. <図03>のポップアップの内容です。

JRC ECDIS Type Specific Training Test

テストの問題は総20問が出題されます。

理論問題10問と実習問題10問となります。

テスト時間は1時間です。

テストの機会は3回であり、70点(14/20)以上から合格になります。

3回のテストを全部合格できなかった場合、追加テスト費用を支払う必要があります。

上の内容をよく理解した後でテストを始めてください。

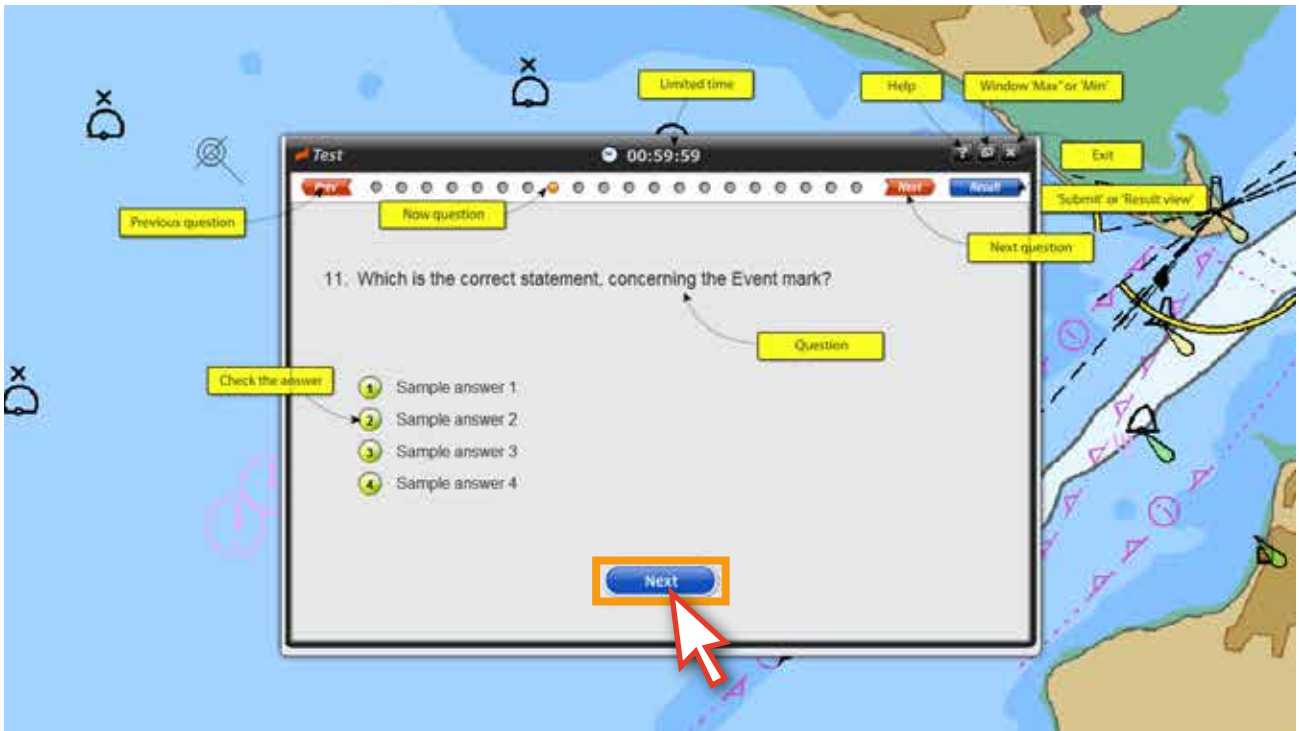


* ご注意

テストの途中で、制限時間が5分以上が残っている状態でテスト画面を閉じると、全ての内容が失われ、テストを最初から受ける必要があります。この時、[テスト可能回数]は差引されずにそのまま維持されます。残り時間が5分以内の場合はテストを最後まで進める必要があります。もしこの時テスト画面を閉じると[不合格]の結果とともにテスト可能回数も1回失われます。

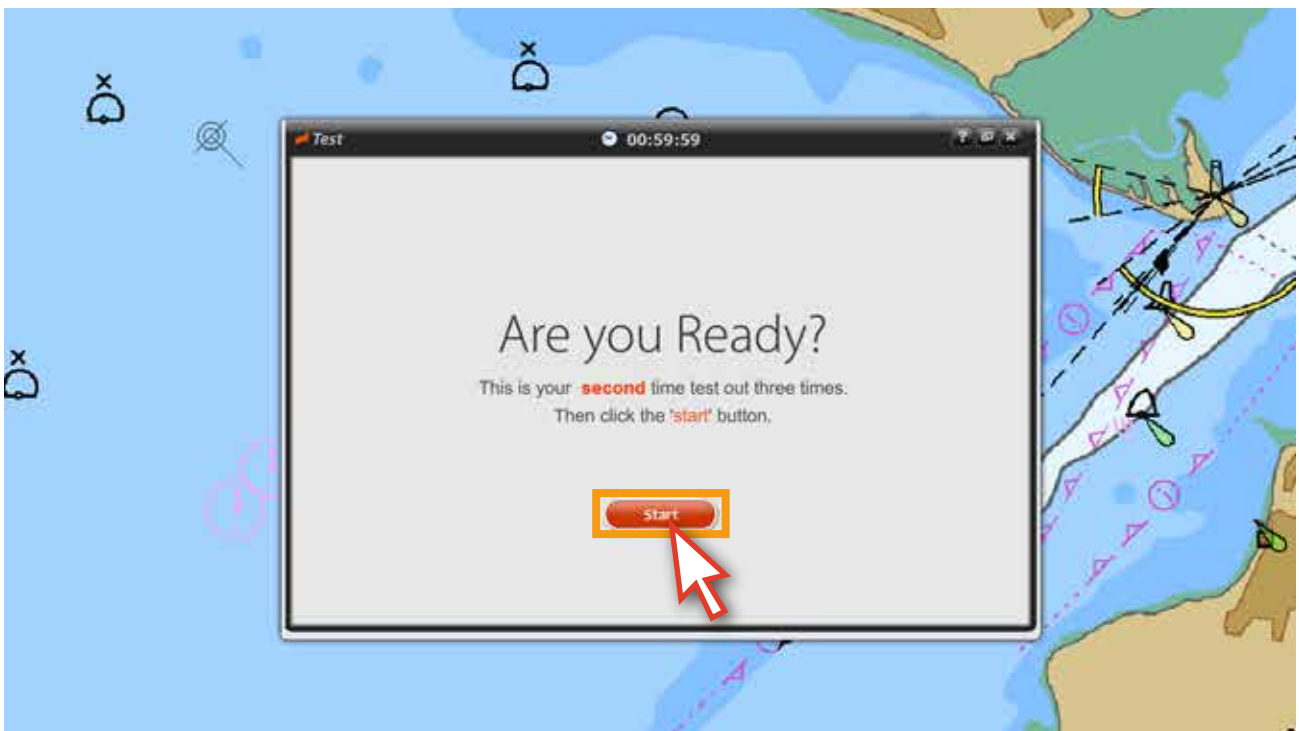
制限時間が過ぎるまでテストを完了出来なかった場合、自動的に不合格処理されます。

4. テストの答えチェック方法及びテスト進行状態バーの説明が表示されます。<図04>
内容をよく理解した後で[Next]ボタンをクリックして試験準備段階に進みます。



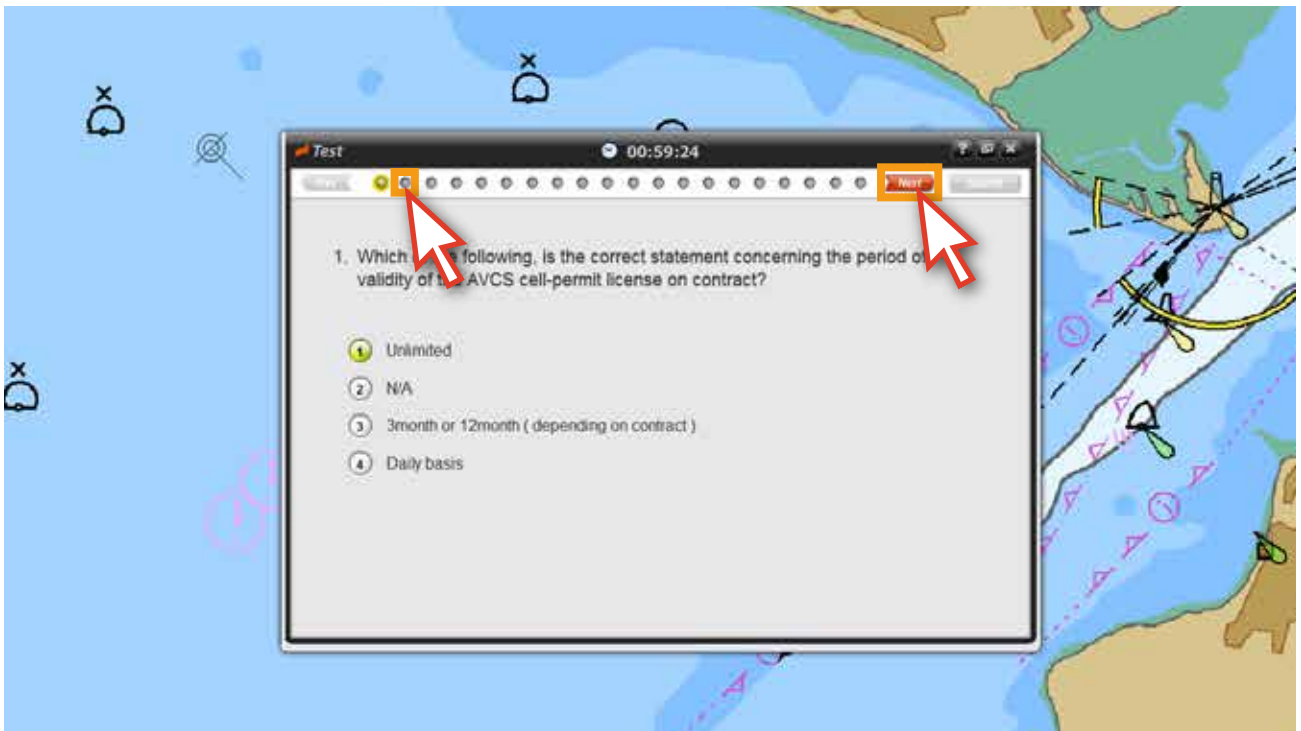
<図04>

5. テストを受ける準備が終わったら[Start]ボタンをクリックしてテストを始めます。<図05>



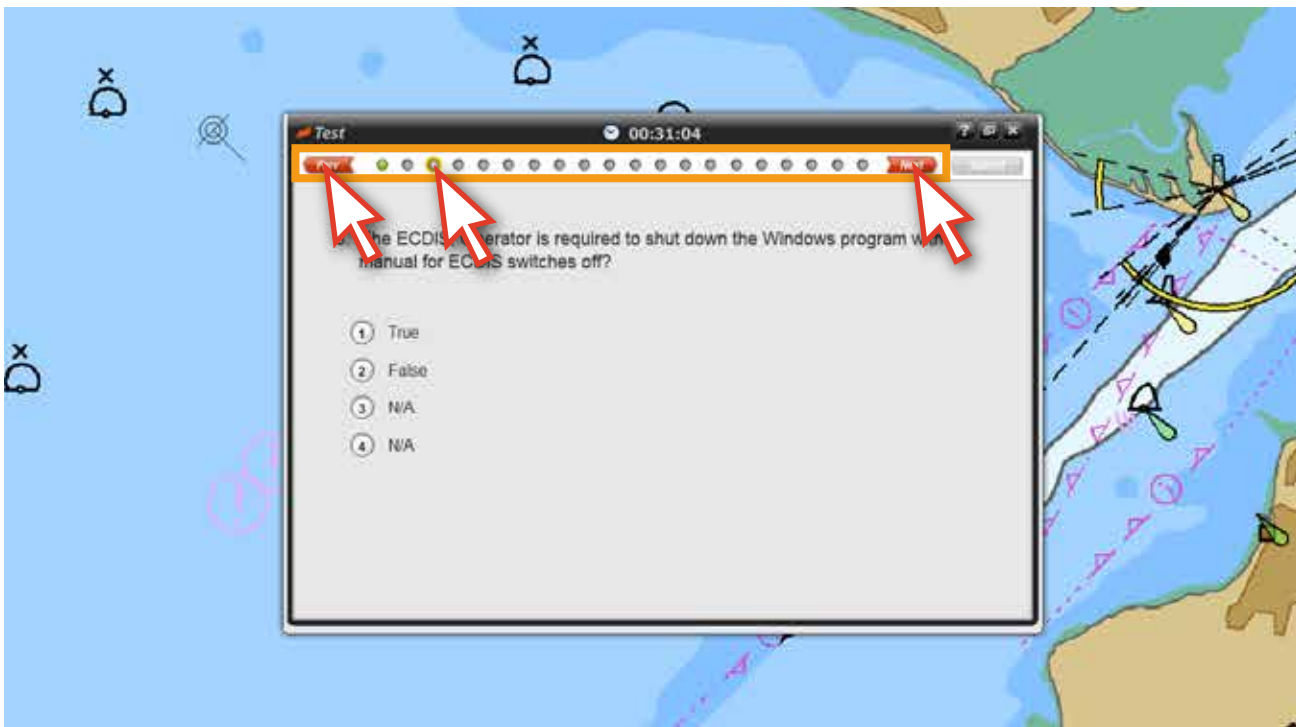
<図05>

6. テストの問題をよく読んで答えを選択します。答えのチェックが終わった問題は下の図のようにボタンの色が 黄緑色に変わります。次の問題に進む時には上段のボタンを押すか、または [Next] ボタンをクリックします。<図06>



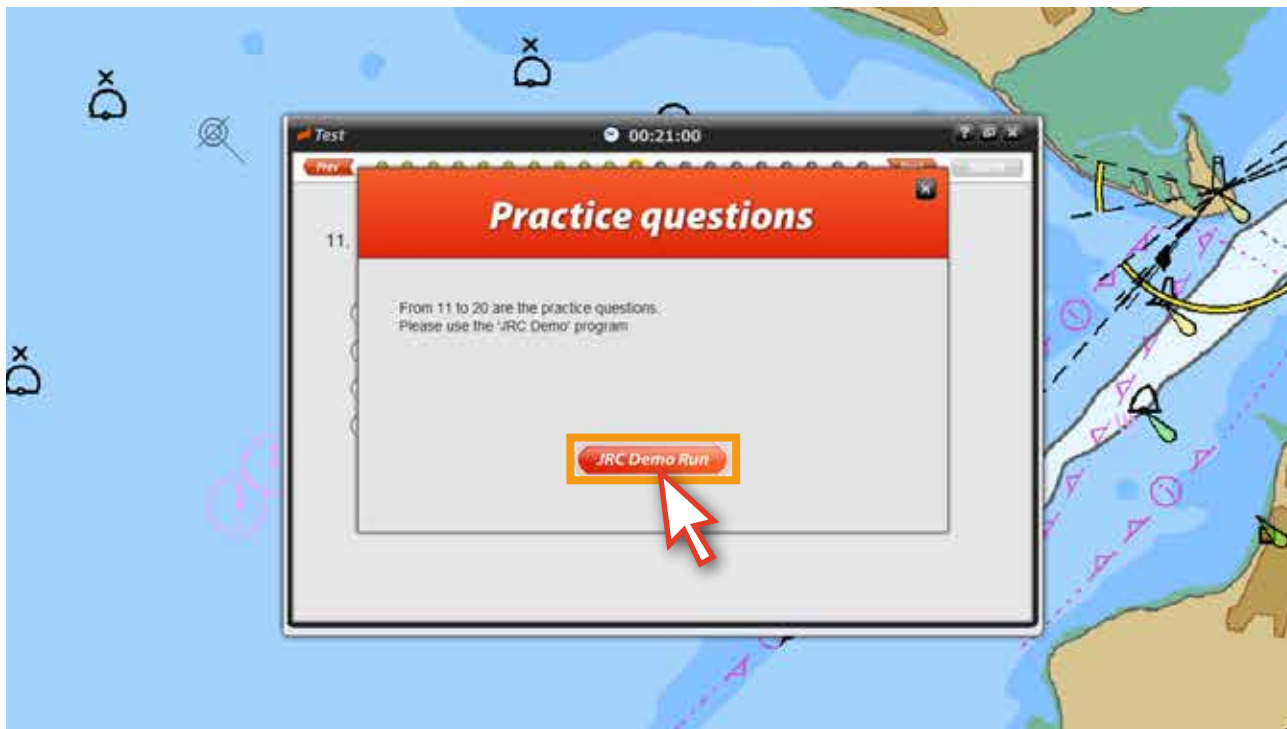
<図06>

7. 答えを変更する時には、[Prev] ボタンや [Next] ボタン, 上段のボタンを利用して変更しようとする問題に移動していつでも変更できます。<図07>



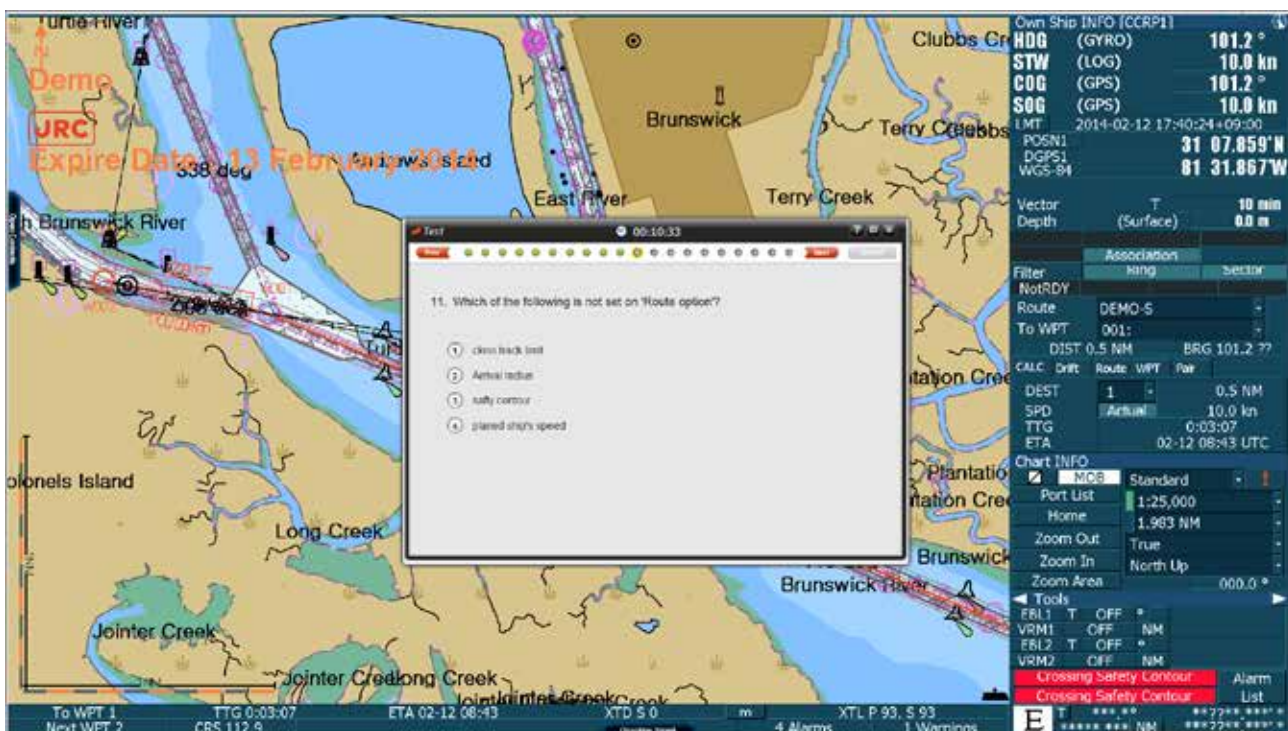
<図07>

8. 11番の問題まで進むと、実習問題と関連するポップアップが表示されます。<図08>
 実習問題は11番から20番までとなります。[JRC Demo Run]ボタンをクリックします。



<図08>

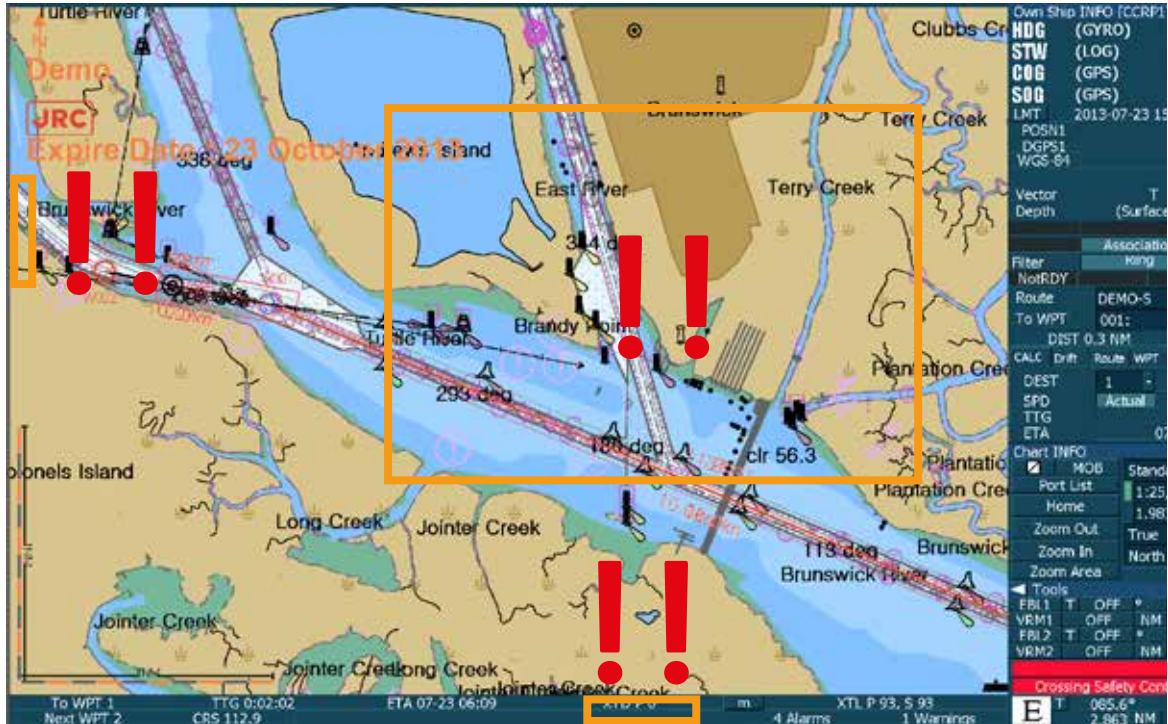
9. プログラムが実集モードに変更されます。この問題からは実習モードを利用します。<図08>



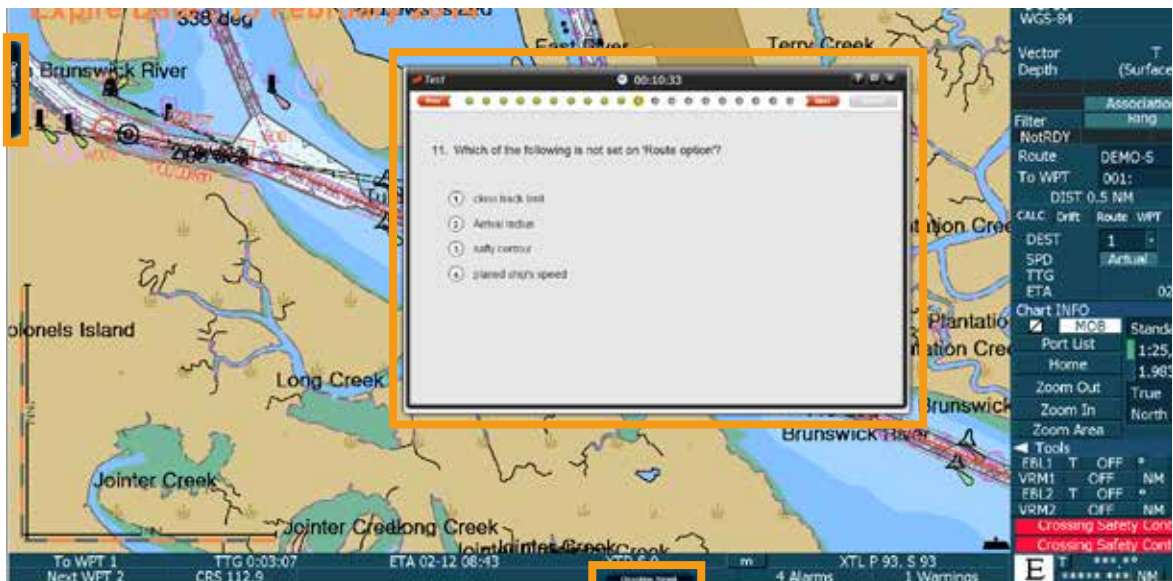
<図09>



実習モードに変更後、テストポップアップやメニューが消えた場合。

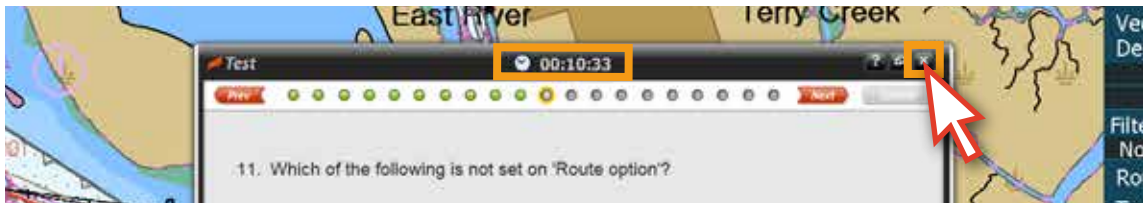


前に説明した実習モード変更の際にメニューが見えないときの解決方法と同じ方法です。
[Altキーを押したまま]Tabキーを押している状態で右側の下段にある図のeduros ECDIS v.2.1を選択するとテストのポップアップやメニューが表示されます。





残り時間が5分以上の場合、テストを強制終了する場合。



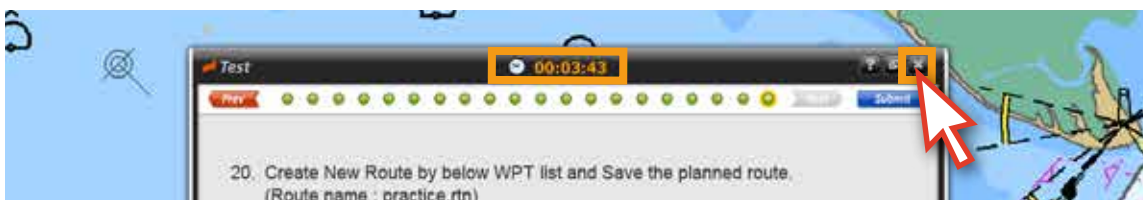
下の図のようなポップアップが表示されます。

ポップアップの内容は今までチェックしたテストの答えは全部消え、次の再テストの時、また最初からになるという内容です。

ただし、この時のテスト強制終了はテスト時間が5分以上残ったため、テストの可能回数が差し引かれません。



残り時間が5分以内の場合、テストを強制終了する場合。



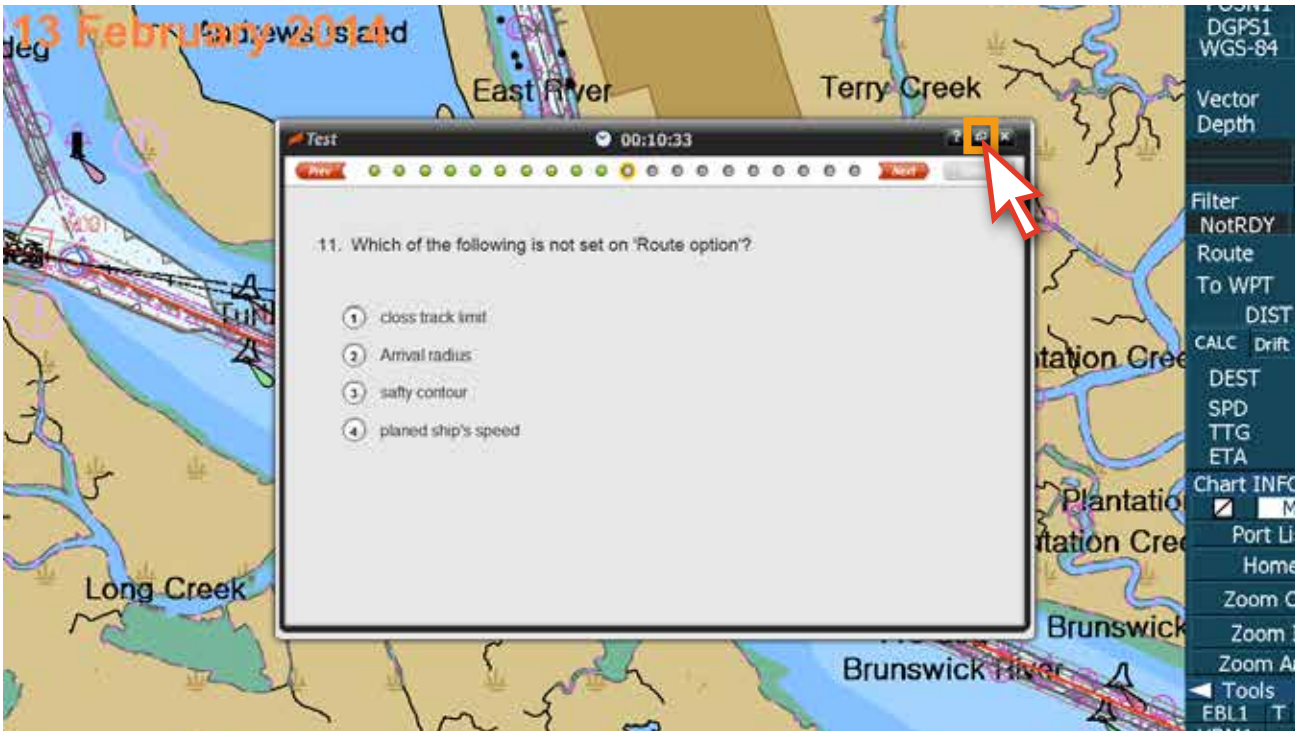
下のようなポップアップが表示されます。

ポップアップの内容はテストの残り時間が5分以内にテストを強制終了する場合、5分以上とは違ってテスト可能回数を1回差し引くという内容です。この時の強制終了はご注意ください。

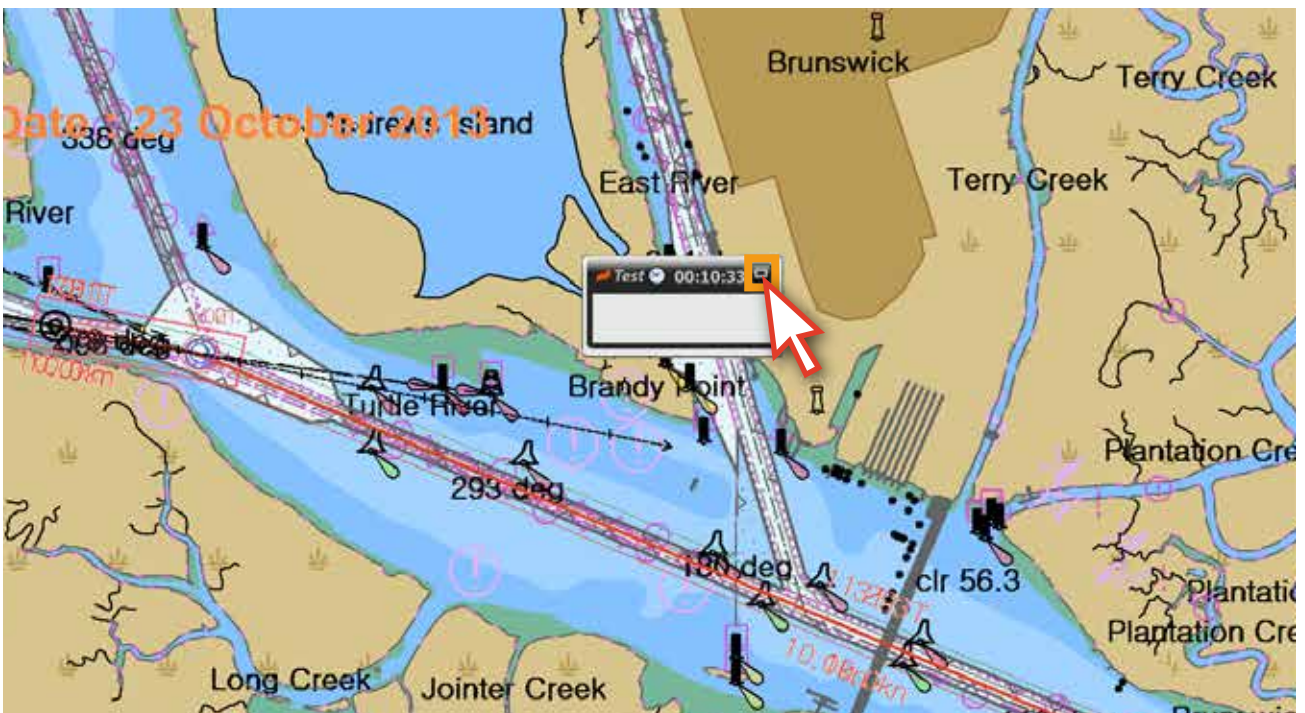


10. 実習モードを利用する場合は、ポップアップの上部にある[最小化ボタン]をクリックすると、ポップアップのサイズが小さくなって、ポップアップを自由に移動させることができます。再び[最大化ボタン]をクリックすると、元のサイズに戻ります。<図10、11>

(ただし、[閉じる]ボタンは絶対に押さないでください。[閉じる]ボタンをクリックすると、テストは終了となります。)

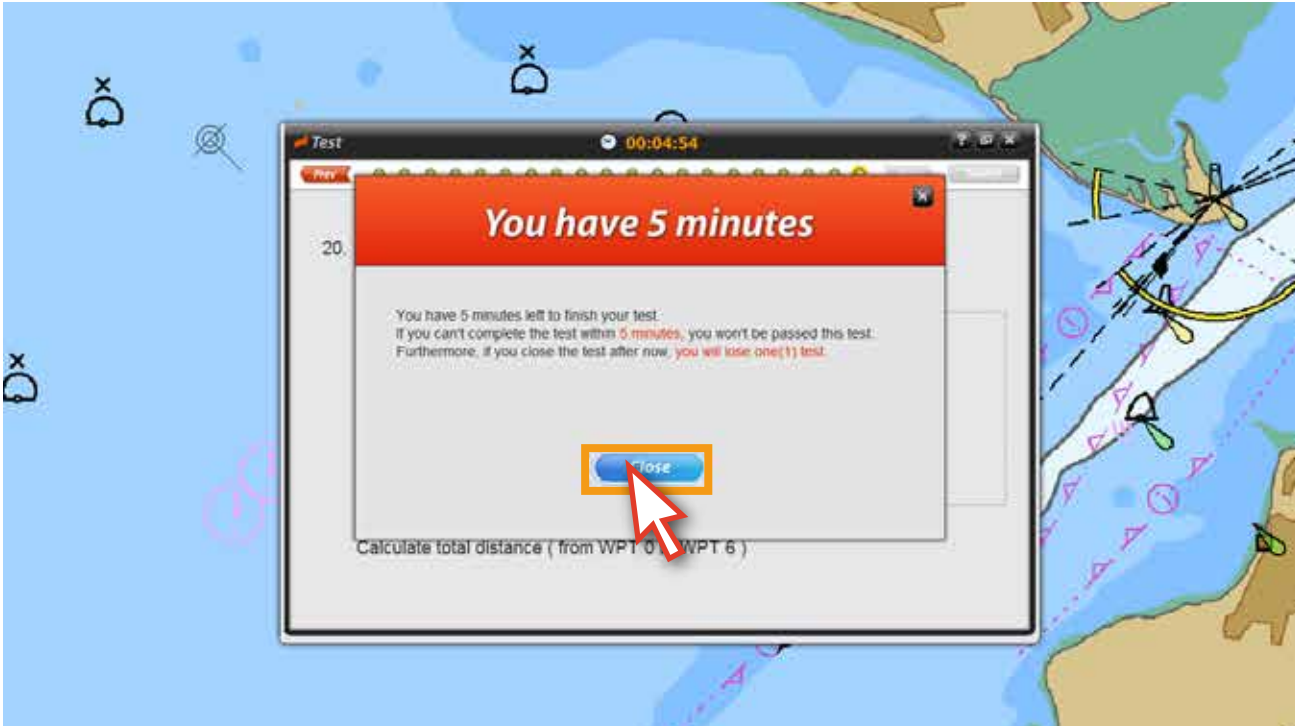


<図10>



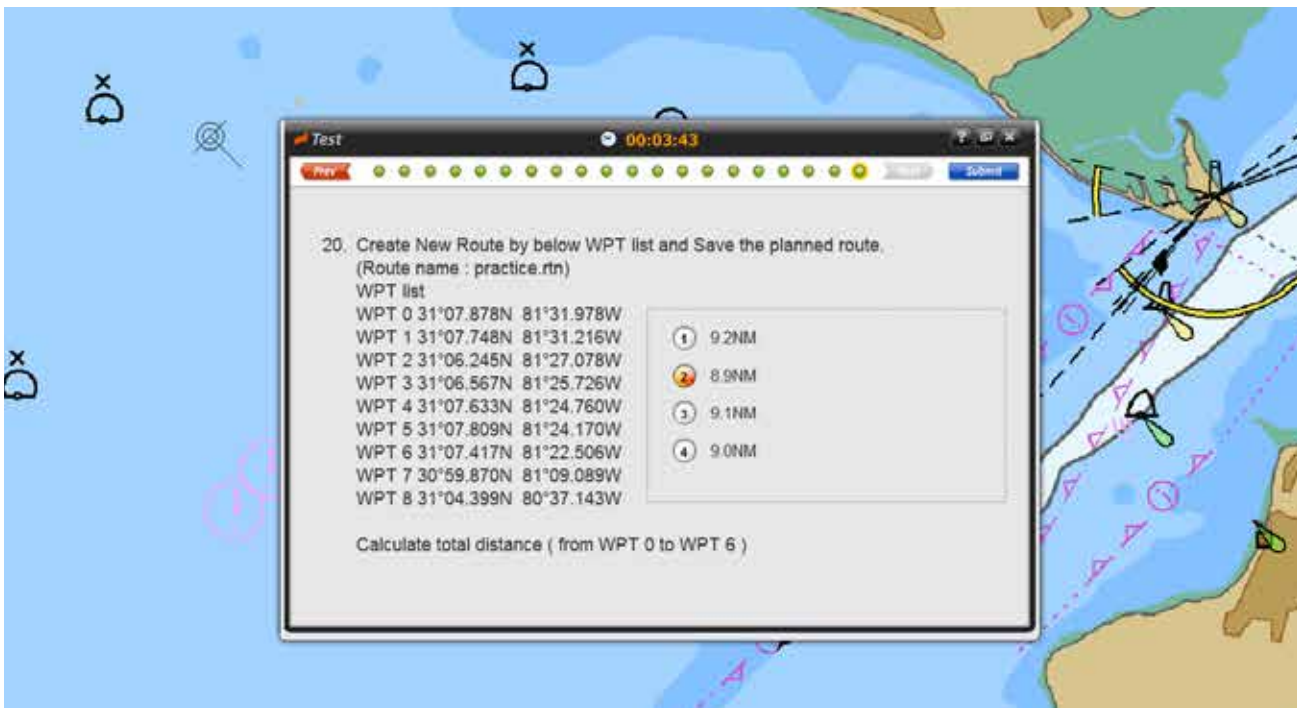
<図11>

11. テストの残り時間が5分の場合は、下の図のようにポップアップが表示されます。この時からは試験を強制的に終了してはならず、残りの5分以内に試験を終了しなければ、テストは自動的に不合格となり、テスト可能回数が1回差し引かれます。内容の確認後、[Close]ボタンをクリックしてください。〈図12〉



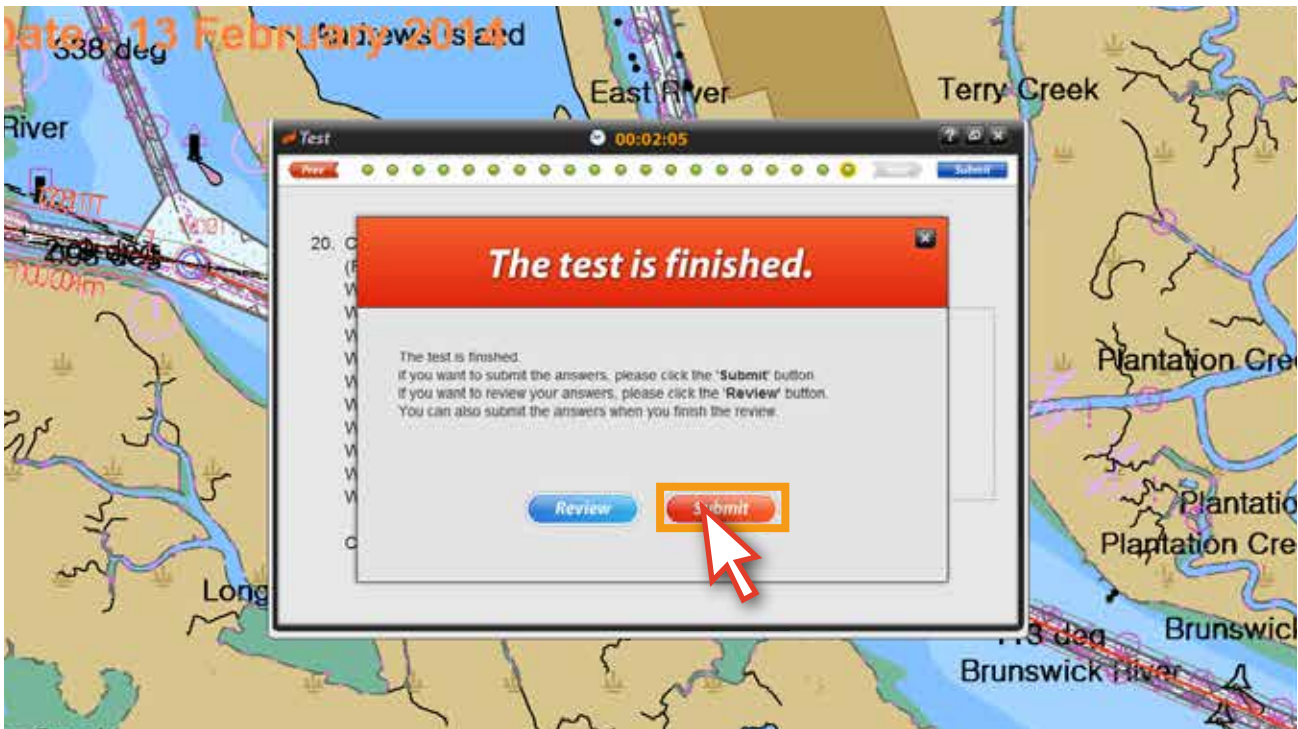
<図12>

12. 残り時間をうまく活用してタイムアウトの前にテストを全部完了してください。



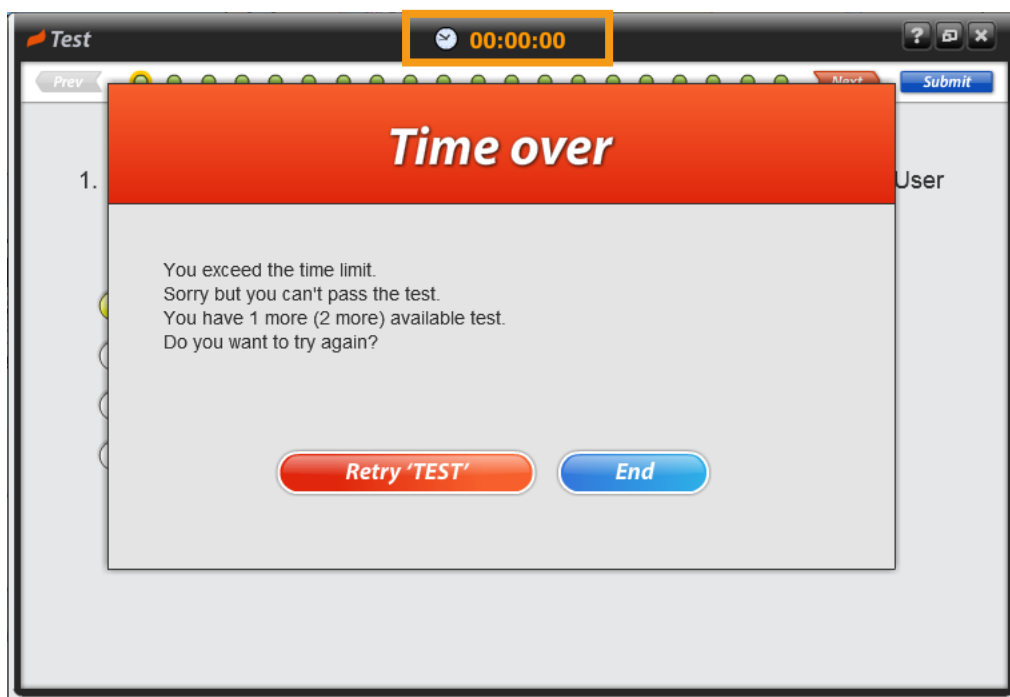
<図13>

13. 20問の問題をすべて解くと以下のようなポップアップが表示されます。[Review]ボタンをクリックすると、問題の解答修正が可能で、[Submit]ボタンをクリックすると、テスト答案の提出され、テストが終了となります。テストを終了するには、[Submit]ボタンをクリックします。
<図14>

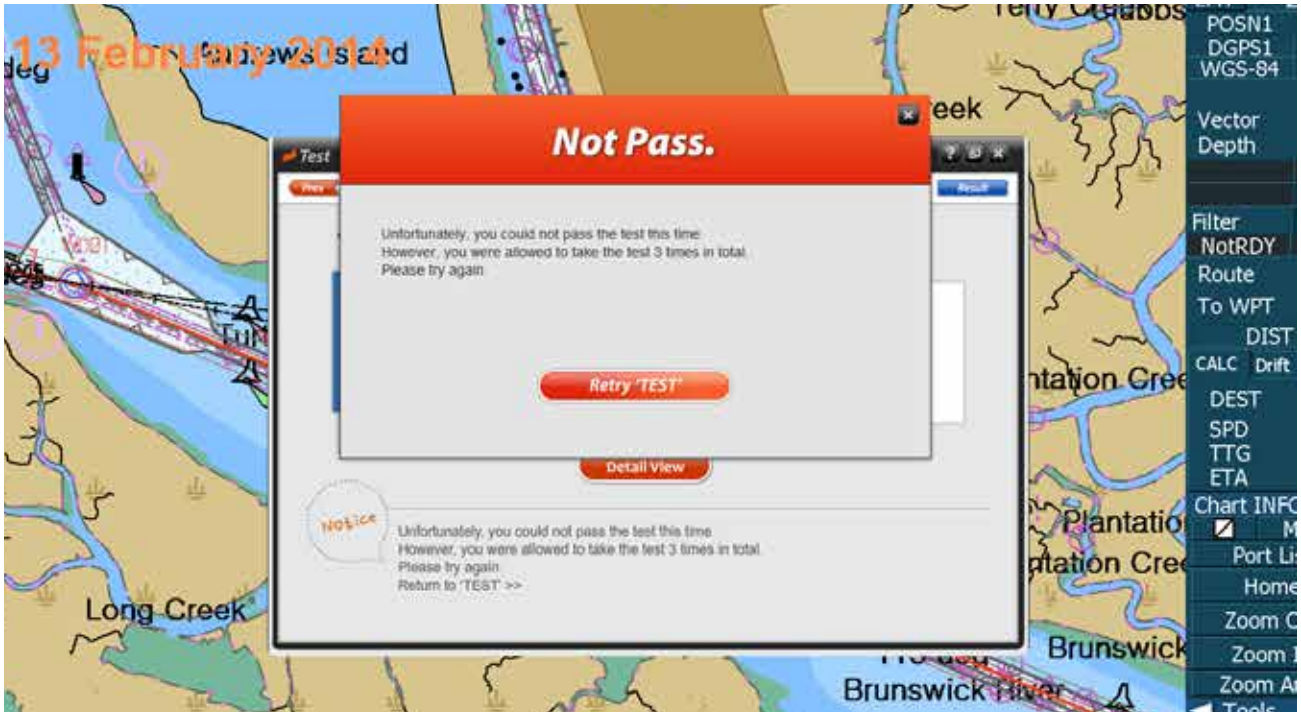


<図14>

もしタイムアウトになるまでSubmitをしない場合、下のようなポップアップが表示され、テストは不合格になり、テスト可能回数も1回失われます。ご注意ください。

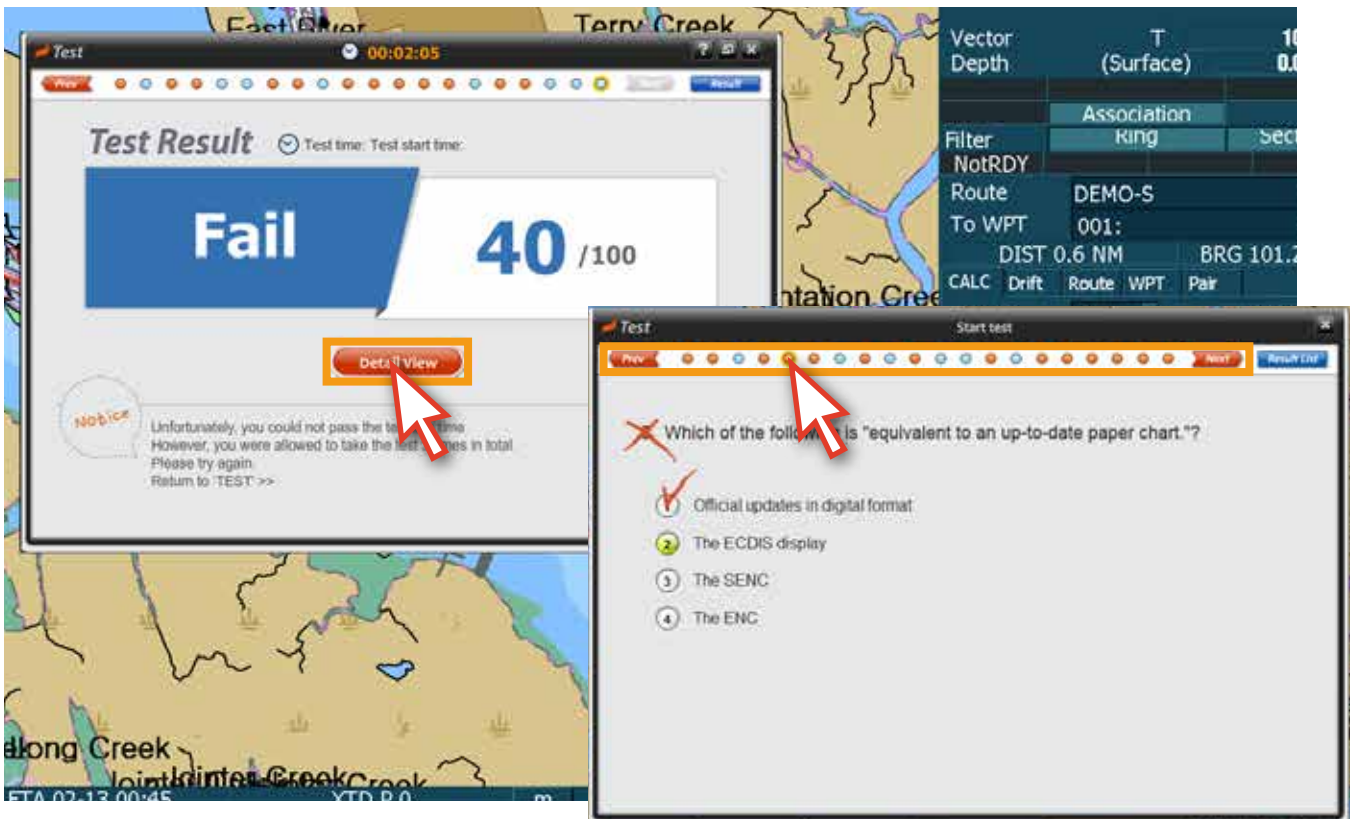


14. Submitボタンをクリックすると、テストの結果と関連するポップアップが表示され、すぐに合格か不合格かの確認が出来ます。<図15>
 不合格の場合、[Retry TEST]ボタンをクリックしてすぐ再テストを進行、または閉じるボタンをクリックしてポップアップを閉じます。



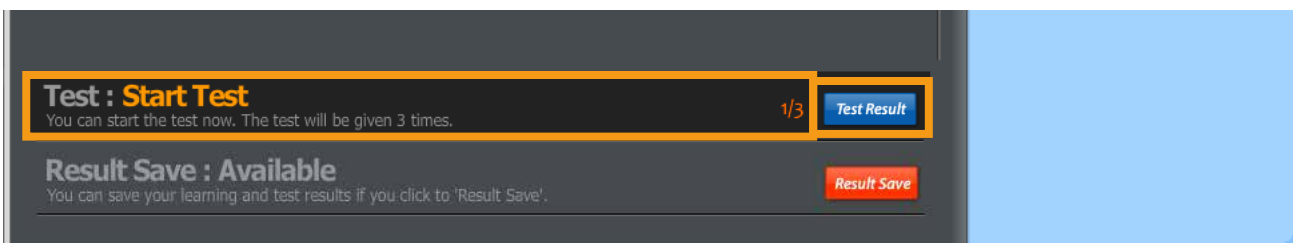
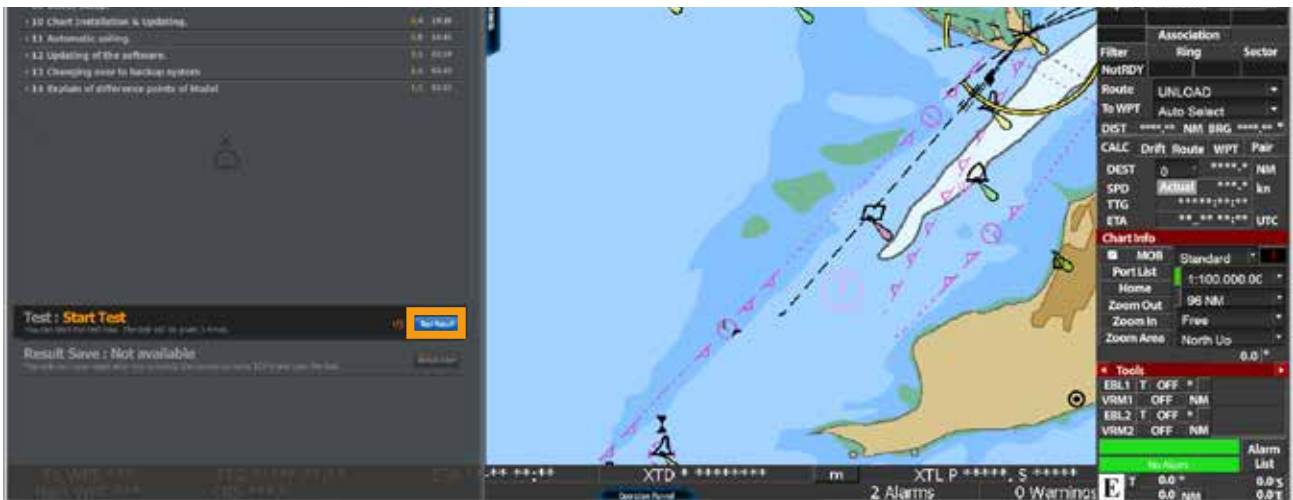
<図15>

15. テストの結果は次のようにポップアップで確認でき、[DetailView]ボタンをクリックすると解答も確認できます。<図16>



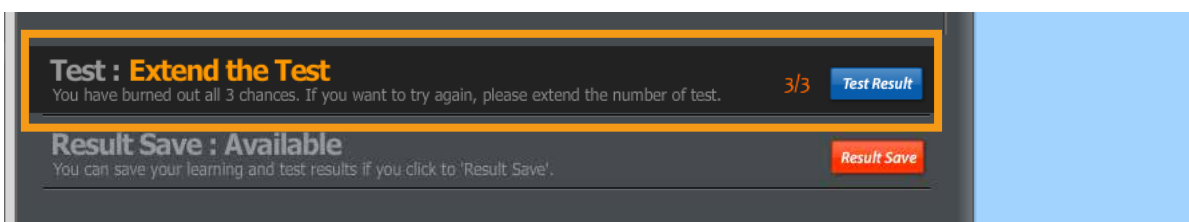
<図16>

16. テストの結果はコンテンツパネルでも確認できます。再びテストを受けようとする場合には[Start Test bar]をクリックします。<図17>



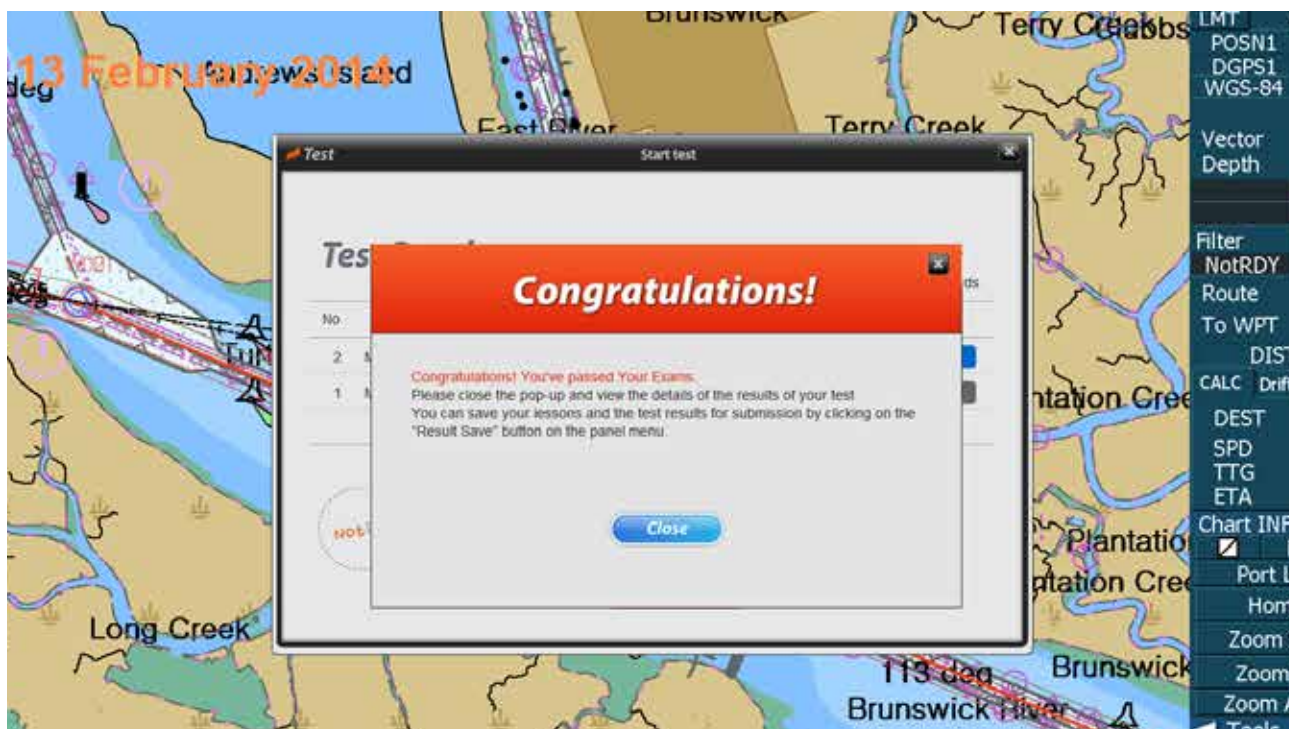
<図17>

もし、3回のテストを通過できなかった場合には、下記の内容が表示されます。再びテストを受けるにはTESTの延長が必要になります。TEST延長に関連しては、トレーナーにお問い合わせください。

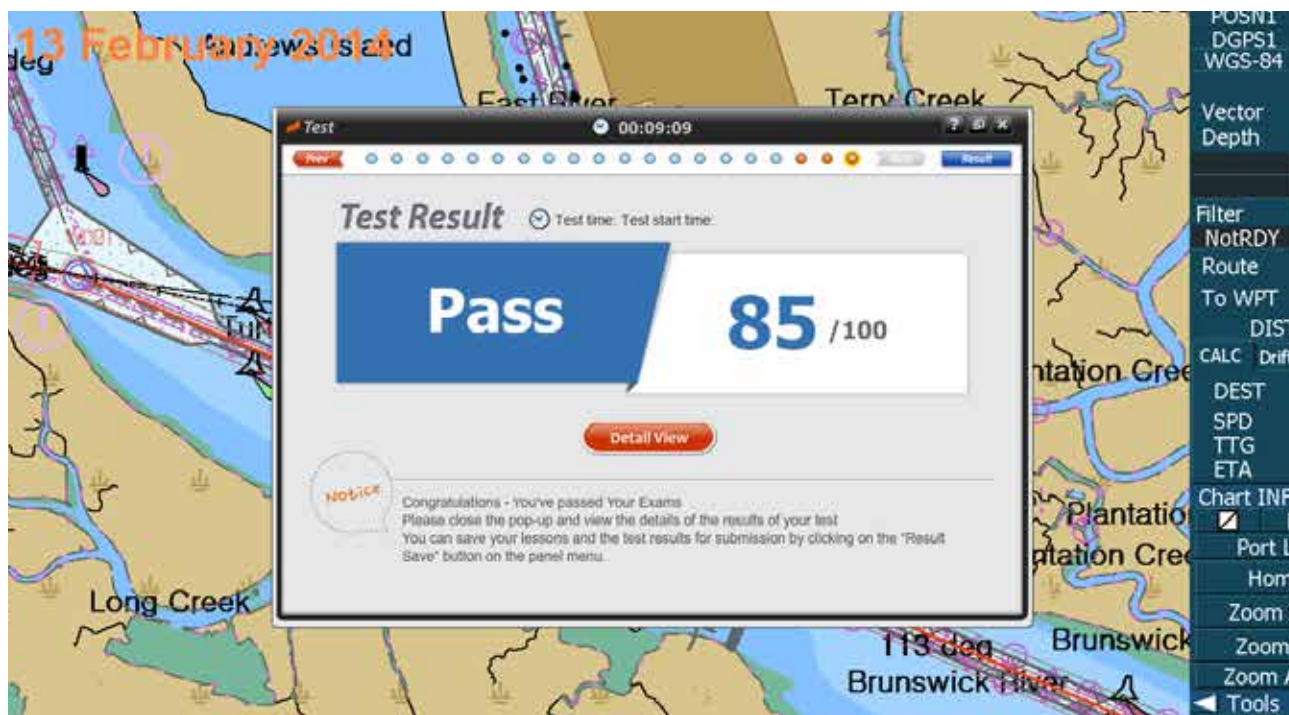


8. テストの合格後、テストの結果を保存する方法

1. テストに合格すると、下のようなポップアップが表示されます。 <図01、02>

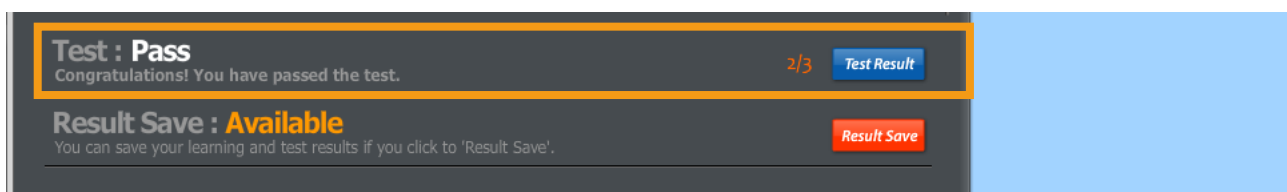
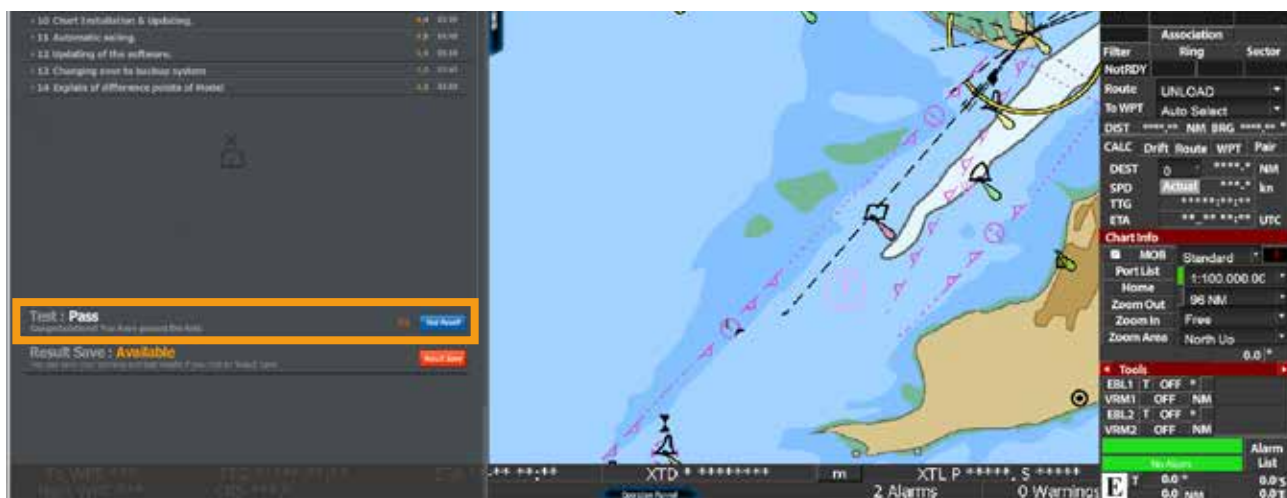


<図01>



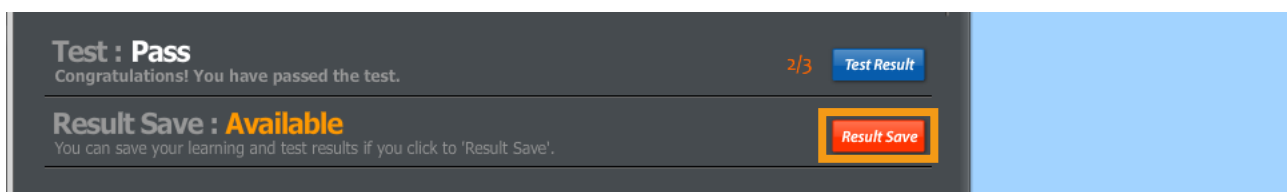
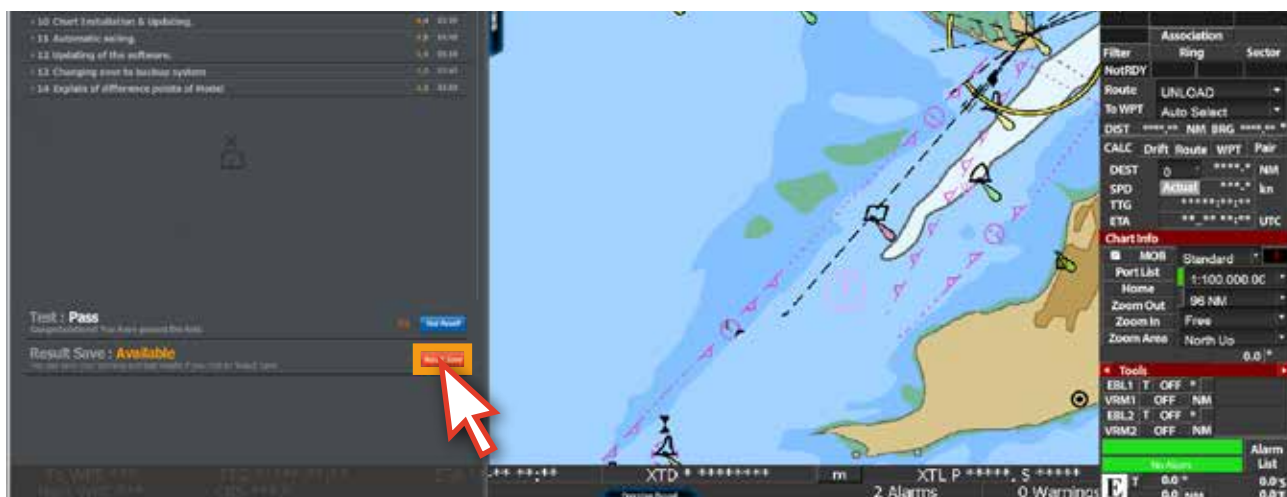
<図02>

2. テストの結果確認は[Open Contents]を利用しても確認できます。 <図03>



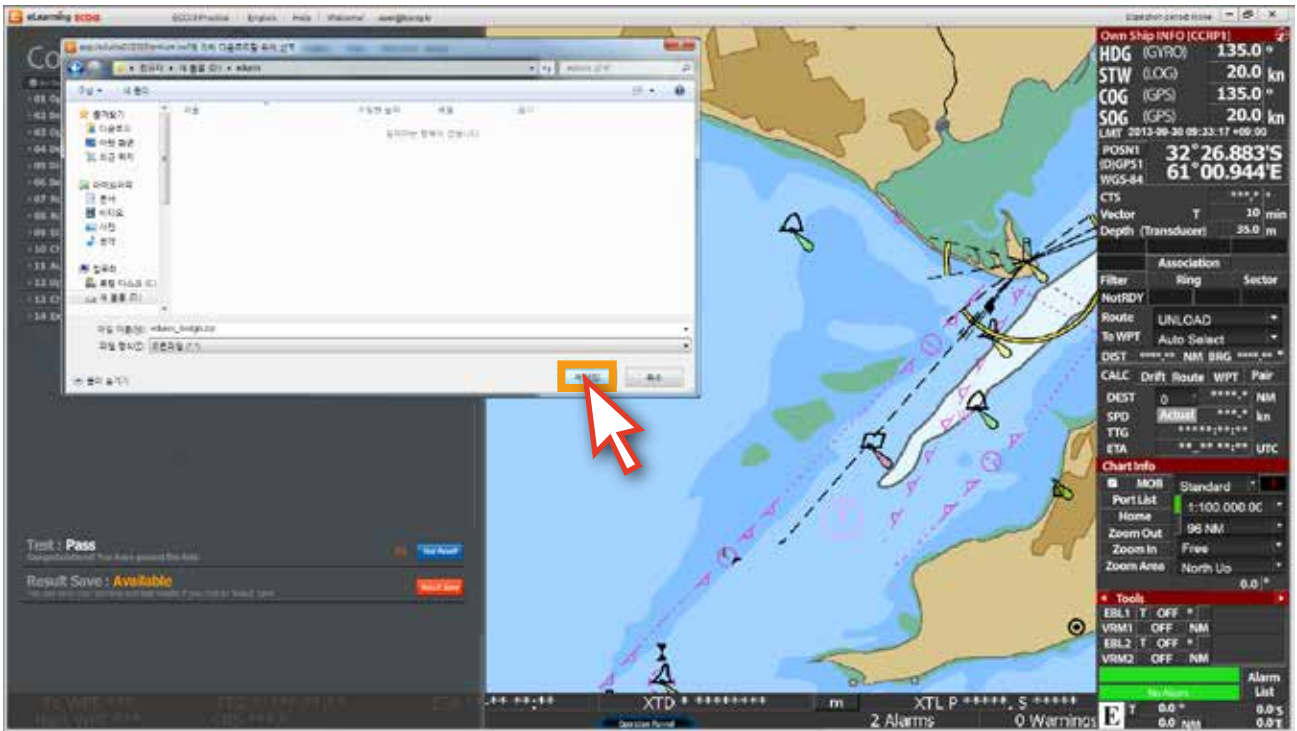
<図03>

3. テストに合格した場合、最後にテストの結果を保存する必要があります。
Result Save barの[Result Save]ボタンをクリックします。 <図04>



<図04>

4. 下記のように保存しようとするパスを選択し、[保存]ボタンをクリックしてファイルを保存します。<図05>



<図05>

Section II

1. 学習者検証

テストに合格すると、学習者を検証するための最後のステップに到達することになります。学習者を検証する方法は、[面接]、または[保証書]の2種類の方法があります。学習者は、状況に応じて検証する方法を選択します。

1) 面接(Interview)

面接を通じた検証方法であり、オンラインを通じた画像面接と1対1の直接面接があります。オンラインの場合はedurosサイト内のVerificationページで面接の日時を設定することができます。

2) 保証確認書(Guarantee letter)

船主社の代表やトレーナーが学習者の資格を保証する保証確認書を使って検証する方法です。



< オンライン画像面接による検証 >



< 1対1の面接による検証 >



< Sample: 保証書による検証 >

2. 証明書を発行

面接や保証書によって、学習者検証が確認された場合は、[証明書]を発行することができます。証明書の種類は4種類があり、登録された教育先やコストに応じて、証明書の種類が異なります。

Certification B	JRCから発行された証明書
Certification C	JRC 認定トレーナーがいるエージェントが発行した証明書
Certification D	JRC 認定トレーナーがある船主社が発行した証明書
Certification E	JRC 認定トレーナーがいる学校や企業が発行した証明書

Certification Bの証明書を要求する場合には、日本の通貨(¥)で2万円の追加費用が発生します。



<Sample : エージェントから発行された証明書>

Section III

1. 用語の説明

ACK

認定(Acknowledge)

ACQ

取得(Acquire, Acquisition)

AZ

取得地域(Acquisition Zone)

AIO

イギリス海軍情報のオーバーレ。AIOは、英国水路局(UKHO)より発表され船行の追加情報としてECDISのENCに表示される様に設計のデジタルデータセットです。

AIS

AIS(Automatic Identification System)

ARCS

英国水路部発行のラスターチャート
(Admiralty Raster Chart Service)

ARPA

衝突予防レーダ(Automatic Radar Plotting Aid)

AUTHORIZATION CODE

C-MAP Ed.2暗号化キー。C-MAPノルウェーにより供給。

AUTO SAIL

予定航路を保持するように、本システムで自動的に航行すること。自動航行と同じ意味。

Base CD

完全なデータを含むチャートCD

CCRP

一貫である共通の参照点
(Consistent Common Reference Point)

Cell Permit

S-63チャートの暗号を解くための鍵を含むファイル。UKHO、PRIMAR STAVANGER、海洋情報部から供給される。

Chart Portfolio

チャートの管理を行うソフトウェア。
チャートのインポート/更新を行う。

C-MAP Ed.2

Jeppesen社(旧C-MAP社)発行のチャートフォーマット
(C-MAP Edition 2)

C-MAP Ed.3

Jeppesen社(旧C-MAP社)発行のチャートフォーマット
(C-MAP Edition 3)

C-MAP

Jeppesen社(旧C-MAP社)フォーマットの海図データ

CPA

最短の接近点(Closest Point of Approach)

CRS

コース(Course)

CTS

命令方位(Course to steer)

COG

対地針路(Course Over the Ground)

Data Server

S-63チャートの供給元のこと

Display

LCDに表示される画面。

DIST

距離(Distance)

DR

推測航法(Dead Reckoning)

EBL

電子方位線(Electronic Bearing Line)

ECDIS

ECDIS(Electronic Chart Display and Information System)

ENC

電子海図(Electronic Navigational Chart)S-57
およびS-63チャートを指す。

ETA

到着予定時刻(Estimated Time of Arrival)

ETD

出発予定時刻(Estimated Time of Departure)

F.ETA

最終ウェイポイント到着予定時刻
(Final Estimated Time of Arrival)

GC

大圏航法(Great Circle)

HDD

ハードディスクドライブ(Hard Disk Drive)

HDG

船首方位(Heading)

Hydrographic and Oceanographic Department

日本海上保安庁海洋情報部のこと。ENCの発行元。

Import (for Chart Portfolio)

Base CDで供給されるチャートをECDISで表示できる状態にする手続き

LAT

緯度(Latitude)

Leg

区間

LMT

ローカル時刻(Local Mean Time)

LON

経度(Longitude)

LOP

位置の線(Line of Position)

MOB

船舶より人々が海に落ちた場合の調査、構造のため信号を発生してる装置(Man over board)

POSN

位置の線(Position)

Primary

主となる測位センサ(Main positioning sensor)

PRIMAR STAVANGER

ノルウェーに所在するチャート供給会社。暗号化チャート(S-63)の発行元。

Range

画面上に表示されているチャートの範囲でチャート表示画面の1/2の長さで表す。

RCDS

ラスターチャートディスプレイシステム

RL

漸長緯度航法(Rhumb Line)

RM

相対的な動き(Relative Motion)

RNC

ラスターナビゲーションチャート(Raster Navigation Chart)

Rubber band

選択の範囲を示す枠線

S-57

デジタル水路データのためのIHO転送基準(IHO Transfer Standard for Digital Hydrographic Data)

S-63

チャート暗号化アルゴリズム

SA Certificate file

S-63チャート供給元を証明する電子ファイル。S-63チャートのインポート/更新時に必要。

Scale

表示縮尺

SENC

システム電子海図(System Electronic Navigational Chart)

Ship-avoiding operation

自動航行中に、障害物等を避けるため、予定航路とは関係なく操船すること。

SOG

対地速度(Speed Over the Ground)

Spot depth

深さの数値表現。

STW

対水速力(Speed through water)

TCPA

最近接点の時間(Time Closest Point of Approach)

TCS

TCS(Track Control Systems)

TM

真運動(True Motion)

TT

物標追跡(Target Tracking)

UKHO

英国水路部

(UKHO: United Kingdom Hydrographic Office)

Update (for Chart Portfolio)

インポートされたチャートのアップデートCDより供給される更新データを反映させる手順。

Update CD

Base CDから更新されたチャートのデータを持っているチャートCD

Base CDがインポートされた状態で使用

USER CODE

JRCが付与するユーザごとに固有なコード。

ARCSチャートおよびS-63チャート使用時に必要。

UTC

世界標準時間(Universal Time, Coordinated)

VRM

可変レンジマーカ(Variable Range Marker)

WOL

操舵線(Wheel Over Line)

WOP

操舵点(Wheel Over Point)

WPT

変針点(Waypoint)

WPT-WPT

2つのポイントにより指定されたレグの分割。

2つの連続したウェイポイント間のデータを表示する。

XTD

航路偏位または航路幅(Cross track distance)

XTL

設定航路幅(Cross track limit)

2. 提出書類とチェックリスト

以下の文書は、[KJエンジニアリング営業部]に提出してください。

No	Documents	学習前		証明書の発行前	
		オンライン	オフライン	オンライン	オフライン
1	会社情報	×	○	○	×
2	船舶情報	×	○	○	×
3	受講者の個人情報A	○	○	×	×
4	受講者の個人情報B	×	×	○	○
5	保証書 (Letter of Guarantee)	×	×	×	○
6	船長の身分証明書のコピー本 (例：船員手帳、住民登録証など)	×	×	×	○
7	評価者の身分証明書のコピー本 (例：住民登録証など)	×	×	×	○
8	教育評価アンケート	×	×	○	○
9	教育レポート	×	×	×	○

Company Survey Form

Company Name			
Company Name			
Registration No			
Found			
Address			
Tel. No		Fax. No	
Main email		website	
eEtst Group Code			

Contact Info			
Name		eEtst ID	
Dep't		Position	
Tel. No		email	

Trainer Info			
Name		JRC Cert. No	
Dep't		Position	
Tel. No		eEtst ID(email)	

Trainer Info			
Name		JRC Cert. No	
Dep't		Position	
Tel. No		eEtst ID(email)	

Trainer Info			
Name		JRC Cert. No	
Dep't		Position	
Tel. No		eEtst ID(email)	

Ship Survey Form

Ship Info			
Ship Name		Master Name	
Call Sign		IMO No	
Trainer Name		Trainer eEtst ID	
Tel. No		Fax. No	
Main email		Number of eEtst ID	

Trainee Info			
Name		eEtst ID(email)	
Date of Birth		Rank/Position	

Trainee Info			
Name		eEtst ID(email)	
Date of Birth		Rank/Position	

Trainee Info			
Name		eEtst ID(email)	
Date of Birth		Rank/Position	

Trainee Info			
Name		eEtst ID(email)	
Date of Birth		Rank/Position	

Trainee Info			
Name		eEtst ID(email)	
Date of Birth		Rank/Position	

Trainee Info			
Name		eEtst ID(email)	
Date of Birth		Rank/Position	

Personal Information

Type A			
Type	Simple	Entry Time	Sign Up and Sign In
1. Entry info		Format	
Email		Enter a valid email address	
Password		Enter your password / 6~12 characters	
Confirm Password		Confirm your password	

Type B			
Type	Complex	Entry Time	Payment
1. Personal Info		Format	
ID		Auto ID number	
Full Name		Personal name	
Sex.		Mail or Female	
Picture		Image File Format	
Rank/Position		An official position of the company or ship	
Date of Birth		YYYY-MM-DD	
Address		Enter your address	
Nationality		Enter your country where you belong	
2. eLearning Info		-	
Course IDy		It is specific to the course you are using	
Course Name		Enter your course name	
3. Trainer / Assessor Info		-	
Group ID		It is specific to the group you belong to	
Group Name		Enter your group Name	
Trainer(Assessor) Name		Enter your trainer Name	
4. Qualification Info		-	
Passport No.		Enter your passport number	
A Copy of Passport		Image File Format	
A Copy of Generic ECDIS Cert.		Image File Format	
Cert. No of Generic ECDIS course		Enter your cert number	
5. Company info		-	
Name		Enter the company namer	
PIC		Person in charge of ECDIS training	
Email		Enter the company email address	
Telephone		Enter the company phone number	
6. Ship info		-	
Name		Enter the ship name	
IMO No.		Enter the ship IMO Number	
email		Enter the ship email address	

Letter of Guarantee

To ensure all courses are done according to our procedures, all documents and checklists must be signed and stamped. This must be done by Master or a qualified onboard Assessor or an office Assessor.

The Master/Assessor is jointly responsible that the applications receive appropriate training and full certification on board ship for the JRC ECDIS TST according to the STCW 95 regulation I/6 and section A-I/6 for the training and assessment of competence of Seafarers.

If it is revealed that an application is partially or entirely a duplicate of another application, the application will be rejected and certificate will not be issued.

When there are two more applicants, please attaché a list of all trainees

Trainee			
Full Name		Ship Name	
Date of Birth		Course Name	
Rank/Position		eLearning ID	
Nationality		-	-

I will guarantee the following items regarding the above entry for the edurosECDIS Course.

- The participant's ID and personal details are correct
- The CBT training is individual and unaided work
- The CBT is 100% completed and achieved an assessment (more than 70%)
- Expenses for the applicant's course
- Compliance with the eLearning Service Agreement

I hereby declare that the above is true.

Guarantor			
Date		Company	
Name		Trainer	
Company/Ship Name		Assessor	
Division / Position		-	-

(Signature)

(Seal)

Note) Please put the registered seal of the company together with his/her signature.

Training Evaluation Survey

Thank you for attending edurocECDIS training course. We'd like to hear your impression of the various aspects of the training, so that we can continually improve the experience for all trainees.

Course Name :		Date :		
-	Excellent	Good	Fair	Poor
① Overall how would you rate the training courses?				
② Please rate the following aspects of the elearning contents ?	-	-	-	-
- Did this course meet your expectation ?				
- Were the contents appropriate for ECDIS TST ?				
- How do you think of the presentation (Graphic, Animation, Audio..)?				
③ Please rate the following aspects of the elearning system ?	-	-	-	-
- Registration				
- Course Timing				
- Speed				
- Cost & Pricing				
④ Do you consider the eLearning course to be a good tool for training?				
⑤ Was any help provided when needed ?				
-	Yes (Please Specify it if yes)		No	
⑥ Did you encounter any technical problem with the course ?				
-	Very Likely	Somewhat	Not	
⑦ Based on your experience, How likely are you attend to similar courses in the future ?				
⑧ What was your favorite part of the training?				
⑨ What was your least favorite part of the training?				
⑩ Any other suggestions or comments to help us improve future training classes?				

Training Report

Training reports are to be provided montly to the KJE to facilitate maintaining an overview of the project and monitoring of the scope and status;

Trainee I		
Trainee ID		-
Trainee Name		-
Ship Name		-
Trainer(Assessor) Name		-
Course Prgress		1~100%
Test Score		1~100
Verification Method		Interview / Guarantee Letter
Verification Date		-
Cert. Issuance Date		-
Cert. No		-

Trainee II		
Trainee ID		-
Trainee Name		-
Ship Name		-
Trainer(Assessor) Name		-
Course Prgress		1~100%
Test Score		1~100
Verification Method		Interview / Guarantee Letter
Verification Date		-
Cert. Issuance Date		-
Cert. No		-

KJ 엔지니어링
ENGINEERING

Smart Ship Simple Solution

601-839

#202, Sunkyung Bldg., 16-6, Jungang-daero 180beon-gil, Dong-gu, Busan, Korea
TEL 051) 404-5650 FAX 051) 404-5655 e-mail: tech@kjeng.kr

KJ Engineering : www.kjeng.kr / eduros : www.eduros.com

Update: 2014.07.22